

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-141100

(43)Date of publication of application : 20.05.1994

(51)Int.Cl.

H04M 11/00  
G06F 15/21

(21)Application number : 04-290445

(71)Applicant : HITACHI LTD

(22)Date of filing : 28.10.1992

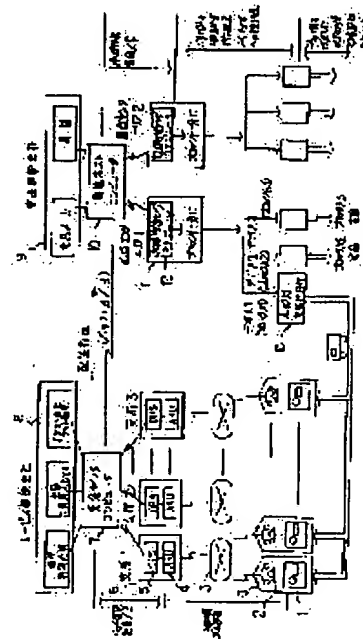
(72)Inventor : KITATSUME YUICHI  
YAMADA SHINICHI  
MORITA KANJI  
NAKAJIMA YASUO  
YOSHIKAWA YOSHIAKI  
AKATSUKA YASAKU

## (54) HOME SHOPPING SYSTEM

## (57)Abstract:

**PURPOSE:** To reduce physical distribution cost by constituting respective system in hierarchical structures and distributing merchandise based on received order data received from an order receiving system.

**CONSTITUTION:** Respective homes 0 and distributed order centers 6 can be connected for 24 hours in real time and the centers 6 receives the order of the merchandise from the homes 0. Ordered merchandise data are transferred from the centers 6 to a received order center computer 7 by a batch processing and the computer 7 transmits all order files to a physical distribution host computer 10 as forwarding instruction data after closing the reception of the order. The computer 10 transmits base forwarding instruction data to the base computers 12 of base centers 11. Respective depots 13 divide the merchandise delivered from the centers 11 every classified forwarding delivery routes, load the merchandise on trucks every classified routes and send out the merchandise to the respective homes 0 placing the order. Thus, lead time from the order to the forwarding delivery can be shortened.



(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-141100

(43)公開日 平成6年(1994)5月20日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

H 0 4 M 11/00

G 0 6 F 15/21

識別記号

3 0 1

3 3 0

庁内整理番号

8627-5K

7052-5L

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数7(全 22 頁)

(21)出願番号

特願平4-290445

(22)出願日

平成4年(1992)10月28日

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72)発明者 北爪 友一

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

株式会社日立製作所内

(72)発明者 山田 進一

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

株式会社日立製作所内

(72)発明者 森田 寛二

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

株式会社日立製作所内

(74)代理人 弁理士 武 顕次郎

最終頁に続く

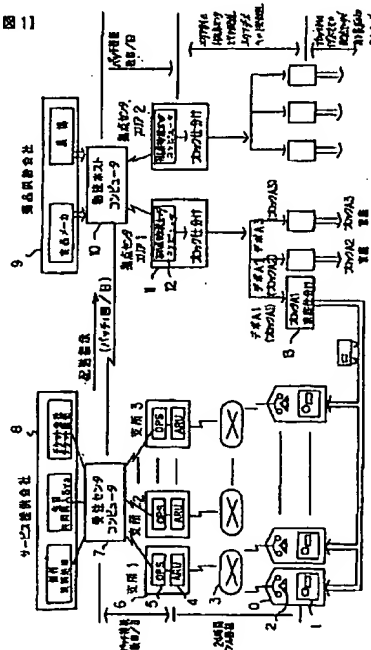
(54)【発明の名称】 ホームショッピングシステム

(57)【要約】

【目的】 操作性の良い、何時でも商品の注文が可能  
な、配達までのリードタイムの短い、物流コストを押さ  
えたホームショッピングシステムを提供する。

【構成】 本発明のシステムは、受注システムと物流シ  
ステムとを結合して構成される。このため、家庭の注文  
端末と情報処理センタ(受注センタ)と物流センタとに  
より基幹システムを構築し、この基幹システムを複数の  
サービス提供会社により共同利用可能とする。そして、  
利用家庭の数が多くなった場合、基幹システムの受注処  
理と物流処理とを分散化することにより、システム全体  
の効率化を図る。

【図1】



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 公衆通信網を使用するホームショッピングシステムにおいて、家庭用注文端末、受注処理センタコンピュータ及び分散受注コンピュータにより構成される受注システムと、物流ホストコンピュータ、拠点センタコンピュータ及び配送デポにより構成される物流システムとを備え、それぞれのシステムが階層構造を持って構成され、前記物流システムは、前記受注システムからの受け取った受注データに基づいて商品の配送を行うことを特徴とするホームショッピングシステム。

【請求項2】 前記分散受注コンピュータは、24時間リアルタイムで受注処理を行い、前記受注処理センタコンピュータは、前記分散受注コンピュータが受注した受注データをバッチ収集することを特徴とする請求項1記載のホームショッピングシステム。

【請求項3】 前記分散受注コンピュータには、音声応答装置が接続されており、家庭用の注文端末からの受注に対する応答を音声により行うことを特徴とする請求項1または2記載のホームショッピングシステム。

【請求項4】 前記家庭用の注文端末と前記分散受注コンピュータとは、公衆通信網を介してフリーダイヤルにより接続可能であることを特徴とする請求項1、2または3記載のホームショッピングシステム。

【請求項5】 前記受注システムは、複数のサービス提供会社の企業IDコードを登録しており、前記家庭用の注文端末からこのIDコードを指示することにより、1台の端末から複数のサービスの提供を受けることが可能であることを特徴とする請求項1ないし4のうち1記載のホームショッピングシステム。

【請求項6】 前記家庭用の注文端末は、メモリ機能を備え、既存のネットワークである公衆通信網と既存の電話機とを利用して注文データを送信することのできるものであることを特徴とする請求項1ないし5のうち1記載のホームショッピングシステム。

【請求項7】 前記家庭用の注文端末は、大型ディスプレイと大型キーボードとを備えて構成され、データ入力が必要最小限のデータをキー入力する、あるいは、バーコードスキャナで入力することにより行われることを特徴とする請求項1ないし6のうち1記載のホームショッピングシステム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、オーダエントリー方式と物流配送方式とを一体化したホームショッピングシステムに係り、特に、一般家庭を対象としたサービス提供企業の受注と物流との統合システムを安価なコストで構築し、しかも、商品の発注から商品到着までのリードタイムの短縮を図ることのできるホームショッピングシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 近年、商品の注文を一般家庭から行い、商品を家庭まで配送するホームショッピングが、例えば、生協の共同購入、通信販売等として普及してきている。

【0003】 このような一般家庭からのオーダエントリー方法は、電話機、葉書等を使用して商品の注文を行う場合が多く、その後の処理のためのコンピュータ入力に、多大の時間と人手による膨大な入力作業を要するという欠点がある。

10 【0004】 また、文字認識技術を利用したOCRによるオーダエントリー方式が知られているが、この方式は、OCRシートへの記述後、回収処理を必要とするため、コンピュータ入力がオフライン処理となり、注文から商品到着までのリードタイムが長くなるという欠点がある。

【0005】 前述した方式の欠点を解消するため、最近、メモリ機能を有する多機能電話機、パソコン、キャブテン端末等を家庭端末として設置することが考えられるが、これらの機器はまだ価格が高く、一般家庭への普及が遅れており、また、普及できたとしても、その操作性が悪く、なかなか一般家庭に受け入れてもらえない等の危惧がある。

【0006】 図24はこの種の端末を使用する従来技術の構成を示す図である。

【0007】 図示従来技術は、各サービス提供会社と各家庭とが直接公衆通信網等で接続され、各家庭に備えられた前述したような端末から商品の注文を行うことを可能に構成されている。そして、この従来技術は、各サービス提供会社が、それぞれ独自に、家庭の注文端末と受注センタとの間の受注ネットワークシステムと、商品供給会社から家庭まで商品を配送するための物流システムを持つ必要のあるものであった。

【0008】 前述のようなショッピングシステムは、配送時間の短縮化が、ショッピング提供会社の顧客サービスの最重要課題であり、このため、従来受注処理に要したタイムラグを、物流作業の時間短縮化によりカバーするために、受注データを受付順にある時間サイクル、例えば、1日数回程度にまとめ出荷指示を出し、この受注受付順に商品の出荷作業を行っている。しかし、この方式は、物流に要する人件費、輸送費等の高騰による物流費用の上昇を招くという欠点がある。

## 【0009】

【発明が解決しようとする課題】 ホームショッピングの利用者は、家庭の主婦、女性客等が中心であり、しかも、最近の主婦は、昼間はパート等の仕事に従事し自宅にいない場合が多いため、注文端末は、操作性が良く、かつ、好きな時間に何時でも商品の注文を行うことのできる受注システムの仕組が必要である。

【0010】 また、家庭用の端末は、一般の家庭に設置  
50 してもらうためには、コスト的にも安いものでなければ

ならない。このため、ホームショッピングの受注システムは、操作性が良く、24時間いつでも注文でき、しかもトータルコストが安価である必要がある。

【0011】さらに、ホームショッピングの最重要課題は、受注から配達までのリードタイムをいかに短縮するかにある。このため、受注システムを24時間リアルタイムで処理することにより受注処理の時間短縮を図る必要がある。また、近年、物流費用（人件費、配送費等）が高騰しているため、膨大な数の家庭への配送コストをいかに安く押さえる仕組みを作るかが大きな課題となっている。このため、配送時間を短くし、しかも、物流コストを押さえる物流体制を構築する必要がある。

【0012】しかし、図24に示す従来技術は、家庭との間に構築する受注ネットワーク及び物流ネットワークの規模が膨大になり、そのコストも膨大になるため、多くの企業が構築することのできるものではないという問題点を有している。また、この従来技術は、各家庭への商品の配送を、各企業が個別に行うため、配送のためのトラックの増加、それによる交通量の増加、交通渋滞を招き、トラックの排気ガスによる環境への悪影響を生じるという問題点を有している。

【0013】また、前述した従来技術によるショッピングシステムは、既に説明したように、前述したような顧客の種々の要求を満足させることができないという問題点を有している。

【0014】本発明の目的は、前記従来技術の問題点を解決し、操作性が良く、かつ、好きな時間に何時でも商品の注文を行うことができ、受注から配達までのリードタイムを短縮することができ、かつ、物流コストを押さえることのできるホームショッピングシステムを提供することにある。

【0015】

【課題を解決するための手段】本発明によれば前記目的は、各家庭に設置した家庭簡易端末である注文端末から24時間リアルタイムで注文を受け付けることのできる分散受注コンピュータを各エリアに配置し、本部の受注センタコンピュータが、前記分散受注コンピュータから定期的に注文データを収集し、この受注センタコンピュータで集計された注文データを、受注センタコンピュータとオンライン接続された物流ホストコンピュータへ配送指示データとして伝送するようにすることにより達成される。

【0016】また、前記目的は、物流ホストコンピュータで受信した配送指示データを、エリア単位に分割されたそれぞれの拠点物流センタコンピュータに送信し、拠点物流センタコンピュータが、伝送されたエリア別配送指示データをさらに小さなブロック単位、例えば、1ブロック10家庭程度に分割し、ブロック別配送指示データを生成するようにすることにより達成される。

【0017】拠点物流センタは、このブロック別配送

指示データに従って商品をピックアップし梱包し、梱包された商品を、ブロック単位の仕分けリストを添付して各デポへ配送する。各デポは、仕分けリストに従って各家庭に商品を届ける。

【0018】本発明は、前述のような受注体制と物流体制の階層構造とを構築することにより、受注から商品配達までのリードタイムの短縮を図ることができ、物流作業の効率化を図ることにより、物流コストの低減、配送時間の短縮を図ることができる。

【0019】本発明は、前述した受注及び配達システムを家庭からの注文から配達までの一貫システムとして構築するため、家庭端末に記録された個人IDコードを全ての処理のためのコードとして使用している。

【0020】さらに、前記本発明の目的は、ホームショッピングの受注ネットワーク構築のコスト低減策として、既存のネットワークである公衆通信網と既設の家庭の電話機とを使用し、注文データを蓄積することのできるメモリー機能を備えた廉価な家庭用の簡易注文端末から注文データを受注センタへ送信するようにすることにより達成される。

【0021】注文端末は、利用者によりサービス提供会社の企業IDコードが登録され、その後、個人IDコード、商品コード、数量が入力され、これらを記憶することが可能である。その後、注文端末は、家庭の電話機から受注センタへ回線接続され、登録された注文データをPB信号として受注センタにデータ伝送する。このとき、NTTのフリーダイヤルサービスを利用することにより、家庭の電話通信料金の負担を回避することが可能である。

【0022】また、受注センタ側は、複数台の分散受注コンピュータにより受注処理を分散させているので、1ヶ所のホストコンピュータで多数の端末から24時間リアルタイムで受注処理を行う場合に比較して、そのコストの低減を図ることができる。また、サービス提供会社の企業IDコードを、企業毎に異なるものとしておくことにより、一つの家庭端末からこのIDコードを入力することにより、各家庭は、複数のサービスを利用することができる。

【0023】さらに、家庭用の簡易端末は、その操作性をよくするために、大型ディスプレイと大型キーボードとが採用されており、データ入力が必要最小限のデータ（カタログコード、商品コード、数量等）のキー入力、または、バーコードスキャナ入力により行うことができ、入力エラーの防止を図ることができる。また、データの確認は、端末のメモリーからディスプレイに表示させて行うことができ、データ伝送後にも、音声応答装置（ARU）からの応答により電話機から音声で再確認することができる。

【0024】

【作用】家庭の簡易端末内には、個人IDコードが事前

10

20

30

40

50



に採番されて記憶されており、利用者は、購入したい商品の記載されているカタログのカタログコードと商品コードと数量とを入力し、電話機からPB信号によりこれらを送信することにより注文を行うことができる。

【0025】分散受注センタは、音声応答装置を経由して分散受注コンピュータにこの注文データを格納する。分散受注コンピュータに格納された注文データは、カタログコード別に個人IDコード単位に商品と数量のデータとを蓄積し、その後、定期的に受注センタのホストコンピュータに送信される。

【0026】受注センタのホストコンピュータは、全注文データを集計し、この全注文データを物流センタのホストコンピュータへ配送指示データとして送信する。

【0027】物流センタのホストコンピュータは、受け取った配送指示データをエリア別の単位に分割し、拠点物流センタコンピュータに送信する。

【0028】拠点物流センタコンピュータは、受信したエリア別配送指示データをブロック単位にさらに小さく分割する。

【0029】拠点物流センタでは、このデータ単位にピッキング作業を行い、ピッキングされた商品をブロック単位に梱包し、ブロック単位の仕分けリストを添付して各デポへ配送する。

【0030】各デポでは、この仕分けリストに従い商品を注文した各家庭に届ける。

【0031】

【実施例】以下、本発明によるホームショッピングシステムの実施例を図面により詳細に説明する。

【0032】図1は本発明の第1の実施例のシステム構成を示すブロック図である。図1において、0は家庭、1は注文端末、2は電話機、3は公衆通信網、4は音声応答装置、5は分散受注コンピュータ、6は分散受注センタ、7は受注センタコンピュータ、8はサービス提供会社、9は商品供給会社、10は物流ホストコンピュータ、11は拠点物流センタ、12は拠点物流センタコンピュータ、13は配送デポ（倉庫）である。

【0033】本発明の第1の実施例によるシステムは、図1に示すように、受注システム側が、各家庭0に設置される注文端末1及び電話機2と、公衆通信網3を介して各家庭0と接続される音声応答装置4及び分散受注コンピュータ5を有する複数の分散受注センタ6と、これらのセンタ6からの注文を収集する受注センタコンピュータ7と、受注センタコンピュータ7と接続されている、例えば、決済処理を行う銀行、共同購入システムを有する生活協同組合、チケット販売等を行うチケット会社等のサービス提供会社とにより、物流システム側が、食品メーカ、農業協同組合等の商品供給会社9とを有し、受注センタコンピュータ7からの受注データの処理を行う物流ホストコンピュータ10と、該コンピュータ10からの各エリア別配送指示データをブロック単位に

分割し処理する拠点物流センタコンピュータ12を有し、商品のブロック仕分けを行う複数の拠点物流センタ11と、各家庭毎に商品の仕分けを行い商品を配送する配送デポ13とを有して構成されている。

【0034】この本発明の第1の実施例の受注システム側において、各家庭0と分散受注センタ6とは、24時間リアルタイムに接続が可能であり、分散受注センタ6は、いつでも各家庭0から商品の注文を受け付けることが可能である。また、分散受注センタ6と受注センタコンピュータ7とは、1日に数回接続され、バッチ処理により、分散受注センタ6で受注した商品データが受注センタコンピュータ7に転送される。

【0035】図2は前述した本発明の第1の実施例における注文端末1の構成を示すブロック図である。図2において、20はPB信号を外部に送出するスピーカ、21は注文入力過程の表示及び入力済みの注文内容を確認するために使用するディスプレイ、22は注文入力を行うためのキーボード、23、24、25はそれぞれスピーカ20、ディスプレイ21、キーボード22に対するインタフェース装置、26はCPU、27はプログラムが格納されているROM、28は主電源が断となった場合にもメモリ内容をバックアップバッテリーにより保護することのできるバックアップバッテリーRAM、29はPB信号発振装置（PBOSC）であり、注文端末1は、前記の各構成部を備えて構成されている。

【0036】前述の注文端末1において、PB信号発振装置29は、CPU26より指示のあったPB信号を発振し、このPB信号は、スピーカインタフェース23、スピーカ20を介して音響信号として出力される。この音響データは、注文データの送信時、電話機2の送話器を介して分散受注センタ6に送出される。

【0037】図3は分散受注センタ6における音声応答装置（ARU）4及び分散受注コンピュータ（OPS）5の構成を示すブロック図である。

【0038】図3に示すように、音声応答装置4は、網制御装置（NCU）41、PB信号受信機（PBR）42、D/A変換機43、CPU44、メモリ（MM）45、コンピュータインタフェース46、ディスク（DK）47を備えて構成されており、注文端末1から出力されたPB信号による音声信号を電話機2、電話回線等の公衆通信網3を経由して受信し、かつ、注文結果を音声により、電話機2の利用者に通知する機能を備えている。

【0039】また、分散受注コンピュータ5は、コンピュータインタフェース51、CPU52、メモリ（MM）53、ディスク（DK）54を備えて構成されており、注文端末1よりPB信号として出力され、電話機2を介して音声信号として音声応答装置4に送られた注文内容、すなわち、利用者のIDコード、注文する商品の記載されているカタログコード、商品コード、その数量

を、音声応答装置4を介して、データ通信により受信し、注文伝票の発行等商品の注文指示、管理を行う機能を備えている。さらに、分散受注コンピュータ5は、通信回線55を介して注文情報を受注センタコンピュータへ送信する。

【0040】図4は注文端末1の外観を示す図、図5はカタログの例を示す図である。

【0041】注文端末1は、既に図2により説明したような内部構成を備えており、その操作面には、図4に示すように、LCD等を使用したディスプレイ21、スピーカ20、及び、テンキー、電源のオン、オフを行うON、OFFキー、その他の各種機能キー（これらの各種機能キーについては、後述する端末操作の説明と同時に説明する）等を備えたキーボード22が配置されている。

【0042】また、各家庭に配布されるカタログは、図5に示すように、カタログコードと、注文品名と、これに対応する商品番号、単価が記載されている。

【0043】次に、前述のように構成される本発明の第1の実施例におけるカタログによる会員のホームショッピングの動作例を図6～図18を参照して説明する。

【0044】図6は本発明の第1の実施例におけるデータファイルの構成を示す図、図7～図16は各種データのフォーマットを説明する図、図17は仕分けリストの例を示す図、図18は配送リストの例を示す図である。

【0045】（1）本発明によるオーダエントリシステムの利用者には、家庭配布時に事前に利用者の個人IDコードが登録されている注文端末1が配布される。この個人IDコードは、図6に示す物流センターホストコンピュータ10の全顧客マスター101により管理される。この個人IDコードは、ユニークであり、その設定にはエンドユーザに対しプロテクトがかけられて変更不可能となっており、セキュリティを確保することができるようにされている。

【0046】利用者は、既に配布されている図5に示す商品のカタログを見ながら、キーボード22を使用し、カタログコード、注文したい商品の商品コード、数量を入力していく（データ入力）。但し、カタログの商品コードがバーコード化されていれば、注文端末1のバーコードスキャナによる入力も可能である。

【0047】この入力過程において、注文端末1のディスプレイ21上には、図4に示すように、入力された数字が表示されるため、利用者は、入力の確認を行いながら作業を行うことができる。

【0048】入力された注文データは、図6に示すような注文ファイル構成191として、注文端末1のバックアップバッテリーRAM28に記憶されて保持され、注文端末1の主電源が断になった場合にも、その内容が保持される。

【0049】注文ファイル191は、そのデータフォー

マットが図7に示すように構成されており、固定的にセットされた個人IDコードの後に、利用者が入力した、①配布されたカタログのカタログコード、②注文したい商品の商品コード、③商品の数量を蓄積してファイルとして構成される。但し、②、③の商品コードとその数量とは、注文する商品数だけ繰返し登録され、商品コードとその数量とを示すレコードの先頭に、シーケンシャルに自動採番された注文番号が付加される。

【0050】なお、このデータ入力に際しては、入力ミス等も考えられるため、一旦入力したデータの修正、注文商品数の追加等を行うことができる。

【0051】（2）前述の入力が終了すれば、利用者は、電話機2により音声応答装置4に対する発呼を行う（発呼）。

【0052】（3）一方、公衆通信網3からの着呼信号を網制御装置41により検出した音声応答装置4は、この網制御装置41を使用して着呼動作（被呼応答）を行い、電話機2とのパスを形成する（着呼）。

【0053】（4）このとき、音声応答装置4は、通常、着信側を発呼相手である利用者に確認させるため、「こちらは〇〇〇です。送信してください。」等の着信応答の音声を送信する。このための音声出力は、網制御装置41からの着呼報告を受けたCPU44が、ディスク47内に蓄積されているデジタル音声ファイルを検索し、D/A変換機43によりアナログ化することにより得ることができ、網制御装置41、公衆通信網3を介して電話機2に送出される。

【0054】（5）利用者は、前述により音声応答装置4に対する着信が確認できたならば、注文端末1のスピーカ20の位置に電話機2の送話口を当てて、バックアップバッテリーRAM28に格納されている注文データを、PB信号発振装置29によりPB信号に変換し、キーボード22によりスピーカ20へ送出するトリガを与え、注文データの送信を行う（送信）。

【0055】（6）一方、音声応答装置4は、注文端末1から発振されたPB信号による音声信号を、PB受信器42を使用して受信解析し、デジタル値へ変換してメモリ45へ記憶格納する。

【0056】図8は注文端末1より発信されるデータのフォーマットを示す図である。

【0057】このデータは、注文者識別用の個人IDコードと、カタログコードと、注文する商品毎にシーケンシャルに注文端末1で自動的に付与された商品の追番である注文番号と、商品コード、その数量と、チェックデジットと、注文端末より発信するデータの終了を示す符号であるデリミタ符号（例えば#）とにより構成される。

【0058】音声応答装置4は、前述のチェックデジットにより受信した注文データの誤りチェックを行い、データの信頼度の向上を図っており、また、デリミタ符号

の受信により受信データの終了を判定する。

【0059】なお、音声応答装置4は、受信したデータに誤りがあった場合、再送を要求する音声を電話器2に出力し、また、注文端末1からのデータの送信が完了すると、その完了が、例えば、ブザーの鳴動音等により利用者に知らせる。このため、利用者は、音声応答装置4から出力される回答音声を聞くために受話器を自分の耳に当てることになる。

【0060】(7) 音声応答装置4は、前述のようにして注文端末1より受信した注文データを、コンピュータ

インターフェース装置46を介して分散受注コンピュータ5へ通知する(注文)。  
【0061】(8) 分散受注コンピュータ5は、コンピュータインターフェース装置51を介して音声応答装置からの注文データを受取り、注文データの個人IDコードと支所別顧客マスター543に登録されている個人IDコードとの照合チェックを行う。そして、分散受注コンピュータ5は、個人IDコードが登録外の利用者であれば、音声により「本サービスは、利用できません。」との回答を行う。

【0062】分散受注コンピュータ5は、個人IDコードの照合チェックをパスした注文データの注文商品コードと、ディスク54内に格納されているカタログコード対応の商品マスターファイル541との照合チェック

(受信した注文データが、受付期間中のカタログ注文であるか否かをカタログコードでチェック、受付期間外であれば、受注処理を行わない)、及び、ディスク54内に格納されているカタログコード対応の各商品在庫数との照合チェック(商品在庫がなければ、「商品は売り切れしました」との音声回答を発し、受注処理は行わない。)を行い、これらのチェックをパスすれば、各個人IDコード対応の注文ファイル542をディスク54内に作成する。

【0063】この注文ファイル542は、該当カタログコードが有効な期間、すなわち、該当注文ファイルを元に発注処理を行う直前まで、追加注文がある毎にその注文が追加され更新されていく。

【0064】図10は商品マスター541のデータフォーマットを示す図であり、この商品マスター541は、ホストコンピュータ10の商品在庫マスター103で管理されている「カタログ単位の商品と在庫数量」がダウンロードされたものであり、定期的に、例えば、1日数回程度、更新される。また、商品マスター541には、そのデータとして、カタログ単位の扱い商品と、在庫数量、及び、そのカタログの有効期間とが蓄積されている。

【0065】図9は支所別顧客マスター543のデータフォーマットを示す図であり、この支所別顧客マスター543は、ホストコンピュータ10の全顧客マスター101で管理されている「支所の管轄エリア別の顧客情報

(個人IDコード、氏名、住所 他)と配送ルート、ブロック」がダウンロードされたものであり、定期的に、例えば、1日数回程度更新される。

【0066】図11は注文ファイル542のデータフォーマットを示す図であり、この注文ファイル542は、支所の管轄エリア別の顧客からの注文データが、カタログ単位にまとめられ、個人IDコードをキーコードとして商品コードと数量とが蓄積される。

【0067】(9) 以上の処理により、1個の注文の処理が終了し、音声応答装置4及び電話機2のオンフックが行われ、公衆通信網3を開放して、全ての注文処理を終了する(オンフック)。

【0068】(10) 各分散受注センタ6で作成された注文ファイルは、1日数回の単位で受注センタコンピュータ7に送信され、受注センタコンピュータ7で収集される。そして、受注センタコンピュータ7は、カタログコード別IDコード別に全注文ファイル771を作成する。そして、受注センタコンピュータ7は、サービス提供会社8のコンピュータと接続され、受注結果の情報、代金決済処理のための情報等の各サービス会社に必要なデータのみを、各サービス会社に伝送する。

【0069】例えば、受注センタコンピュータ7は、注文した商品の代金の自動決済処理のために、注文の受付締切時間になったときに、注文主が契約している銀行へ個人IDコードをキーコードとして、商品購入金額データを伝送し、銀行に注文主の口座から代金の引落を行ってもらい、その処理結果を受注センタで受信して、全顧客マスター101の代金支払状況に蓄積する。また、チケット予約会社に対して、受注センタコンピュータ7は、チケットの予約データを伝送し、予約完了後、代金決済を前述と同様に行う。

【0070】図12は全注文ファイル771のデータフォーマットを示す図であり、この全注文ファイル771は、全支所から送信される注文ファイル542の注文データをカタログ単位にまとめ、個人IDコードをキーコードとして商品コードと数量とを蓄積するものであり、受注センタコンピュータ7により作成される。

【0071】(11) 受注センタコンピュータ7は、この全注文ファイル771を、物流ホストコンピュータ10に対して配送指示データとして、注文の受付締切後に伝送する。物流ホストコンピュータ10は、伝送されてきた全注文ファイル771の注文データを、個人IDコードをキーとして、全会員の顧客情報を管理している全顧客マスター101に登録してあるエリア単位(拠点センタ別、デポ別、配送ルート別、ブロック別)に分割して配送指示データ102を作成する。

【0072】この分割エリアへの配送を担当する拠点センタ11の単位に分割された配送指示ファイル102は、物流ホストコンピュータ10から、この拠点の配送指示データとして各拠点物流センタコンピュータ12へ

伝送される。また、物流ホストコンピュータ10は、全商品の在庫量を商品在庫マスター103により管理しており、全注文ファイル771の注文データ受信後、商品在庫マスター103の在庫数量から注文データの数量分を引いて更新する。

【0073】このとき、拠点センタ11の在庫が不足すれば、物流ホストコンピュータ10は、商品供給会社9へ仕入れ指示データとして、「仕入れたい商品の商品コードと数量」を商品供給会社9のコンピュータへ伝送し、商品の調達を行う。

【0074】図13は顧客マスター101のデータフォーマットを示す図であり、この全顧客マスター101は、本発明によるシステムに加入している全会員の顧客情報を管理しており、個人IDコードをキーとして、顧客の氏名、住所等のデータと、顧客住所による配送ルート、管轄ブロックとを蓄積している。

【0075】図14は商品在庫マスター103のデータフォーマットを示す図であり、この商品在庫マスター103には、カタログ単位の取り扱い商品と在庫数、また、その商品を供給する供給会社コード、及び、このカ

タログの有効期間が蓄積されている。

【0076】図15は配送指示ファイル102のデータフォーマットを示す図であり、この配送指示ファイル102には、拠点センタ別に分類され、さらに、この拠点センタが管轄するデポ単位に分類された、例えば、1デポが取り扱う数ブロック程度の複数の注文データが、個人IDコード、商品コード、数量により表わされて蓄積される。

【0077】前述において、物流ホストコンピュータ10と受注センタコンピュータ7とは、同一コンピュータにより構成してもよく、この場合、前述した(10)と(11)との処理機能を同一コンピュータ上に構成すればよい。

【0078】(12)拠点センタ11の拠点センタコンピュータ12は、物流ホストコンピュータ10からの拠点別配送指示データ102を受信し、拠点別配送指示ファイル121を作成する。次に、拠点センタ11では、配送先の家庭をエリアより小さいブロック単位、例えば、1ブロック10家庭程度に分割された配送指示データに従い、商品を各家庭単位にピッキングして梱包した後、さらにそのブロック単位に梱包する。

【0079】このとき、拠点センタ11では、梱包された商品にそのブロックに対応した仕分けリスト122(IDコード単位に注文した商品と数量を記載したもの)を添付し、このブロックを管轄するデポ13へ配送する。1デポは、複数ブロックを管轄する。

【0080】図16は拠点別配送指示ファイル121のデータフォーマットを示す図、図17は仕分けリスト122の例を示す図であり、拠点別配送指示ファイル121は、拠点別配送指示データ102と同一のものであ

る。このファイル121から図17に示すような仕分けリスト122が作成される。

【0081】(13)各デポ13では、この仕分けリスト122に従い、拠点センタ11より届けられる商品を配達ルート別に、例えば、1ルート数ブロック程度に仕分けし、ルート別のトラックに乗せ、注文した各家庭0に商品を配達する。

【0082】通常、支所6とデポ13とは同一建屋内に設けられる場合が多く、この場合、支所6の分散受注コンピュータ5は、自己が管理している支所別顧客マスター543内の個人IDコードと拠点センタ11より送られた商品の仕分けリストの個人IDコードとを照合し、送られてきた商品がこのデポが管轄する会員に対するものであるか否かをチェックし、また、商品が注文データと一致しているか否かを注文ファイル542と照合してチェックして、誤配送がないことの確認を行う。

【0083】また、支所6の分散受注コンピュータ5は、ルート別に仕分けられた個人IDコードにより、支所別顧客マスター543の住所データから最適ルートの配送順を記した配送リスト131を出力し、商品の配送のルートを示す。これにより効率的な配送を行うことができる。

【0084】図18は前述した配送リスト131の一例を示す図である。

【0085】前述した本発明の第1の実施例による商品の配送ルートとしては、商品の形態、鮮度等を考慮して種々のルートを使用することができ、例えば、

- ① 商品供給会社—拠点センタ—デポ—家庭
- ② 商品供給会社—拠点センタ—家庭
- ③ 商品供給会社—デポ—家庭
- ④ 商品供給会社—家庭

のようなルートを使用することができる。

【0086】図19は本発明の第2の実施例を概要を説明する図、図20は本発明の第2の実施例によるシステムの概略構成を示すブロック図、図21は本発明の第2の実施例によるシステムの詳細な構成を示すブロック図である。

【0087】この本発明の第2の実施例は、図19に示すように、家庭の注文端末と情報処理センタ(受注センタ)と物流センタとにより基幹システムを構築し、この基幹システムを複数のサービス提供会社により共同利用可能にしたものである。

【0088】そして、利用家庭の数が多くなった場合、本発明の第2の実施例は、図20に示すように、基幹システムの受注処理と物流処理とを分散化することにより、システム全体の効率化を図るようにすることができる。このため、この本発明の第2の実施例は、受注センタ、物流倉庫共に階層構造を持った基幹システムを構築している。

【0089】この場合、階層構造としては、全体の処理

効率、作業効率、コスト等を考慮して最適な階層数を決定する必要がある。また、分散処理センタにおける受注センタと倉庫とは、同一の建屋に設けられてもよく、分離されて設けられてもよい。

【0090】次に、前述のような本発明の第2の実施例の詳細を図21を参照して説明する。図21における図の符号は第1図の場合と同一であり、サービス提供会社8及び商品供給会社9がそれぞれ会社群として示され、また、分散受注センタ6が倉庫を備える分散処理センタとして示されている。

【0091】本発明の第2の実施例によるホームショッピングのシステムは、注文端末1と、受注処理機能61及び配送処理機能62を併せ持つ分散処理センタ6と、全情報を統括管理する情報処理センタ7と、全商品を統括管理する物流センタ10とにより基幹システムが構成されており、家庭からの注文を家庭まで商品として届けることのできる一貫したシステムである。

【0092】この基本システムを構築するホームショッピング会社は、様々なサービスを提供する企業群8とサービス提供の契約を結ぶ。これらの企業群8と情報処理センタ7とは、コンピュータを介して接続される。これにより、各家庭は、契約したサービス提供会社A～C81のサービスが紹介される。

【0093】また、サービス提供会社群8がサービス提供する商品の供給会社群9の商品供給会社a～c91は、情報処理センタ7と接続され、物流センタ10へ商品の供給を行う。これにより、サービス会社A～C81が紹介する商品が物流センタ10から倉庫62を経て各家庭に届けられる。

【0094】次に、前述したように構成される本発明の第2実施例によるシステムの処理動作を説明する。

【0095】(1)各家庭には注文端末1が設置されており、注文端末1は、電話網、デジタル通信網等の公衆通信網3を介して、分散処理センタ6と接続可能である。そして、注文端末1には、個人IDコードとして本発明によるシステム内でユニークな番号が予め採番されており、セキュリティ上から情報処理センタ7により管理され、家庭では変更することができないようにされている。

【0096】また、注文端末1は、メモリー機能を有し、公衆通信網3を介してデータ通信を行うことのできる機能を有する端末、例えば、パソコン、多機能電話、FAX、ホームゲーム機器、通常の電話機と接続あるいは音響的にカップリング可能な端末等であればよい。

【0097】そして、この注文端末1は、サービス提供会社群からの商品紹介も、情報処理センタ7、分散処理センタ6を介して、注文端末2のディスプレイに表示して行うことができる。

【0098】(2)各家庭では、購入したい商品があれば、注文端末1へ、その商品のサービス提供会社の企業

IDコードと商品のコードと数量とを入力する。この注文データは、図8により説明したような個人IDコードAが自動付加された注文電文とされて、分散処理センタ6内の受注コンピュータ61へ送信される。

【0099】(3)受注コンピュータ61は、回線を介して情報処理センタ7へこの注文データを送信する。情報処理センタ7では、この注文データ内の企業IDコードを判断して、対応するサービス提供会社ファイル71へその注文データを格納する。

【0100】(4)情報処理センタ7は、サービス提供会社のファイル71の個人IDコードをキーコードとして商品と数量とのデータを物流センタ10へ配送指示データとして送信する。物流センタ10では、受信した配送指示データに基づいてファイル101を作成し、また、同一のデータをサービス提供会社81へ販売実績として送信し、さらに、この同一のデータを商品供給会社91へ商品の発注データとして送信する。

【0101】(5)物流センタ10では、商品の注文主である個人IDコードに従って、その家庭を管轄する分散処理センタ6の倉庫62へ注文された商品を届ける。そして、分散処理センタ6では、受注コンピュータ61の注文データ(個人IDコード、商品、その数量)と到着した商品とのチェックを行い、その後、倉庫62から家庭へ商品を届ける。

【0102】(6)前述の処理において、各家庭で、種々のサービス提供会社の商品を購入したい場合、注文端末1にそれらの企業のIDコードを入力すればよく、各家庭は、本発明のシステムと提携を結んだ全てのサービス提供会社群8のサービスを受けることができる。また、これらのサービス提供会社の受注データの管理は、情報処理センタ7のファイル71により行われる。

【0103】(7)分散処理センタ6は、情報処理センタ7のコンピュータ処理の負荷分散化と配送処理能力の分散化との機能を合わせ持つものであり、分散処理センタ6はエリア別に設置され、そのエリアに入る家庭の受注処理と配送処理とを担当する。また、分散処理センタ6は、受注コンピュータ61と倉庫62との機能を合わせて持つことにより、データ処理能力とシステムの簡略化を図ることができる。

【0104】(8)また、前述した本発明実施例におけるキーコードとなる個人IDコード、サービス提供会社IDコード、及び、商品供給会社IDコードは、情報処理センタ7で統括管理されており、これらのキーコードにより注文データと商品の発送とを一致させることができる。

【0105】図22、図23は、前述した本発明の第1及び第2の実施例において、注文端末1を使用し、図5により説明したカタログを参照して注文を行う場合の端末の操作を説明するフローチャートであり、以下、このフローを参照して端末の操作を説明する。

【0106】(1) まず、ONキーを押して電源をONとする。これにより、ディスプレイ21に個人IDコードが表示され、メニュー選択画面となる(ボックスア)。

【0107】(2) 次に、メニュー選択のために使用される「注文」、「問合せ」、「送信」ボタンのうち注文ボタンを押すと、この操作以前に注文が行われていたか否かがチェックされ、以前の注文データがない場合には、カタログコード入力状態になり表示部の『カタログコード』が点滅する(ボックスイ)。

【0108】(3) ここで、カタログの種類を識別するためカタログコード(4桁)をテンキー入力する。この時、入力必須桁が判るように、ディスプレイ21上にはアンダーバーが表示される。利用者が、テンキーより、例えば、カタログコード1234を入力すると、ディスプレイ21には入力されたカタログコード「1234」が表示される。この表示とカタログコードとの一致を確認して、「登録」キーを押すと、ビツという受付音が鳴り、入力されたカタログコードがメモリに記憶され、表示データが消えて、商品コード入力モードとなる。これにより、『商品コード』が点滅し、入力必須桁がアンダーバーで表示される。このとき、画面の左2桁には、注文番号が01から50まで自動的に採番され表示される(ボックスウ)。(4) この状態で、例えば、パンを注文する場合には注文商品コード123を入力するため、前述と同様に、テンキー1、2、3を押す。この商品コードの入力後、自動的に、次の数量入力モードになり、『数量』が点滅し入力必須桁がアンダーバーで表示される(ボックスエ)。

【0109】(5) 数量(2桁)の入力を行う。例えば、数量を10を入力する場合には、テンキー1、0を押す。数量の入力終了後「登録」キーを押すと、ビツという受付音が鳴り、入力された商品コード及び数量がメモリに記憶される。その後、注文番号が、1つカウントアップされ商品コードが点滅する。次の注文品の商品コード、数量とを、前述と同様に繰り返し入力することにより、注文データを入力してゆき、注文番号50の入力が終了するとENDの表示がされる(ボックスオ)。

【0110】(6) 以上の操作を繰り返し行い、注文すべきデータをすべて入力した後、△キー及び▽キーを押すことにより、これまで入力した注文の注文番号NO.の表示が減少あるいは増加して、任意の注文番号NO.の注文を確認することができる(ボックスカ)。

【0111】(7) また、注文入力を一旦終了し、電源をOFFした後、再び電源を上げた場合、前述のボックスアの状態で、注文キーを押すと、(ボックスキ)に示す表示となり、ここで、▽、△キーを押すことによっても注文内容の確認を行うことができる。

【0112】(8) 前述の確認の操作において誤りを見つけた場合には、その注文内容が表示されている状態

で、訂正キーを押すことにより、注文内容を訂正することができる。例えば、注文商品コード129を123に訂正する場合、商品コード129を表示させて、訂正キーを押すと、商品コード『129』が点滅する。ここで、新たな商品コード123を入力する。これにより、表示は、正しいコードになる。その後、前述の場合と同様に自動的に数量の入力になるので、数量の訂正が必要であれば、新たな数量の入力を行い、数量の訂正を必要としなければ、そのまま「登録」キーを押す。このときビツという受付音が鳴り、入力した商品コード、数量がメモリに登録される。数量が1桁(0~9)の場合、その1桁のみの入力後、「登録」キーを押しても同様にメモリに登録される。

【0113】(9) 次に、数量だけを訂正する場合に、は、訂正したい注文内容を▽、△キーを用いて表示させ、「訂正」キーを押すと、注文品を示す商品コード、例えば、『123』が点滅するので、このとき「登録」キーを押す。この「登録」キーを押すことにより、数量の訂正モードになり『数量』『10』が点滅する。ここで、例えば、数量を10から01に訂正する場合にはテンキー1を押す。これにより、ディスプレイの表示が「01」となり、その後、「登録」キーを押すと、ビツという受け音が鳴り、訂正された数量がメモリに登録される。

【0114】前述したような注文入力操作により、注文端末に対する注文データの入力、確認、訂正を行うことができ、注文端末のメモリーに、注文データを記憶させることができる。

【0115】注文データが記憶されると、電話機がある所であれば、分散受注センターに電話をかけて応答を確認した後、送信ボタンを押下すれば、注文データを、例えば、音響カプラを介して送信することができ、直接コンピュータに、注文データの入力を行うことができる。前記送信ボタンによる注文データの送信は、何度でも可能であり、データの再送を容易に行うことができる。

【0116】前述した商品の注文入力操作は、商品コードと数量とを入力するとしたが、その後さらに商品の単価を入力するようにしてもよい。

【0117】この場合、入力操作の終了時に、注文端末内で注文の総額を計算して表示させるようにすることができ、利用者は、自分が注文した商品の総額をチェックすることができる。また、この注文データの送信後、音声応答装置から応答される、注文商品の総額を聴取して、チェックを行うこともできる。

【0118】また、一般に、商品カタログは、一定の期間で変更になり、これにより、カタログ番号が変更になる。このような変更が行われた場合、注文端末に保存されている以前のカatalog番号による注文データは、不要なものとなり消去する必要がある。

【0119】本発明においては、注文端末に新たなカタ

ログ番号が入力されたときに、前企画番号の注文データを、メモリからクリアすることにより、新規なカタログによる注文を行う場合のメモリクリアのための操作を不要とすることができる。

【0120】前述した注文操作では、最大50件の商品の注文を行うことができるとしたが、この件数は、メモリ容量に応じて任意に設定することができる。

【0121】また、一度に設定できる件数以上の注文を行う場合、一旦、最大数の注文データを送信し、センタ装置であるホストコンピュータに注文データの受付を行  
10 わせた後、再度、同様な注文データを作成して送信すればよい。この場合、以前の注文データをメモリから自動的にクリアさせるようにすることができる。

【0122】前述した本発明の第1及び第2の実施例によれば、ホームショッピングの受注システムと物流システムとを連動させることができ、これにより、受注から商品配達までのリードタイムの短縮を図ることができる。例えば、生協の共同購入システムに本発明を採用した場合、リードタイムとして、従来2週間かかっていたものが、1週間以下に短縮することができた。

【0123】また、本発明の第1の実施例による家庭簡易端末による家庭ネットワーク構築のためのコストも、注文端末をパーソナルコンピュータに比べ1/100程度の価格で提供可能であることにより大幅に低減することができ、また、物流コストも、ピッキング作業の拠点物流センタでの集約化、在庫量の圧縮により、コストの低減化を図ることができる。

【0124】さらに、家庭用の簡易端末として、大型ディスプレイ、キーボードあるいはバーコード入力機器の採用することにより、エラー入力を防止することができ、しかも、分散受注センタからの音声応答装置により注文データの確認を音声により電話機から聞くことにより行うことができるので、だれでも簡単に操作を行  
30 い、注文の確認を行うことができる。

【0125】また、前述した本発明の第2の実施例によれば、基幹システムが、家庭用端末と、情報処理センタと、物流センタとにより構成され、この基幹システムを多数のサービス提供会社が利用することができるので、システム構築費用が各サービス提供会社の負担とならず、消費者へのサービス提供費用、すなわち、商品の  
40 価格を安くすることができる。

【0126】また、各家庭への配送トラックの台数を削減することができるため、交通渋滞の低減、排気ガスの低減等の公共の利益をも生じさせることができる。

【0127】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、操作性が良く、かつ、好きな時間に何時でも商品の注文を行うことができ、受注から配達までのリードタイムを短縮することができ、かつ、物流コストを押さえることのできるホームショッピングシステムを提供することがで  
50

きる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例のシステム構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の第1の実施例における注文端末の構成を示すブロック図である。

【図3】分散受注センタにおける音声応答装置（ARU）及び分散受注コンピュータ（OPS）の構成を示すブロック図である。

【図4】注文端末の外観を示す図である。

【図5】カタログの例を示す図である。

【図6】データファイルの構成を示す図である。

【図7】注文ファイルのデータフォーマットを示す図である。

【図8】注文端末より発信されるデータのフォーマットを示す図である。

【図9】支所別顧客マスターのデータフォーマットを示す図である。

【図10】商品マスターのデータフォーマットを示す図である。

【図11】注文ファイルのデータフォーマットを示す図である。

【図12】全注文ファイルのデータフォーマットを示す図である。

【図13】顧客マスターのデータフォーマットを示す図である。

【図14】商品在庫マスターのデータフォーマットを示す図である。

【図15】配送指示ファイルのデータフォーマットを示す図である。

【図16】拠点別配送指示ファイルのデータフォーマットを示す図である。

【図17】仕分けリストの一例を示す図である。

【図18】配送リストの一例を示す図である。

【図19】図19は本発明の第2の実施例の概要を説明する図である。

【図20】本発明の第2の実施例によるシステムの概略構成を示すブロック図である。

【図21】本発明の第2の実施例によるシステムの詳細な構成を示すブロック図である。

【図22】注文端末の操作を説明するフローチャートである。

【図23】注文端末の操作を説明するフローチャートである。

【図24】従来技術によるシステムの一例を示すブロック図である。

【符号の説明】

0 家庭

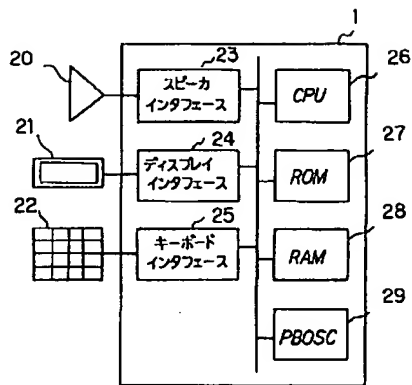
1 注文端末

2 電話機

- 3 公衆通信網
- 4 音声応答装置
- 5 分散受注コンピュータ
- 6 分散受注センタ
- 7 受注センタコンピュータ
- 8 サービス提供会社
- 9 商品供給会社
- 10 物流ホストコンピュータ
- 11 拠点物流センタ
- 12 拠点物流センタコンピュータ
- 13 配送デポ (倉庫)

【図2】

【図2】



【図5】

【図5】

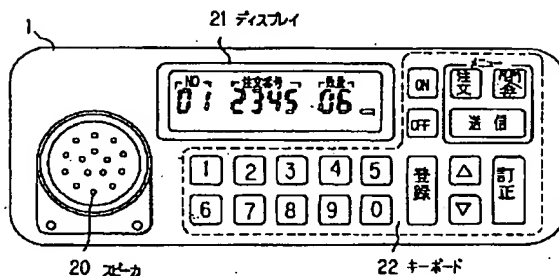
カタログ	カタログ 1234		
注文品	玉子	パン	砂糖……
商品番号	111	123	234……
単価	100円	80円	200円

- \* 20 スピーカ
- 21 ディスプレイ
- 22 キーボード
- 23 スピーカインタフェース
- 24 ディスプレイインタフェース
- 25 キーボードインタフェース
- 26 CPU
- 27 ROM
- 28 バックアップバッテリーRAM
- 10 29 PB信号発振装置 (PBOSC)

\*

【図4】

【図4】



【図7】

【図7】

注文番号	商品コード	数量	注文番号	商品コード	数量	注文番号	商品コード	数量
注文 1			注文 2			注文 n		

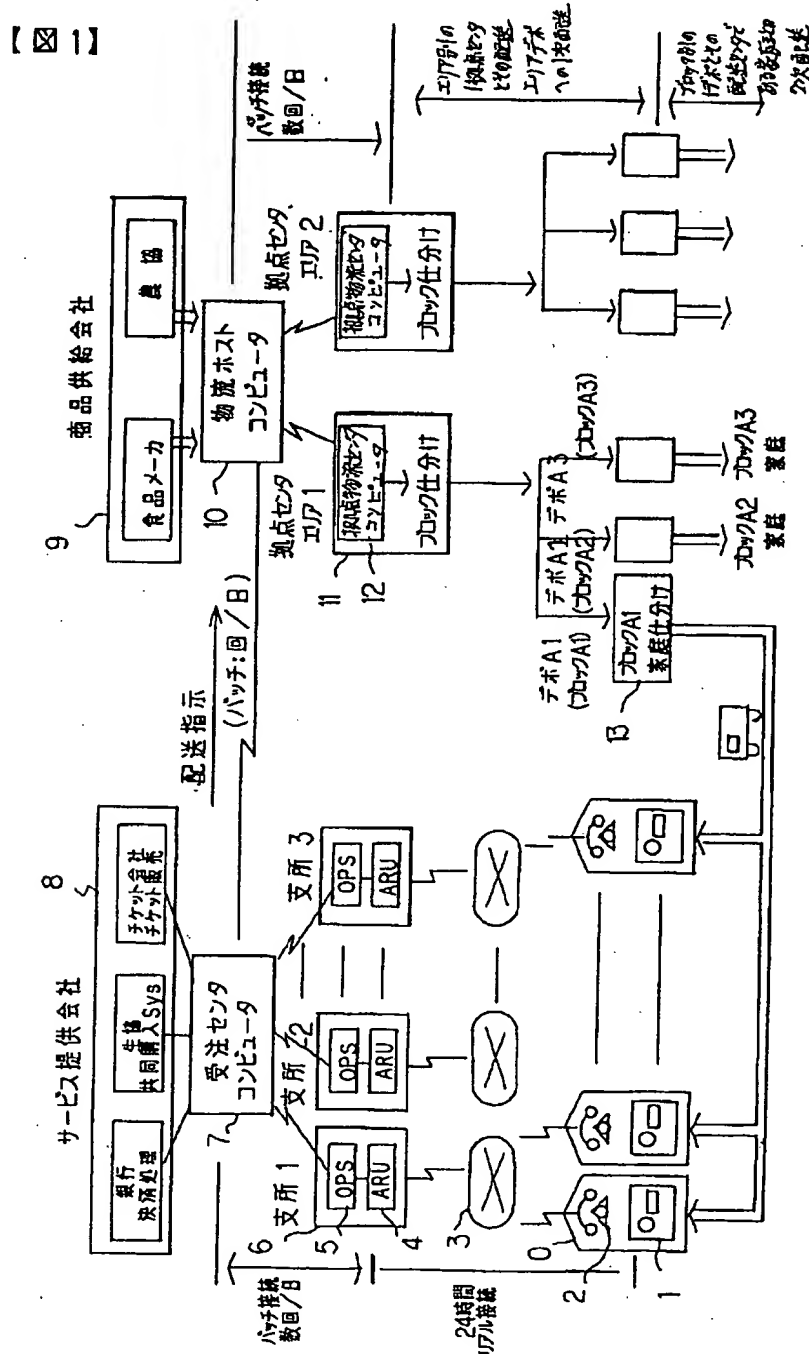
【図8】

【図8】

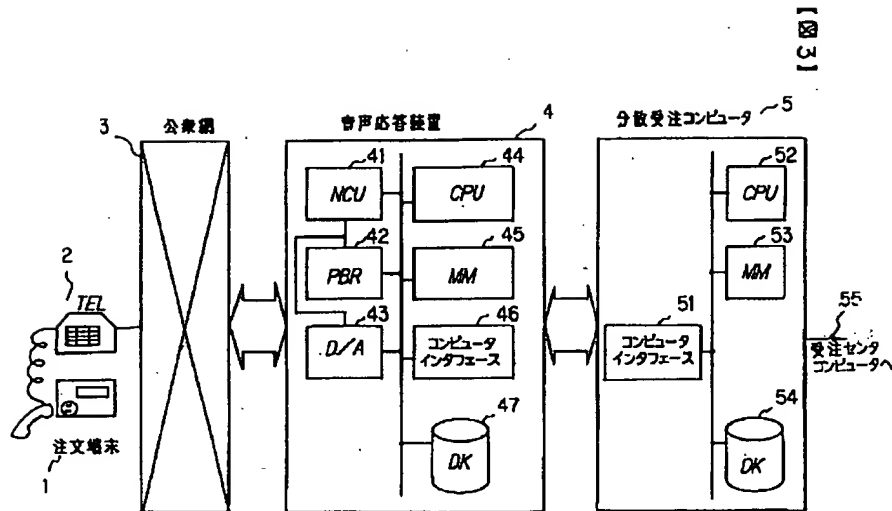
注文番号	商品コード	数量	注文番号	商品コード	数量	注文番号	商品コード	数量
注文 1			注文 n					



【図1】



【図3】



【図9】

【図9】

支所コード	ICコード	氏名	住所	電話番号	地図情報	代金支払状況	配達ルートコード	プロセッサコード
顧客情報 1								顧客情報 n

【図10】

【図10】

支所コード	カタログコード	受注受付日	受注締切日	商品コード	商品名	在庫数量	商品コード	商品名	在庫数量	商品コード	商品名	在庫数量
				商品 1			商品 2			商品 n		

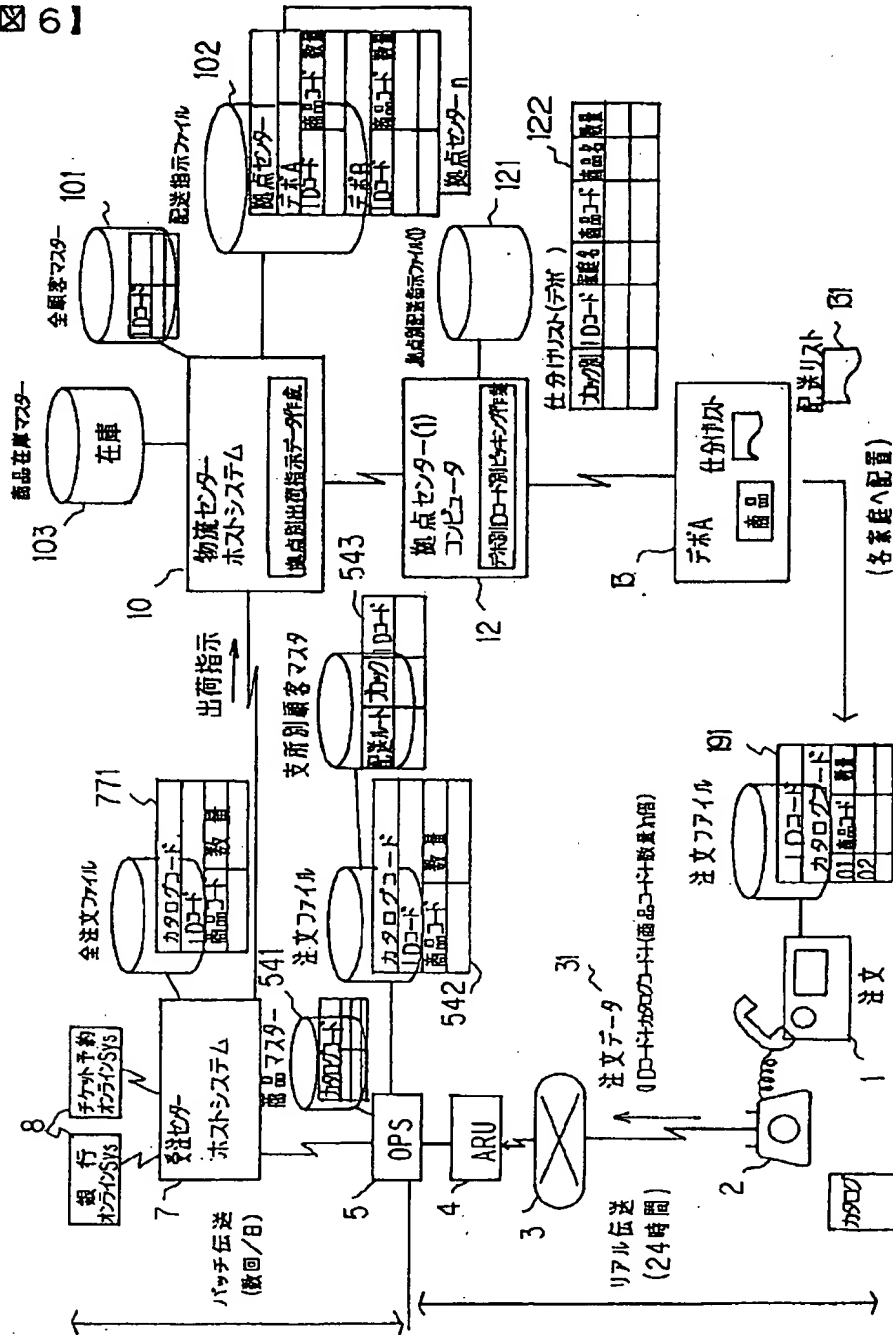
【図11】

【図11】

支所コード	カタログコード	ICコード	注文番号	商品コード	数量	注文番号	商品コード	数量	支所コード	カタログコード	ICコード	注文番号	商品コード	数量
顧客の注文データ 1									顧客の注文データ n					

【図6】

【図6】



【圖 12】

支所單位

【 13 】

【圖 14】

【 14 】

【図 15】

【 15 】

拠点センター配送指示データ 1

【図 16】

【图 16】

[illegible]

【図17】

【図17】

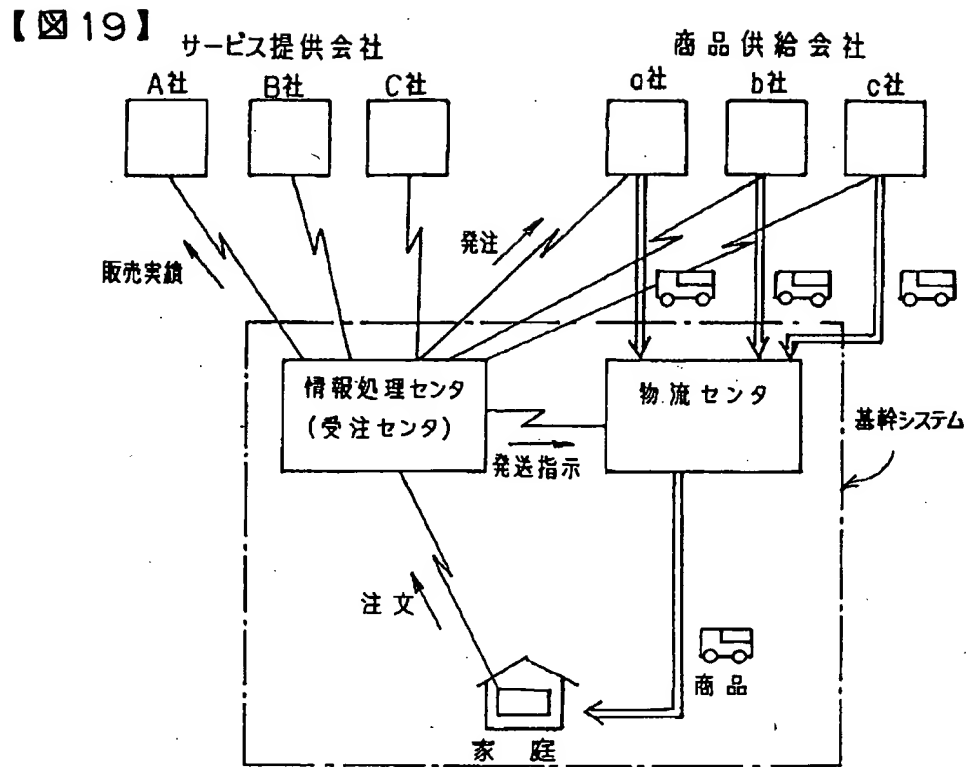
仕分けリスト(ブロック単位)							
配達ルート	ブロック	IDコード	氏名	商品コード	商品名	数量	金額
Aルート	aブロック	10001000	佐藤	2001	おにぎり	2	200
				2500	牛乳	1	150
		10001010	鈴木	5010	パン	3	500
	bブロック	10002000	吉田	1001	米	1	5500
				3100	ハム	3	1500

【図18】

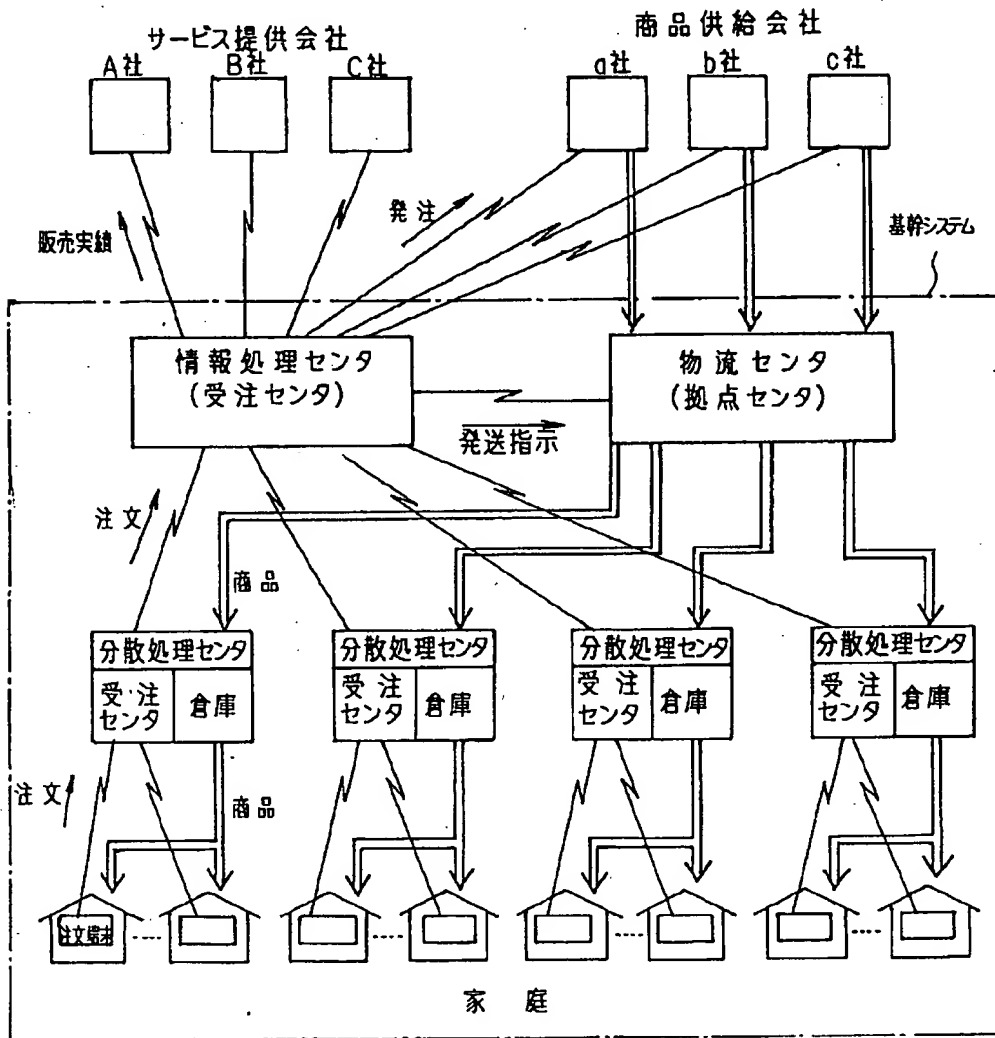
【図18】

配達リスト(配達ルート単位)							
配達ルート	配達順	ブロック	IDコード	氏名	商品数量	住所	電話
Aルート	1	aブロック	1000 1000	佐藤	3	千代田区—	111-1111
	2	aブロック	1000 1010	鈴木	3	千代田区—	222-2222
	3	bブロック	2000 1001	田中	5	千代田区—	333-3333
	4	cブロック	1000 2000	吉田	4	千代田区—	444-4444
	5	cブロック					

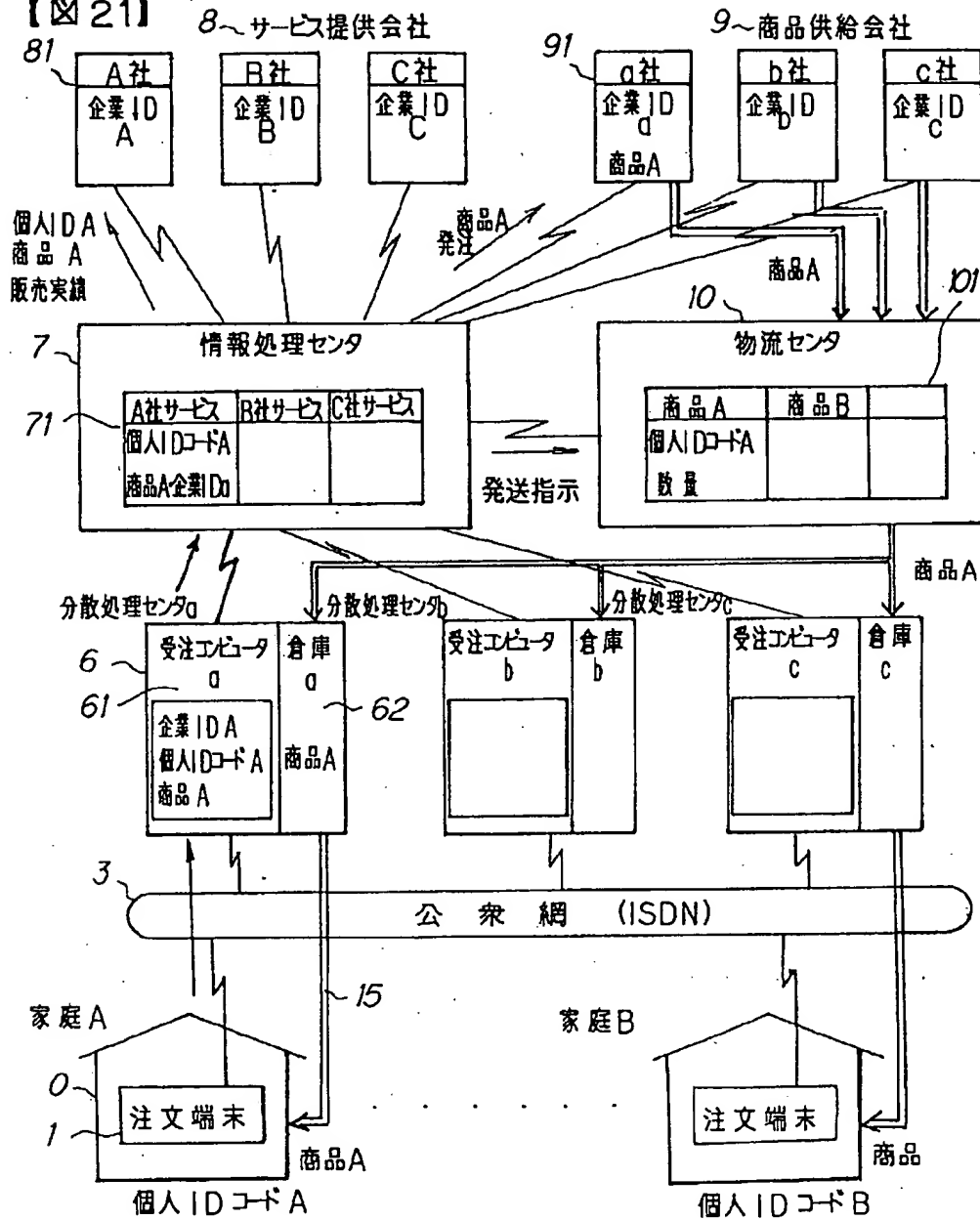
【図19】



【☒ 20】



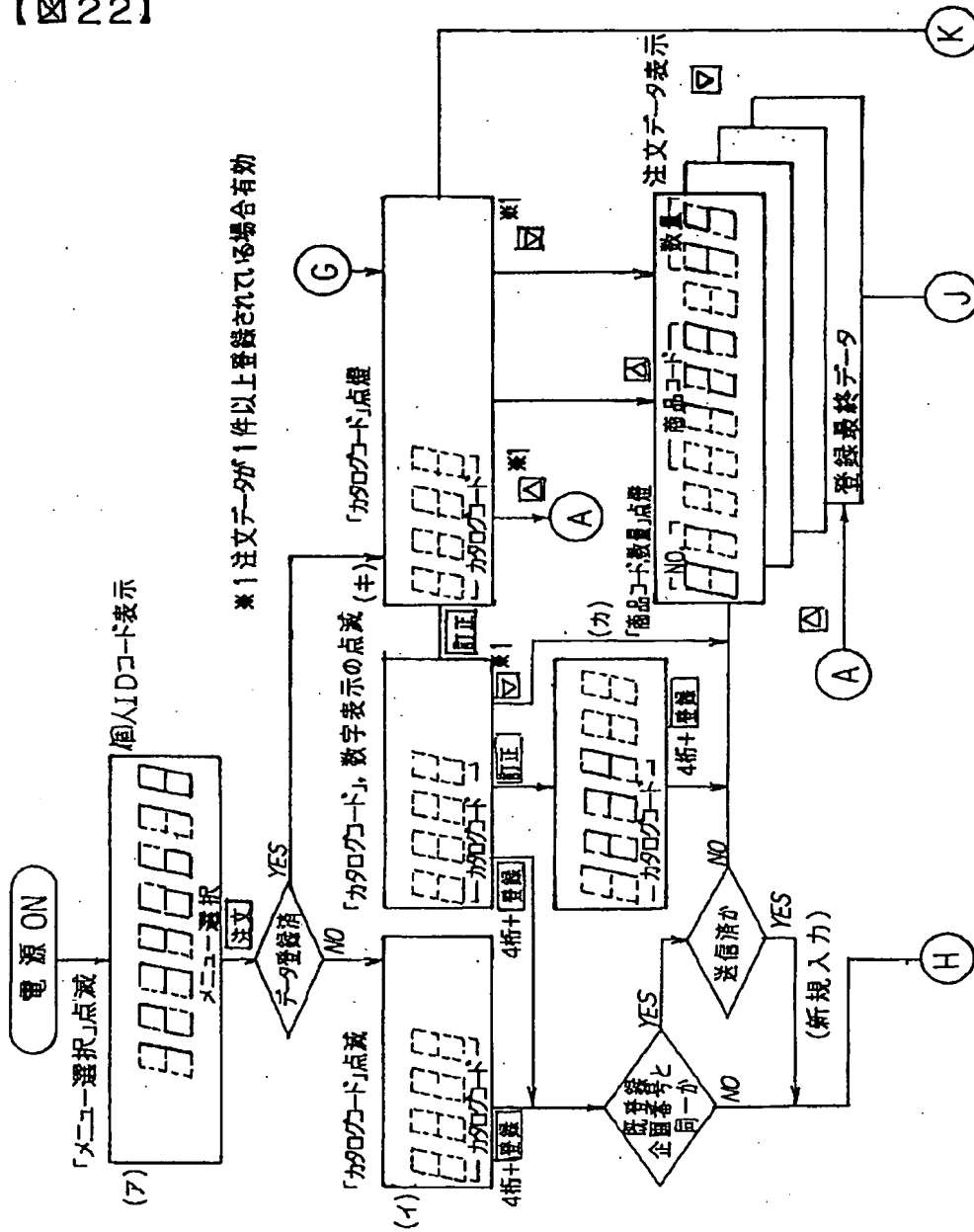
【☒ 21】





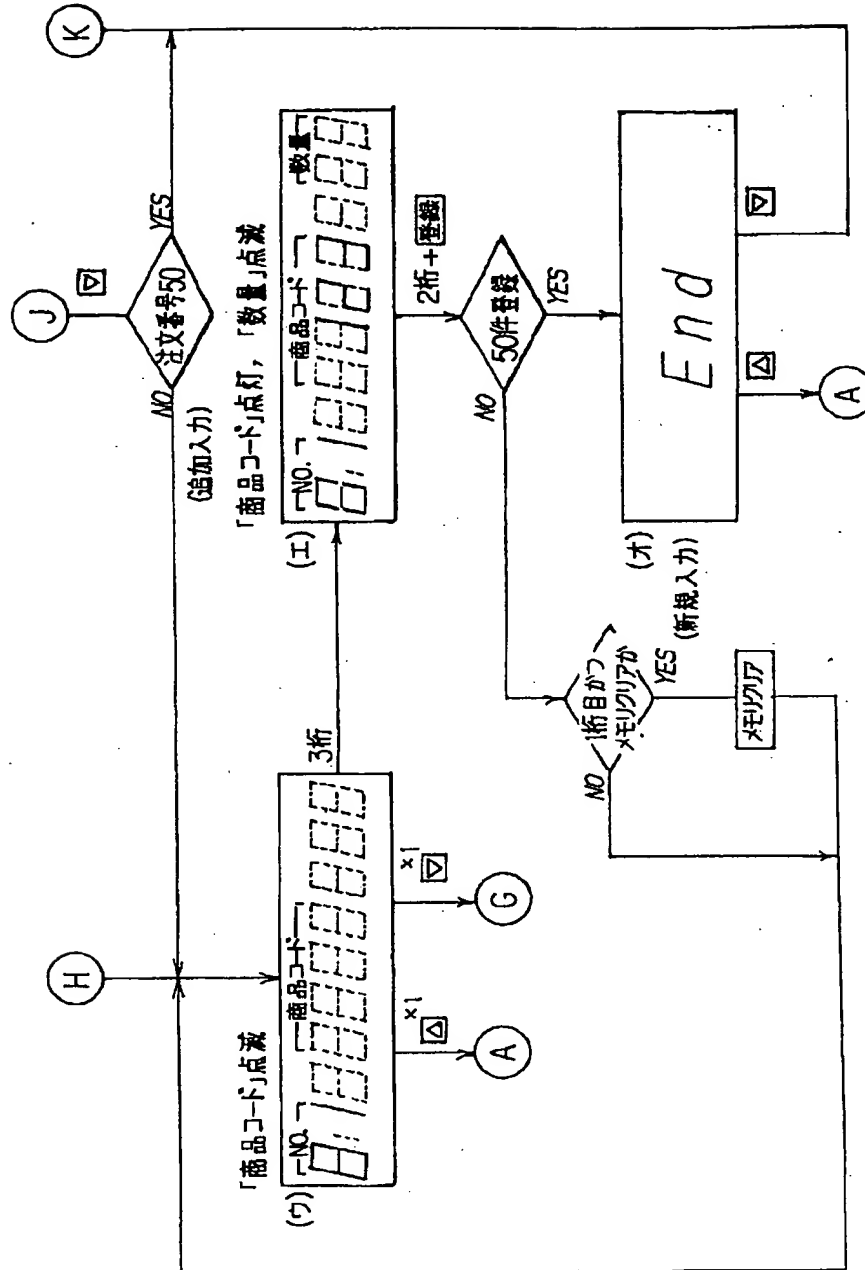
【図22】

【図22】



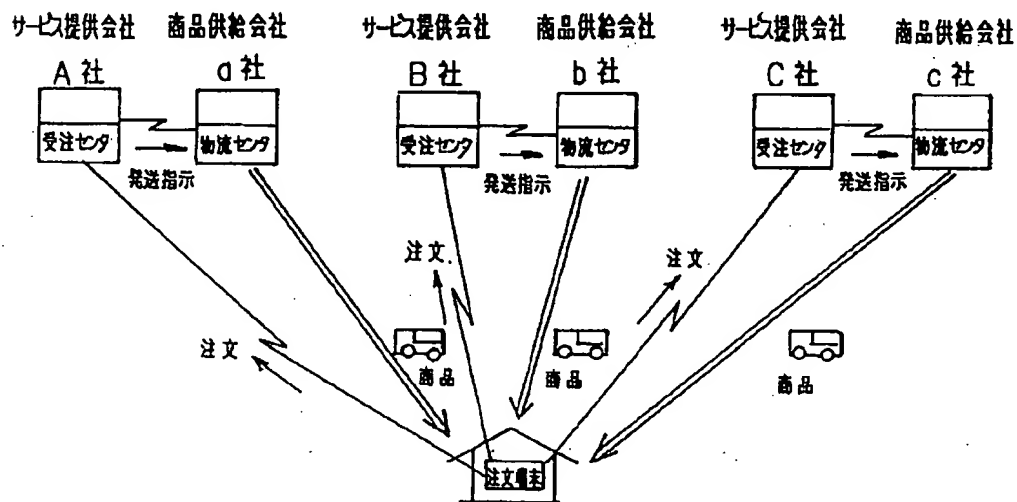
【図23】

【図23】



【図24】

【図24】



フロントページの続き

(72)発明者 中島 靖夫  
神奈川県川崎市幸区鹿島田890番地の12  
株式会社日立製作所情報システム事業部内

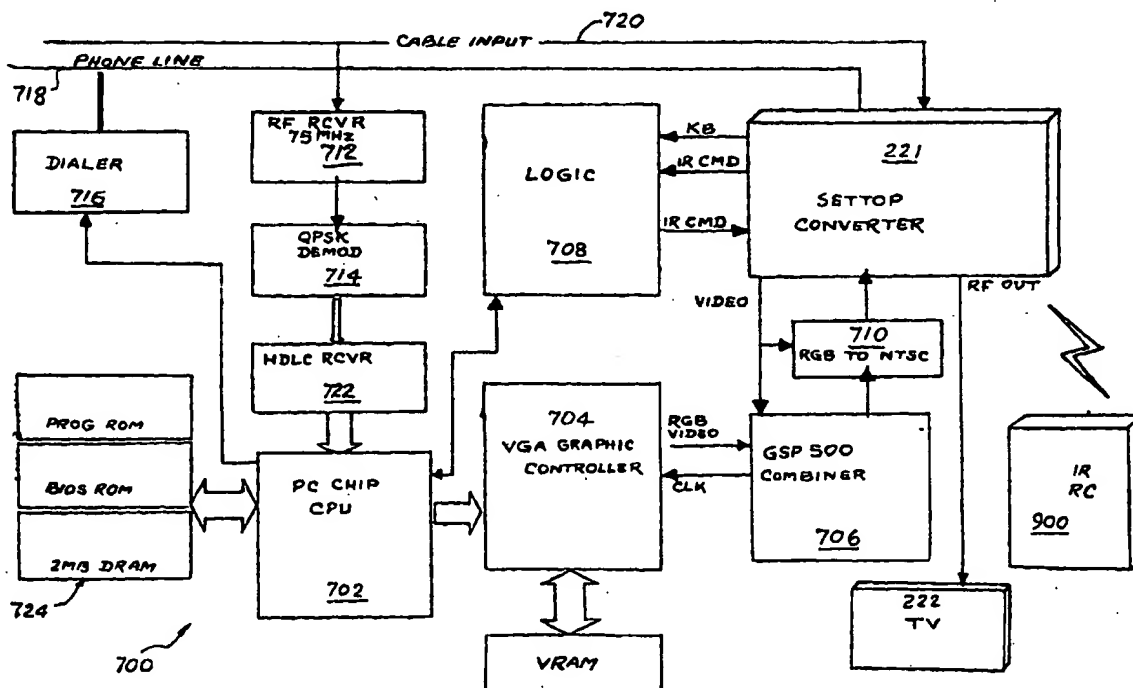
(72)発明者 吉川 喜章  
栃木県下都賀郡大平町大字富田800番地  
株式会社日立製作所リビング機器事業部内  
(72)発明者 赤塚 弥作  
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町216番地 株  
式会社日立製作所情報通信事業部内



## INTERNATIONAL APPLICATION PUBLISHED UNDER THE PATENT COOPERATION TREATY (PCT)

(51) International Patent Classification <sup>5</sup> : H04N 7/16, 7/173		A1	(11) International Publication Number: WO 94/14282
			(43) International Publication Date: 23 June 1994 (23.06.94)
(21) International Application Number: PCT/US93/11618		(81) Designated States: AT, AU, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CZ, DE, DK, ES, FI, GB, HU, JP, KP, KR, KZ, LK, LU, LV, MG, MN, MW, NL, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SK, UA, VN, European patent (AT, BE, CH, DE, DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI patent (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, ML, MR, NE, SN, TD, TG).	
(22) International Filing Date: 2 December 1993 (02.12.93)			
(30) Priority Data: 07/991,074 9 December 1992 (09.12.92) US			
(71) Applicant: DISCOVERY COMMUNICATIONS, INC. [US/US]; 7700 Wisconsin Avenue, Bethesda, MD 20814-3522 (US).		Published With international search report.	
(72) Inventors: HENDRICKS, John, S.; 8723 Persimmon Tree Road, Potomac, MD 20854 (US). BONNER, Alfred, E.; 8300 Bradley Boulevard, Bethesda, MD 20817 (US). BERKOBIN, Eric, C.; 108 Hillview Court, Woodstock, GA 30188 (US).			
(74) Agents: NOTO, Aldo; Dorsey & Whitney, 1330 Connecticut Avenue, N.W., Suite 200, Washington, DC 20036 (US) et al.			

(54) Title: SET TOP TERMINAL FOR CABLE TELEVISION DELIVERY SYSTEMS



**(57) Abstract**

A viewer interface for a television program delivery system (200) is described. The innovation relates to methods and devices for viewer pathways to television programs. Specifically, the interface involves hardware and software used in conjunction with a television at the viewer home to create a user friendly menu based approach to television program access. The device is particularly useful in a program delivery system (200) with hundreds of programs and a data signal carrying program information. The disclosure describes menu generation and menu selection of television programs.

**FOR THE PURPOSES OF INFORMATION ONLY**

Codes used to identify States party to the PCT on the front pages of pamphlets publishing international applications under the PCT.

AT	Austria	GB	United Kingdom	MR	Mauritania
AU	Australia	GE	Georgia	MW	Malawi
BB	Barbados	GN	Guinea	NE	Niger
BE	Belgium	GR	Greece	NL	Netherlands
BF	Burkina Faso	HU	Hungary	NO	Norway
BG	Bulgaria	IE	Ireland	NZ	New Zealand
BJ	Benin	IT	Italy	PL	Poland
BR	Brazil	JP	Japan	PT	Portugal
BY	Belarus	KE	Kenya	RO	Romania
CA	Canada	KG	Kyrgyzstan	RU	Russian Federation
CF	Central African Republic	KP	Democratic People's Republic of Korea	SD	Sudan
CG	Congo	KR	Republic of Korea	SE	Sweden
CH	Switzerland	KZ	Kazakhstan	SI	Slovenia
CI	Côte d'Ivoire	LI	Liechtenstein	SK	Slovakia
CM	Cameroon	LK	Sri Lanka	SN	Senegal
CN	China	LU	Luxembourg	TD	Chad
CS	Czechoslovakia	LV	Latvia	TG	Togo
CZ	Czech Republic	MC	Monaco	TJ	Tajikistan
DE	Germany	MD	Republic of Moldova	TT	Trinidad and Tobago
DK	Denmark	MG	Madagascar	UA	Ukraine
ES	Spain	ML	Mali	US	United States of America
FI	Finland	MN	Mongolia	UZ	Uzbekistan
FR	France			VN	Viet Nam
GA	Gabon				

**SET TOP TERMINAL FOR CABLE TELEVISION DELIVERY  
SYSTEMS**

**RELATED APPLICATIONS**

5        This application is a continuation-in-part of application  
Serial Number 07/991,074 filed December 9, 1992 entitled  
TELEVISION PROGRAM PACKAGING AND DELIVERY  
SYSTEM WITH MENU DRIVEN SUBSCRIBER ACCESS. The  
following other continuation-in-part applications, also based  
on the above-referenced patent application, are incorporated  
10        herein by reference:

Ser. No. \_\_\_\_\_, entitled REPROGRAMMABLE  
TERMINAL FOR SUGGESTING PROGRAMS OFFERED ON A  
TELEVISION PROGRAM DELIVERY SYSTEM, filed on  
December \_\_, 1993

15        Ser. No. \_\_\_\_\_, entitled NETWORK CONTROLLER FOR  
CABLE TELEVISION DELIVERY SYSTEMS, filed on  
December \_\_, 1993

Ser. No. \_\_\_\_\_, entitled AN OPERATIONS CENTER  
FOR A TELEVISION PROGRAM PACKAGING AND DELIVERY  
20        SYSTEM, filed on December \_\_, 1993

Ser. No. \_\_\_\_\_, entitled ADVANCED SET TOP  
TERMINAL FOR CABLE TELEVISION DELIVERY SYSTEMS,  
filed on December \_\_, 1993

25        Ser. No. \_\_\_\_\_, entitled DIGITAL CABLE HEADEND  
FOR CABLE TELEVISION DELIVERY SYSTEM, filed on  
December \_\_, 1993

**TECHNICAL FIELD**

30        The invention relates to television entertainment  
systems for providing television programming to consumer  
homes. More particularly, the invention relates to a set top  
terminal for use with a program delivery system with menu  
selection of programs.

**BACKGROUND OF THE INVENTION**

Advances in television entertainment have been primarily driven by breakthroughs in technology. In 1939, advances on Vladimir Zworykin's picture tube provided the stimulus for NBC to begin its first regular broadcasts. In 1975, advances in satellite technology provided consumers with increased programming to homes.

Many of these technology breakthroughs have produced inconvenient systems for consumers. One example is the ubiquitous three remote control home, having a separate and unique remote control for the TV, cable box and VCR. More recently, technology has provided cable users in certain parts of the country with 100 channels of programming. This increased program capacity is beyond the ability of many consumers to use effectively. No method of managing the program choices has been provided to consumers.

Consumers are demanding that future advances in television entertainment, particularly programs and program choices, be presented to the consumer in a user friendly manner. Consumer preferences, instead of technological breakthroughs, will drive the television entertainment market for at least the next 20 years. As computer vendors have experienced a switch from marketing new technology in computer hardware to marketing better useability, interfaces and service, the television entertainment industry will also experience a switch from new technology driving the market to consumer useability driving the market.

Consumers want products incorporating new technology that are useful, and will no longer purchase new technology for the sake of novelty or status. Technological advances in sophisticated hardware are beginning to surpass the capability of the average consumer to use the new

technology. Careful engineering must be done to make entertainment products incorporating new technology useful and desired by consumers.

5 In order for new television entertainment products to be successful, the products must satisfy consumer demands. TV consumers wish to go from limited viewing choices to a variety of choices, from no control of programming to complete control. Consumers wish to advance from cumbersome and inconvenient television to easy and  
10 convenient television and keep costs down. Consumers do not wish to pay for one hundred channels when due to lack of programming information, they seldom, if ever, watch programming on many of these channels.

15 The concepts of interactive television, high definition television and 300 channel cable systems in consumer homes will not sell if they are not packaged, delivered and presented in a useable fashion to consumers. The problem is that TV programming is not being delivered and presented to consumers in a user friendly manner.

20 Consumers are already being bombarded with programming options, numerous "free" cable channels, subscription cable channels and pay-per-view choices. Any further increase in TV entertainment choices, without a user friendly presentation and approach, will likely bewilder  
25 viewers with a mind-numbing array of choices.

The TV industry has traditionally marketed and sold its programs to consumers in bulk, such as continuous feed broadcast and long-term subscriptions to movie channels. The TV industry has been unable to sell its programming in  
30 large quantities on a per unit basis, such as the ordering of one program. Consumers prefer a unit sales approach



because it keeps costs down and allows the consumer to be more selective in their viewing.

5 In addition, viewership fragmentation, which has already begun, will increase. Programming not presented in a user friendly manner will suffer with a decrease in viewership and revenue.

10 What is needed is a system which can deliver and present television programming through a user friendly interface which allows the consumer to easily select from among the many program choices.

What is needed is a set top converter that provides a user friendly interface for subscribers to access television programs.

15 What is needed is a set top converter that allows users to easily navigate through hundreds of programming choices using on-screen menus.

What is needed is a set top converter that allow subscribers to select a program from among hundreds of choices without a television viewing guide.

20 What is needed is a method that allows efficient access to hundreds of television programming options.

What is needed is hardware that provides an upgrade capability allowing the use of existing set top converter technology in advanced program delivery systems.

25 What is needed is technology that upgrades the functionality of existing set top converters.

What is needed is a set top converter that provides an upstream communications capability between the set top converter and cable headend.

30 What is needed is a set top converter that provides a capability of generating menus for display.

What is needed is a set top converter that provides a simple way to select a program from a menu.

What is needed is a set top converter that provides pay-per-view type program access in the same system as specialty channel and broadcast television access.

What is needed is a set top converter that allows users to subscribe on-screen to specialty channels.

What is needed is a set top converter that monitors subscriber viewing choices for statistical purposes.

What is needed is a set top converter that provides on-screen billing information to subscribers.

What is needed is a set top converter that provides sophisticated on-screen television menus which can incorporate still video or moving video.

What is needed is a set top converter that provides a capability of scaling and redirecting video for menus.

What is needed is a set top converter that provides a capability of using a program signal with a split screen video for menus. The present invention is addressed to fulfill these needs.

#### **SUMMARY OF INVENTION**

The present invention is a set top converter box or terminal for a television program delivery system. More specifically, the present invention is an advanced set top converter box that acts as a terminal in the viewer home. The set top terminal is a key component of a digital cable television delivery system. The set top terminal provides for menu generation and menu selection of television programming.

The set top terminal is the portion of the program delivery system that resides in the home of a subscriber. The set top terminal has input and output ports that enable it to

communicate with other local and remote devices. In the preferred embodiment, the set top terminal has an input port that is capable of receiving information from a cable headend. In addition, the unit has at least two output ports which provide communications from the set top terminal to a television, VCR or other electronic component in the viewer home. Also, the set top terminal contains a phone jack which can be used for maintenance, trouble shooting, reprogramming and additional customer features. The set top terminal may contain stereo/audio output terminals and a satellite dish input port.

Functionally, the set top terminal is the last component in the delivery system chain. In the preferred embodiment, the set top terminal receives compressed program and control signals from the cable headend (or, in some cases, directly from the operations center). After the set top terminal receives the individually compressed program and control signals, the signals are demultiplexed, decompressed, converted to analog signals (if necessary) and either placed in local storage (from which the menu template may be created), executed immediately, or sent directly to the television screen.

After processing certain signals received from the cable headend, the set top terminal is able to store an array of menu templates for creating menus that are displayed on a subscriber's television. Menu templates are created and sent to the set top terminal for storage. A microprocessor uses the control signals received from the operations center or cable headend to generate the menu templates for storage. Each menu template is stored in volatile memory in the set top terminal. When the set top terminal receives template information it may demultiplex the program control signals

received from the cable headend into three primary parts: video, graphics and text. Each menu template represents a different portion of a whole menu, such as a menu background, television logo, cursor highlight overlay, or other  
5 miscellaneous components needed to build a menu. The menu templates may be deleted or altered using control signals received from the operations center or cable headend.

Once the menu templates have been stored in memory, the set top terminal can generate the appropriate menus. In  
10 the preferred embodiment, the basic menu format information is stored in memory located within the set top terminal so that the microprocessor may locally access the information from the set top terminal instead of from an incoming signal. The microprocessor next generates the  
15 appropriate menus from the menu templates and the other menu information stored in memory. The set top terminal then displays specific menus on the subscriber's television screen that correspond to the inputs the subscriber selects. If the subscriber selects a specific program from a menu, the  
20 set top terminal determines on which channel the program is being shown, demultiplexes and extracts the single channel transmitted from the cable headend.

In addition to menu information, the set top terminal may also store text transmitted from the cable headend or  
25 the operations center. The text may inform the subscriber about upcoming events, billing and account status, new subscriptions, or other relevant information. The text will be stored in an appropriate memory location depending on the frequency and the duration of the use of the textual message.  
30 The set top terminal can also support on-line data base services, interactive multi-media services, access to digital radio channels, and other services.

In the simplest embodiment, available converter boxes such as those manufactured by General Instruments or Scientific Atlanta, may be modified and upgraded to perform the functions of a set top terminal. The preferred upgrade is  
5 a circuit card with a microprocessor which is electronically connected to the converter box.

It is an object of the invention to provide a user friendly interface for subscribers to access television programs.

It is an object of the invention to allow users to easily  
10 navigate through hundreds of programming choices using on-screen menus.

It is an object of this invention to allow subscribers to select a program from among hundreds of choices without a television viewing guide.

15 It is an object of this invention to efficiently access hundreds of television programming options.

It is an object of this invention to provide an upgrade capability allowing the use of existing set top converter technology in an advanced program delivery system.

20 It is an object of this invention to upgrade the functionality of existing set top converters.

It is an object of this invention to provide an upstream communications capability between the set top converter and cable headend.

25 It is an object of this invention to provide a set top terminal capable of generating menus for display.

It is an object of this invention to provide a way to select a program from a menu with the push of one button.

30 It is an object of this invention to provide pay-per-view type program access in the same system as specialty channel and broadcast television access.

It is an object of this invention to allow users to subscribe on-screen to specialty channels.

It is an object of this invention to monitor subscriber viewing choices for statistical purposes.

5 It is an object of this invention to provide on-screen billing information to subscribers.

It is an object of this invention to provide sophisticated on-screen television menus which can incorporate still video or moving video.

10 It is an object of this invention to provide a set top terminal capable of scaling and redirecting video for menus.

It is an object of this invention to provide a set top terminal capable of using a program signal with a split screen video for menus.

15 These and other objects and advantages of the invention will become obvious to those skilled in the art upon review of the following description, the attached drawings and appended claims.

## 20 DESCRIPTION OF THE DRAWINGS

Figure 1 is a diagram of the primary components of the television delivery system.

Figure 2 is an overview of the television delivery system operations.

25 Figure 3 is a schematic of the operation of the primary components of the system.

Figure 4a is a drawing of a frame format for a program control information signal.

30 Figure 4b is a drawing of a frame format for a polling response from the set top terminal.

Figure 5a is a block diagram of the internals of a set top terminal.

Figure 5b is a block diagram of an alternative embodiment of the internals of a set top terminal.

Figure 6a is a perspective front view of a set top terminal.

5        Figure 6b is a perspective rear view of a set top terminal.

Figure 7 is a schematic of the basic components of the Turbo Card.

10       Figure 8 shows the basic structure of the program menu system of the present invention.

Figure 9a is a drawing of the basic menus used in the present invention, including the ten major menus represented by icons.

15       Figure 9b is a drawing of additional menus used in a preferred embodiment (in addition to Figure 9a).

Figure 10 is a drawing of a flow chart showing the steps required for the microprocessor to sequence program menus.

Figures 11a, 11b and 11c depict an alternative approach to the sequencing of menus.

20       Figures 12a-12h depict the program flow of a Turbo card upgrade for an existing set top converter box.

Figure 13 depicts an introductory menu.

Figure 14 depicts a home menu display screen.

Figure 15 depicts an alternative home menu screen.

25       Figure 16 depicts a major menu for the hit movies category.

Figure 17 depicts a hit movie description menu.

Figures 18 depicts a hit movie confirmation submenu.

Figures 19 depicts a hit movie notification submenu.

30       Figure 20a is a drawing of a hit movie escape during program menu.

Figure 20b is a drawing of a hit movie during program hidden menu.

Figure 20c is a drawing of a hit movie re-entry menu.

Figure 21 is a drawing of a movie library major menu.

5        Figures 22a-22e depict a typical menu sequence of the present invention.

Figures 23 and 24 depict a specialty channel major menu and a related submenu.

10        Figure 25 is a drawing of a magazine channel major menu.

Figure 26 is a drawing of a documentary/news subcategory menu.

Figure 27a is a drawing of storage for on-screen menu templates stored in graphics memory of the set top terminal.

15        Figure 27b is a drawing showing the hierarchical storage of text for the set top terminal.

Figure 27c is a drawing of a flow chart showing the steps required for the microprocessor to retrieve, combine and display a menu.

20        Figures 28a-g and 29a-g show how menus are generated by the set top terminal.

Figure 30 depicts a split-screen technique for use with the present invention.

25        **DETAILED DESCRIPTION OF THE PREFERRED EMBODIMENT**

A        **Television Program Delivery System Description**

1.        **Introduction**

30        Figure 1 shows the present invention as part of an expanded cable television program delivery system 200 that dramatically increases programming capacity using compressed transmission of television program signals.



Developments in digital bandwidth compression technology now allow much greater throughput of television program signals over existing or slightly modified transmission media. The program delivery system 200 shown provides subscribers  
5 with a user friendly interface to operate and exploit a six-fold or more increase in current program delivery capability.

Subscribers are able to access an expanded television program package and view selected programs through a menu-driven access scheme that allows each subscriber to  
10 select individual programs by sequencing a series of menus. The menus are sequenced by the subscriber using simple alpha-numeric and iconic character access or moving a cursor or highlight bar on the TV screen to access desired programs by simply pressing a single button, rather than recalling from  
15 memory and pressing the actual two or more digit numeric number assigned to a selection. Thus, with the press of a single button, the subscriber can advance from one menu to the next. In this fashion, the subscriber can sequence the menus and select a program from any given menu. The  
20 programs are grouped by category so that similar program offerings are found on the same menu.

## 2. Major System Components

In its most basic form, the system uses a program delivery system 200 in conjunction with a conventional  
25 concatenated cable television system 210. The program delivery system 200 generally includes (i) at least one operations center 202, where program packaging and control information are created and then assembled in the form of digital data, (ii) a digital compression system, where the  
30 digital data is compressed, combined/multiplexed, encoded, and mapped into digital signals for satellite transmission to the cable headend 208, and (iii) a set of in-home

decompressors. The program delivery system 200 transports the digital signals to the cable headend 208 where the signals are transmitted through a concatenated cable television system 210. Within the cable headend 208, the received signals may be decoded, demultiplexed, managed by a local central distribution and switching mechanism, combined and then transmitted to the set top terminal 220 located in each subscriber's home over the cable system 210. Although concatenated cable systems 210 are the most prevalent transmission media to the home, telephone lines, cellular networks, fiberoptics, Personal Communication Networks and similar technology for transmitting to the home can be used interchangeably with this program delivery system 200.

The delivery system 200 has a reception region 207 with an in-home decompression capability. This capability is performed by a decompressor housed within a set top terminal 220 in each subscriber's home. The decompressor remains transparent from the subscriber's point of view and allows any of the compressed signals to be demultiplexed and individually extracted from the composite data stream and then individually decompressed upon selection by the subscriber. The decompressed video signals are converted into analog signals for television display. Such analog signals include NTSC formatted signals for use by a standard television. Control signals are likewise extracted and decompressed and then either executed immediately or placed in local storage such as a RAM. Multiple sets of decompression hardware may be used to decompress video and control signals. The set top terminal 220 may then overlay or combine different signals to form the desired display on the subscriber's television. Graphics on video or picture-on-picture are examples of such a display.

Although a single digital compression standard (e.g., MPEG) may be used for both the program delivery system 200 and the concatenated cable system 210, the compression technique used may differ between the two systems. When  
5 the compression standards differ between the two media, the signals received by the cable headend 208 must be decompressed before transmission from the headend 208 to the set top terminals 220. Subsequently, the cable headend 208 must recompress and transmit the signals to the set top  
10 terminal 220, which would then decompress the signals using a specific decompression algorithm.

The video signals and program control signals received by the set top terminal 220 correspond to specific television programs and menu selections that each subscriber may  
15 access through a subscriber interface. The subscriber interface is a device with buttons located on the set top terminal 220 or on a portable remote control 900. In the preferred system embodiment, the subscriber interface is a combined alpha-character, numeric and iconic remote  
20 control device 900, which provides direct or menu-driven program access. The preferred subscriber interface also contains cursor movement and go buttons as well as alpha, numeric and iconic buttons. This subscriber interface and menu arrangement enables the subscriber to sequence  
25 through menus by choosing from among several menu options that are displayed on the television screen. In addition, a user may bypass several menu screens and immediately choose a program by selecting the appropriate alpha-character, numeric or iconic combinations on the subscriber  
30 interface. In the preferred embodiment, the set top terminal 220 generates the menus that are displayed on the television by creating arrays of particular menu templates, and the set

top terminal 220 displays a specific menu or submenu option for each available video signal.

3. Operations Center and Digital Compression System

5

The operations center 202 performs two primary services, packaging television programs and generating the program control information signal. At the operations center 202, television programs are received from external program sources in both analog and digital form. Figure 2 shows an embodiment of the operations center receiving signals from various external sources 212. Examples of the external program sources are sporting events, children's programs, specialty channels, news or any other program source that can provide audio or visual signals. Once the programs are received from the external program sources, the operations center 202 digitizes (and preferably compresses) any program signals received in analog form. The operations center 202 may also maintain an internal storage of programs. The internally stored programs may be in analog or digital form and stored on permanent or volatile memory sources, including magnetic tape or RAM. Subsequent to receiving programming, the operations center 202 packages the programs into the groups and categories which provide the optimal marketing of the programs to subscribers. For example, the operations center 202 may package the same programs into different categories and menus for weekday, prime-time viewing and Saturday afternoon viewing. Also, the operations center 202 packages the television programs in a manner that enables both the various menus to easily represent the programs and the subscribers to easily access the programs through the menus.

The packaging of the digital signals is typically performed at the operations center 202 by computer assisted packaging equipment (CAP). The CAP system normally includes at least one computer monitor, keyboard, mouse, and standard video editing equipment. A programmer packages the signals by entering certain information into the CAP. This information includes the date, time slot, and program category of the various programs. The programmer and the CAP utilize demographic data and ratings in performing the packaging tasks. After the programmer selects the various programs from a pool of available programs and inputs the requisite information, the programmer, with assistance from the CAP, can select the price and allocate transponder space for the various programs. After the process is complete, the CAP displays draft menus or program schedules that correspond to the entries of the programmer. The CAP may also graphically display allocation of transponder space. The programmer may edit the menus and transponder allocation several times until satisfied with the programming schedule. During the editing, the programmer may direct the exact location of any program name on a menu with simple commands to the CAP.

The packaging process also accounts for any groupings by satellite transponder which are necessary. The operations center 202 may send different groups of programs to different cable headends 208 and/or set top terminals 220. One way the operations center 202 may accomplish this task is to send different program packages to each transponder. Each transponder, or set of transponders, then relays a specific program package to specific cable headends 208 and/or set top terminals 220. The allocation of transponder

space is an important task performed by the operations center 202.

5       The operations center 202 may also "insert" directions for filling local available program time in the packaged signal to enable local cable and television companies to fill the program time with local advertising and/or local programming. Consequently, the local cable headends 208 are not constrained to show only programs transmitted from the operations center 202. New set top converters will  
10       incorporate both digital and analog channels. Therefore, the cable headend 208 may combine analog signals with the digital signals prior to transmitting the program signals to the set top terminals 220.

15       After the CAP packages the programs, it creates a program control information signal to be delivered with the program package to the cable headend 208 and/or set top terminal 220. The program control information signal contains a description of the contents of the program package, commands to be sent to the cable headend 208  
20       and/or set top terminal 220, and other information relevant to the signal transmission.

25       In addition to packaging the signal, the operations center 202 employs digital compression techniques to increase existing satellite transponder capacity by at least a 4:1 ratio, resulting in a four-fold increase in program delivery capability. A number of digital compression algorithms currently exist which can achieve the resultant increase in capacity and improved signal quality desired for the system. The algorithms generally use one or more of three basic  
30       digital compression techniques: (1) within-frame (intraframe) compression, (2) frame-to-frame (interframe) compression, and (3) within carrier compression. Specifically, in the

preferred embodiment, the MPEG 2 compression method is used. After digital compression, the signals are combined (multiplexed) and encoded. The combined signal is subsequently transmitted to various uplink sites 204.

5           There may be a single uplink site 204 or multiple uplink sites (represented by 204', shown in phantom in Figure 1) for each operation center 202. The uplink sites 204 may either be located in the same geographical place or may be located remotely from the operations center 202.  
10       Once the composite signal is transmitted to the uplink sites 204, the signal may be multiplexed with other signals, modulated, upconverted and amplified for transmission over satellite. Multiple cable headends 208 may receive such transmissions.

15           In addition to multiple uplinks, the delivery system 200 may also contain multiple operations centers. The preferred method for using multiple operations centers is to designate one of the operations centers as a master operations center and to designate the remaining operations centers as slave  
20       operations centers. In this configuration, the master operations center coordinates various functions among the slave operations centers such as synchronization of simultaneous transmissions and distributes the operations workload efficiently.

25           4.     Cable Headend

          After the operations center 202 has compressed and encoded the program signals and transmitted the signals to the satellite, the cable headend 208 receives and further  
30       processes the signals before they are relayed to each set top terminal 220. Each cable headend site is generally equipped with multiple satellite receiver dishes. Each dish is capable

of handling multiple transponder signals from a single satellite and sometimes from multiple satellites.

As an intermediary between the set top terminals 220 and the operations center 202 (or other remote site), the cable headend 208 performs two primary functions. First, the cable headend 208 acts as a distribution center, or signal processor, by relaying the program signal to the set top terminal 220 in each subscriber's home. In addition, the cable headend 208 acts as a network controller 214 by receiving information from each set top terminal 220 and passing such information on to an information gathering site such as the operations center 202.

Figure 3 shows an embodiment where the cable headend 208 and the subscriber's home are linked by certain communications media 216. In this particular embodiment, analog signals, digitally compressed signals, other digital signals and up-stream/interactivity signals are sent and received over the media 216. The cable headend 208 provides such signaling capabilities in its dual roles as a signal processor 209 and network controller 214.

As a signal processor 209, the cable headend 208 prepares the program signals that are received by the cable headend 208 for transmission to each set top terminal 220. In the preferred system, the signal processor 209 re-routes or demultiplexes and recombines the signals and digital information received from the operations center 202 and allocates different portions of the signal to different frequency ranges. Cable headends 208 which offer different subscribers different program offerings may allocate the program signals from the operations center 202 in various manners to accommodate different viewers. The signal processor 209 may also incorporate local programming



and/or local advertisements into the program signal and forward the revised signal to the set top terminals 220. To accommodate this local programming availability, the signal processor 209 must combine the local signal in digital or analog form with the operations center program signals. If the local cable system uses a compression standard that is different than the one used by the operations center 202, the signal processor 209 must also decompress and recompress incoming signals so they may be properly formatted for transmission to the set top terminals 220. This process becomes less important as standards develop (i.e., MPEG 2). In addition, the signal processor 209 performs any necessary signal decryption and/or encryption.

As a network controller 214, the cable headend 208 performs the system control functions for the system. The primary function of the network controller 214 is to manage the configuration of the set top terminals 220 and process signals received from the set top terminals 220. In the preferred embodiment, the network controller 214 monitors, among other things, automatic poll-back responses from the set top terminals 220 remotely located at each subscribers' home. The polling and automatic report-back cycle occurs frequently enough to allow the network controller 214 to maintain accurate account and billing information as well as monitor authorized channel access. In the simplest embodiment, information to be sent to the network controller 214 will be stored in RAM within each subscriber's set top terminal 220 and will be retrieved only upon polling by the network controller 214. Retrieval may, for example, occur on a daily, weekly or monthly basis. The network controller 214 allows the system to maintain

complete information on all programs watched using a particular set top terminal 220.

5       The network controller 214 is also able to respond to the immediate needs of a set top terminal 220 by modifying a program control information signal received from the operations center 202. Therefore, the network controller 214 enables the delivery system to adapt to the specific requirements of individual set top terminals 220 when the requirements cannot be provided to the operations center 10       202 in advance. In other words, the network controller 214 is able to perform "on the fly programming" changes. With this capability, the network controller 214 can handle sophisticated local programming needs such as, for example, interactive television services, split screen video, and selection of different foreign languages for the same video. In 15       addition, the network controller 214 controls and monitors all compressors and decompressors in the system.

20       The delivery system 200 and digital compression of the preferred embodiment provides a one-way path from the operations center 202 to the cable headend 208. Status and billing information is sent from the set top terminal 220 to the network controller 214 at the cable headend 208 and not directly to the operations center 202. Thus, program monitoring and selection control will take place only at the 25       cable headend 208 by the local cable company and its decentralized network controllers 214 (i.e., decentralized relative to the operations center 202, which is central to the program delivery system 200). The local cable company will in turn be in communication with the operations center 202 or a regional control center (not shown) which accumulates 30       return data from the set top terminal 220 for statistical or billing purposes. In alternative system embodiments, the

operations center 202 and the statistical and billing sites are collocated. Further, telephone lines with modems are used to transfer information from the set top terminal 220 to the statistical and billing sites.

5                   5.     Set Top Terminal

The set top terminal 220 is the portion of the delivery system 200 that resides in the home of a subscriber. The set top terminal 220 is usually located above or below the subscriber's television, but it may be placed anywhere in or  
10     near the subscriber's home as long as it is within the range of the subscriber's remote control device 900. In some aspects, the set top terminal 220 may resemble converter boxes already used by many cable systems. For instance, each set top terminal 220 may include a variety of error detection,  
15     decryption, and coding techniques such as anti-taping encoding. However, it will become apparent from the discussion below that the set top terminal 220 is able to perform many functions that an ordinary converter box cannot perform.

20                 The set top terminal 220 has a plurality of input and output ports to enable it to communicate with other local and remote devices. The set top terminal 220 has an input port that receives information from the cable headend 208. In addition, the unit has at least two output ports which provide  
25     communications from the set top terminal 220 to a television and a VCR. Certain menu selections may cause the set top terminal 220 to send control signals directly to the VCR to automatically program or operate the VCR. Also, the set top terminal 220 contains a phone jack which can be used for  
30     maintenance, trouble shooting, reprogramming and additional customer features. The set top terminal 220 may

also contain stereo/audio output terminals and a satellite dish input port.

Functionally, the set top terminal 220 is the last component in the delivery system chain. The set top terminal 220 receives compressed program and control signals from the cable headend 208 (or, in some cases, directly from the operations center 202). After the set top terminal 220 receives the individually compressed program and control signals, the signals are demultiplexed, decompressed, converted to analog signals (if necessary) and either placed in local storage (from which the menu template may be created), executed immediately, or sent directly to the television screen.

After processing certain signals received from the cable headend 208, the set top terminal 220 is able to store menu templates for creating menus that are displayed on a subscriber's television by using an array of menu templates. Before a menu can be constructed, menu templates must be created and sent to the set top terminal 220 for storage. A microprocessor uses the control signals received from the operations center 202 or cable headend 208 to generate the menu templates for storage. Each menu template may be stored in volatile memory in the set top terminal 220. When the set top terminal receives template information it demultiplexes the program control signals received from the cable headend 208 into four primary parts: video, graphics, program logic and text. Each menu template represents a different portion of a whole menu, such as a menu background, television logo, cursor highlight overlay, or other miscellaneous components needed to build a menu. The menu templates may be deleted or altered using control

signals received from the operations center 202 or cable headend 208.

Once the menu templates have been stored in memory, the set top terminal 220 can generate the appropriate menus. In the preferred embodiment, the basic menu format information is stored in memory located within the set top terminal 220 so that the microprocessor may locally access the information from the set top terminal instead of from an incoming signal. The microprocessor next generates the appropriate menus from the menu templates and the other menu information stored in memory. The set top terminal 220 then displays specific menus on the subscriber's television screen that correspond to the inputs the subscriber selects.

If the subscriber selects a specific program from a menu, the set top terminal 220 determines on which channel the program is being shown, demultiplexes and extracts the single channel transmitted from the cable headend 208. The set top terminal 220 then decompresses the channel and, if necessary, converts the program signal to an analog NTSC signal to enable the subscriber to view the selected program. The set top terminal 220 can be equipped to decompress more than one program signal, but this would unnecessarily add to the cost of the unit since a subscriber will generally only view one program at a time. However, two or three decompressors may be desirable to provide picture-on-picture capability, control signal decompression, enhanced channel switching or like features.

In addition to menu information, the set top terminal 220 may also store text transmitted from the cable headend 208 or the operations center 202. The text may inform the subscriber about upcoming events, billing and account status,

new subscriptions, or other relevant information. The text will be stored in an appropriate memory location depending on the frequency and the duration of the use of the textual message.

5           Also, optional upgrades are available to enhance the performance of a subscriber's set top terminal 220. These upgrades may consist of a cartridge or computer card (not shown) that is inserted into an expansion slot in the set top terminal 220 or may consist of a feature offered by the cable headend 208 or operations center 202 to which the user may  
10           subscribe. Available upgrades may include on line data base services, interactive multi-media services, access to digital radio channels, and other services.

          In the simplest embodiment, available converter boxes  
15           such as those manufactured by General Instruments or Scientific Atlanta, may be modified and upgraded to perform the functions of a set top terminal 220. The preferred upgrade is a circuit card with a microprocessor which is electronically connected to or inserted into the converter  
20           box.

#### 6.   Remote Control Device

          The primary conduit for communication between the subscriber and the set top terminal 220 is through the subscriber interface, preferably a remote control device 900.  
25           Through this interface, the subscriber may select desired programming through the system's menu-driven scheme or by directly accessing a specific channel by entering the actual channel number. Using the interface, the subscriber can navigate through a series of informative program selection  
30           menus. By using menu-driven, iconic or alpha-character access, the subscriber can access desired programs by simply pressing a single button rather than recalling from memory

and pressing the actual channel number to make a selection. The subscriber can access regular broadcast and basic cable television stations by using either the numeric keys on the remote control 900 (pressing the corresponding channel number), or one of the menu icon selection options.

In addition to enabling the subscriber to easily interact with the cable system 200, the physical characteristics of the subscriber interface 900 should also add to the user friendliness of the system. The remote control 900 should easily fit in the palm of the user's hand. The buttons of the preferred remote control 900 contain pictorial symbols that are easily identifiable by the subscriber. Also, buttons that perform similar functions may be color coordinated and consist of distinguishing textures to increase the user friendliness of the system.

#### 7. Menu-Driven Program Selection

The menu-driven scheme provides the subscriber with one-step access to all major menus, ranging from hit movies to sport specials to specialty programs. From any of the major menus, the subscriber can in turn access submenus and minor menus by cursor or alpha-character access.

There are two different types of menus utilized by the preferred embodiment, the Program Selection menus and the During Program menus. The first series of menus, Program Selection menus, consists of an Introductory, a Home, Major menus, and Submenus. The second series of menus, During Program menus, consists of two primary types, Hidden menus and the Program Overlay menus.

Immediately after the subscriber turns on the set top terminal 220, the Introductory menu welcomes the subscriber to the system. The Introductory menu may display important announcements from the local cable franchise.

advertisements from the cable provider, or other types of messages. In addition, the Introductory menu can inform the subscriber if the cable headend 208 has sent a personal message to the subscriber's particular set top terminal 220.

5           After the Introductory menu has been displayed the subscriber may advance to the next level of menus, namely the Home menu. In the preferred embodiment, after a certain period of time, the cable system will advance the subscriber by default to the Home menu. From the Home  
10       menu, the subscriber is able to access all of the programming options. The subscriber may either select a program directly by entering the appropriate channel number from the remote control 900, or the subscriber may sequence through incremental levels of menu options starting from the Home  
15       menu. The Home menu lists categories that correspond to the first level of menus called Major menus.

          If the subscriber chooses to sequence through subsequent menus, the subscriber will be forwarded to the Major menu that corresponds to the chosen category from  
20       the Home menu. The Major menus further refine a subscriber's search and help guide the subscriber to the selection of his choice.

          From the Major menus, the subscriber may access several submenus. From each submenu, the subscriber may  
25       access other submenus until the subscriber finds a desired television program. Similar to the Major menu, each successive level of Submenus further refines the subscriber's search. The system also enables the subscriber to skip certain menus or submenus and directly access a specific  
30       menu or television program by entering the appropriate commands on the remote control 900.



The During program menus (including Hidden Menus and Program Overlay Menus) are displayed by the set top terminal 220 only after the subscriber has selected a television program. In order to avoid disturbing the subscriber, the set top terminal 220 does not display the Hidden Menus until the subscriber selects the appropriate option to display a Hidden Menu. The Hidden Menus contain options that are relevant to the program selected by the viewer. For example, a Hidden Menu may contain options that enable a subscriber to enter an interactive mode or escape from the selected program.

Program Overlay Menus are similar to Hidden Menus because they occur during a program and are related to the program being viewed. However, the Program Overlay Menus are displayed concurrently with the program selected by the subscriber. Most Program Overlay Menus are small enough on the screen to allow the subscriber to continue viewing the selected program comfortably.

#### B. Set Top Terminal Description

##### 20 1. Overview

Preferably, the signal reaches the subscriber's home in a compressed format (e.g., MPEG) and is decompressed prior to viewing. Included in the delivered program signal is information which enables equipment at the subscriber's home to display menus for choosing particular programs. Depending on the particular embodiment, the television program signal may arrive at the subscriber's home through one or more coaxial cables, fiber cables, twisted pairs, cellular telephone connections, satellite or personal communications network (PCN).

Figure 3 shows the set top terminal 220 receiving the signals from the cable headend 208 and manipulating them

for the subscriber. The set top terminal 220 is equipped with local computer memory and the capability of interpreting the digitally compressed signal to produce menus for the subscriber. The remote control 900  
5 communicates the subscriber's selections to the set top terminal 220. The subscriber's selections are generally based upon menus or other prompts displayed on the television screen.

## 2. Program Control Information Signal

10 The program control information signal is generated by the operations center 202 and provides the network controller 214 with data on the scheduling and description of programs. In an alternate configuration, this data is sent directly to the set top terminal 220 for display to the  
15 subscriber. In the preferred embodiment, the program control information signal is stored and modified by the network controller 214 and sent to the set top terminal 220 in the form of a set top terminal control information stream (STTCIS). The set top terminal 220 integrates either the  
20 program control information signal or the STTCIS with data stored in the memory of the set top terminal 220 to generate on-screen menus that assist the subscriber in choosing the programs for display.

Throughout this description the term "program control  
25 information" is being used to indicate control information coming from the cable headend 208 to the set top terminal 220, whether it is sent directly from the operations center 202, processed by the network controller 214 and then forwarded to the set top box (STTCIS), or transmitted over  
30 telephone lines.

The types of information that can be sent using the program control signal include: number of program

categories, names of program categories, the channels assigned to a specific category (such as specialty channels), names of channels, names of programs on each channel, program start times, length of programs, description of programs, menu assignment for each program, pricing, whether there is a sample video clip for advertisement for the program, and any other program, menu or product information.

In this simple embodiment, the program control information, including these menu codes, is sent continuously from the operations center 202 to the network controller 214, and ultimately to the set top terminal 220. For example, four hours worth of programming information can be sent via the program control information signal continuously as shown in Table A.

TABLE A

## 12 PM

*Program name	*Program length	*Menu code	*Description	*Video
1 Cheers	.5	E24	C	N
2 Terminator	2.0	A33	Tx	S
3 PrimeTime	1.0	D14	N	N
4 Football Special	.5	B24	S	N
•				
•				
•				
•				

## 12:30 PM

*Program name	*Program length	*Menu code	*Description	*Video
1 Simpsons	.5	E14 & C13	C	S
4 Football Game	3.0	B13	S	N
•				
•				
•				

Table A shows the basic programming information that may be sent by the set top terminal 220. The program descriptions shown are coded abbreviations. For example, C for comedy, N for news, S for sports, A for cartoons, and TX for text. If there is a textual description for a program, such as a movie, the description may be given following that program's coded description or may be communicated following the four hours' worth of programming information. As is shown in the coded listing, program descriptions for programs greater than a half hour in length need not be repeated (each half hour). The video description code informs the set top terminal 220 of whether there is still or live video available to advertise the program.

For example, a sporting program may be assigned a code of B35-010194-1600-3.25-Michigan St. vs. USC. The letter B would assign the program to category B, sports. The second alpha-numeric character number 3 would assign the program to the third menu of the sports category. The third character of the code, number 5, assigns the program to the fifth program slot on the third menu. The next six characters, 01/01/94, represent the date. The following four characters, 1600 represent the start time which is followed by the length of the program and the program name. This entry represents a sports show, a college football game, which will be aired at 4:00PM on New Years day 1994.

In the 12:30 Channel 1 entry of Table A, two menu codes are shown. By allowing two menu codes, programs that may fit under two different category descriptions may be shown in both menus to the subscriber. With this minimal amount of information being communicated to the set top terminal 220 on a regular basis, the terminal is able to determine the proper menu location for each program and the proper time and channel to activate for the subscriber after his menu selection.

Table B shows an example Events Table that may be downloaded to a set top terminal 220 using an Event Data file which contains information about events and pricing. As shown in Table B, the three columns of the Events Table identify the field number, the field itself and the type of information downloaded in the Event Data file. The first column contains the field numbers 1 through 11. The middle column contains the corresponding field parameters, including the event type, event ID, global channel ID, price, start time, end time, start date, end date, P- icon, name and description. The third column contains corresponding field

type information. Field type information typically consists of an unsigned integer; hours, minutes and seconds; months, day and year; and ASCII character identifier.

**TABLE B**

Field #	Field	Type
1	Event Type 1 = YCTV 2 = Pay-Per-View 3 = Reg. TV	Unsigned Int
2	Event ID	Unsigned Int
3	Global Channel ID	Unsigned Int
4	Price (in Cents)	Unsigned Int
5	Start Time	HH:MM:SS
6	End Time	HH:MM:SS
7	Start Date	MM/DD/YY
8	End Date	MM/DD/YY
9	P-Icon	ASCIIZ
10	Name	ASCIIZ
11	Description	ASCIIZ

Table C shows an example Event Data file. In particular, Table C shows two data streams corresponding to two event types. The first data stream identifies an event in the first field. The second field designates the event ID, which is in this example. The third field includes the global channel ID number two. The fourth field indicates the cost of 50 cents for this event. The fifth and sixth fields indicate the respective start and end times of 3:00 AM to 3:00 PM, respectively. The seventh and eighth fields show the corresponding start and end dates, designated as 8/25/93 and 8/27/93, respectively. Field nine indicates the P-icon set to a graphics file. Finally, fields ten and eleven indicate the name and description of the event selected, which in this case is Sesame Street<sup>TM</sup> and Barney<sup>TM</sup>. The second data stream in the Event Data example shown in Table C includes analogous information for Terminator IV<sup>TM</sup>, which is designated in field one as a pay-per-view event.

**TABLE C****Event Data Example**

5

1	1234	2	50	03:00:00	15:00:00	08/25/93	08/27/93	pbs.pcx	Sesame Street & Barney's Sesame Street and Barney Abstract
2	1234	2	50	20:00:00	22:00:00	08/25/93	08/25/93	14.pcx	Terminator 4 Terminator 4 Abstract

10

15

The program control information signal (and STTCIS) can be formatted in a variety of ways and the on-screen menus can be produced in many different ways. For instance, if the program control information signal carries no menu format information, the menu format for creating the menus can be fixed in ROM at the set top terminal. This method allows the program control information signal to carry less information but has the least flexibility since the menu formats can not be changed without physically swapping the ROM.

20

25

In order to limit the amount of bandwidth needed to transmit the program control information signal, various compression techniques employed for non-video may be used such as block coding, contour coding, blob encoding, and run-length encoding. Further, the program control information signal may contain data divided into text and graphics, or video, text and graphics and then recombined at the set top terminal 220 using a text generator, graphics decompressor, and video decompressor as necessary.

30

35

Preferably the menu driven program selection system, allows the subscriber to choose a program by touring through a series of menus utilizing the remote control 900 for cursor movement. The final choice in the series of menus will identify one particular channel and one time for activation of that channel. With a channel and activation time, the set top terminal 220 can display the selected program on the television for the viewer. To achieve this goal, a simple

embodiment assigns an intelligent alpha-numeric code to each program. This alpha-numeric code identifies the category of the program, the menu in which the program should be displayed, its transmission time(s), and the position on the menu that the program should be displayed.

In the preferred embodiment, the menu format information is stored at the set top terminal 220 in temporary memory either in a RAM, FLASH ROM, EEPROM or EPROM. This configuration provides the desired flexibility in the menu format while still limiting the amount of information needed to be communicated via the program control information signal. New menu format information can be sent via the program control information signal to the set top terminals 220 each time there is a change to a menu.

### 3. Polling

In addition to the menu format information that is stored in graphics memory 628, the set top terminal 220 also stores data, tracking programs that have been selected for viewing. By gathering this data, the set top terminal 220 can maintain an accurate record of all programs accessed/watched by storing the data in EEPROM or RAM. Subsequently, this data can be transmitted to the cable headend 208, where it can be used in carrying out network control and monitoring functions. Such data transmissions between the set top terminal 220 and cable headend 208 can be accomplished, for example, through upstream transmission over the cable network or over telephone lines through the use of telephone modems. Where upstream transmission over the cable network is used, set top terminals 220 can complete any data transmissions on a scheduled or as-needed basis.



Program access information identifying each program watched by the viewer is stored at each set top terminal 220 until the terminal 220 is polled by the network controller 214 for information retrieval. This information can be accomplished by using a polling request message format 920 as shown in Figure 4a. This frame format 920 consists of six fields, namely: (1) a leading flag 922 at the beginning of the message, (2) an address field 924, (3) a subscriber region designation 926, (4) a set top terminal identifier 928 that includes a polling command/response (or P/F) bit 930, (5) an information field 932, and (6) a trailing flag 934 at the end of the message.

The eight-bit flag sequence 922 that appears at the beginning and end of a frame is used to establish and maintain synchronization. Such a sequence typically consists of a "01111110" bit-stream. The address field 924 designates a 4-bit address for a given set top terminal 220. The subscriber region designation 926 is a 4-bit field that indicates the geographical region in which the subscriber's set top terminal is housed. The set top terminal identifier 928 is a 16-bit field that uniquely identifies each set top terminal with a 15-bit designation followed by an appended P/F bit 930. Although field size is provided by this example, a variety of sizes can be used with the present invention.

The P/F bit 930 is used to command a polling response from the set top terminal 220 addressed, as described below. The frame format 920 also provides a variable-length information field 932 for other data transmissions, such as information on system updates. The frame format 920 ends with an 8-bit flag (or trailing flag 934) that is identical in format to the leading flag 922, as set forth above. Other

frame formats will be apparent to one skilled in the art and can be easily adapted for use with the system.

5 Using any such polling request message format, the network controller 214 interrogates each set top terminal 220. The set top terminals 220 are identified by a unique address and set top terminal identifier. It is preferred that the set top terminal 220 transmits information and messages to the network controller 214 only when given permission by the network controller 214.

10 Where, for example, specialty programs have been accessed since the previous poll, the set top terminal 220 is given permission to transmit a polling response 920 in the form of a status report that includes any such access information. These status reports generally include  
15 information that allows the network controller 214 to track a subscriber's program access history.

Figure 4b shows an example of frame format 920' for the status reports received from the set top terminals 220 during the polling cycle. This frame format is identical to the  
20 polling request message format 920 and is similarly numbered.

The information field 932 remains variable in length so that the status of an indeterminate number of programs, e.g., programs 1-N indicated generally at 929, accessed can be  
25 included in the frame. After a polling response 920' by a given set top terminal 220, the control message length increases in proportion to the number of programs accessed.

During transmission, the P/F bit 930 is used to carry out the polling function. In particular, the P/F bit 930 is set  
30 to a "1" position to command a polling response from the set top terminal 220 whose address is identified in the frame. The response will include the number of programs accessed

and their corresponding event identification numbers as shown at 929 in Figure 4b. In cases where the set top terminal 220 has not accessed any programs since the previous polling cycle, the set top terminal 220 responds with the P/F bit 930 set to "1" and the programs access block denoting zero programs accessed.

In between polling cycles, the program control information continues to supply the set top terminals with menu information. In the simplest embodiment, the menus remain fixed and only the text changes. Thus, the program control information signal can be limited to primarily text and a text generator can be employed in the set top terminal 220. This simple embodiment keeps the cost of the set top terminal 220 low and limits the bandwidth necessary for the program control information. Another simple embodiment uses a separate channel full-time (large bandwidth) just for the menu information.

#### 4. Sending Promotional Video

As will be described later, live video signals may be used in windows of certain menus. These video signals can be transmitted using the program control information signal or can be taken off channels being transmitted simultaneously with the menu display. If the video signal is taken off a channel, less information needs to be transmitted using the program control information signal. While using this technique requires that separate decompression hardware be used for the program control information and the channel carrying the video, this embodiment allows for the greatest flexibility in the system and is preferred. A separate decompressor also assists in assuring that the switch from menus to television programming is smooth and without any significant time delay.

Video for menus, promos or demos may be sent to the set top terminal 220 in several formats, including: (1) on a dedicated channel, (2) on a regular program channel and scaled to size, and (3) along with the program control information signal. However, in the preferred embodiment, a number of short promos or demo video are sent using a split screen technique on a dedicated channel as described later.

#### 5. Set Top Terminal

Figure 5a shows a basic block diagram of the hardware components of a digital compression set top terminal 220. The set top terminal 220 has a decryptor 600, tuner 603, digital demodulator 606, and demultiplexers 609, 616 as well as audio equipment 612, 614. Also shown in Figure 5a is a remote control interface 626 for receiving and processing signals from a remote control unit 900. A modem 627 is provided for allowing communication between a microprocessor 602 and the cable headend 208 (but not shown in Figure 5a). An NTSC encoder 625 provides an NTSC video output.

The microprocessor 602 is capable of executing program instructions stored in memory. These instructions allow a user to access various menus by making selections on the remote control 900. The various program instructions for accessing menus and performing other functions are described below.

The manner in which the video is decompressed and the menus are generated from the program control signal varies depending on the specific embodiment of the invention. However, at a minimum, one video decompressor 618 capable of decompressing one video signal will be used. Basic menu format information may be stored in a graphics memory 628 comprising ROM, non-volatile RAM, EPROM,

and/or EEPROM 620. If compressed graphics are used, a second decompressor 622 is used to generate menus. In one embodiment (not shown), a separate decompressor is used to process the program control information signal and a video combiner incorporates video and menu graphic information. The program control information signal may be sent with three primary parts, compressed video for menu display (or video location information), compressed graphics, and text. After the program signal is demultiplexed into its component parts, a video decompressor 618, a graphic decompressor 622, a text generator (shown in Figure 5b at 623) and a video combiner 624 are used to assist in creating the menus.

Figure 5b shows a basic block diagram of an alternative digital compression set top terminal 220'. The same components shown in Figure 5a are repeated in Figure 5b, and given the same reference numbers (e.g., tuner 603, modem 617, NTSC encoder 625, etc.). Figure 5b also shows the addition of an expansion card interface 617 to allow additional features to be included on an expansion card (not shown) insertable into the expansion card interface 617. Error correction circuitry 607 is also shown receiving the demodulated signal, prior to demultiplexing the signal. Memory 610 associated with the microprocessor 602, the demultiplexer 609, the decryptor 600, and the video decompressor 618 is shown in Figure 5b.

The elements of an upgrade module 500, (connected to a basic decompression box 520) are shown (in the dotted box) in Figure 5b. The circuitry in the upgrade module 500 includes a video, graphics and text demultiplexer 510, a text, graphics, and (video plane) video combiner 515, a graphic decompressor 525 and a graphics memory 530. The graphics stored in memory 530 is preferably run-length

compressed. However, other methods of compressing graphics known by those skilled in the art may be used with the present invention.

5 The generated menus and video are combined in the video combiner 515 and output to an anti-taping encoder 619. Any method of anti-taping encoding known by those skilled in the art may be used with the present invention.

10 Figures 6a and 6b show front and back views respectively for the preferred embodiment of the set top terminal 220. The front panel of the set top terminal 220 includes an infrared sensor 630 and a series of LED displays 640. These LED displays 640 may indicate with an icon or a letter (e.g., A-K) the major menu currently selected by the set top terminal 220 or the channels selected directly by a user, 15 or menu channel selections (e.g., from 1 to 50). This visual display will remain lit while the subscriber is watching (or listening to) programming within a major menu.

LEDs 640 are preferably provided to indicate a decompression error, a processing error, or other error. 20 Text messages may be displayed on LEDs. During the normal functioning of the set top terminal 220, the LED display 640 can be customized by the user to display the time, the program channel, VCR activation or other pertinent information. Further displays may include current 25 channel, time, volume level, sleep time, parental lock (security), account balance, use of a hardware upgrade, second channel being recorded by VCR, use of the Level D music hardware upgrade in a separate room, and any other displays useful to a subscriber to indicate the current status of 30 the set top terminal 220.

The LEDs 640 may also provide an indication of the digital audio channel currently tuned. With this display

feature, subscribers may use the digital audio feature without activating the television screen. The signal source and output selected (e.g., a subscriber's separate audio system, a VCR, etc.) may be displayed. Although LEDs are preferred, the set  
5 top terminal 220 may also use a CRT, LCDs, or other display technology.

The set top terminal 220 includes a flapped opening 635 on its front that allows the insertion of a magnetic cartridge (or similar portable storage device, including  
10 optical disk, ROM, EPROM, etc., not shown). This opening 635 allows the set top terminal 220 to be upgraded or reprogrammed locally with the use of the applicable magnetic or optical storage device.

On the top or cover of the set top terminal 220 are  
15 pushbutton controls 645. Preferably these pushbutton controls 645 duplicate the two-part alpha-iconic remote control 900. Any function that can be performed on the remote 900 may also be performed at the set top terminal 220 using the duplicative pushbutton controls 645.

Figure 6b shows the back of the set top terminal 220 which includes the input/output ports of the terminal 220. The input/output ports include a pair of output terminals 650, a pair of input terminals 652, a pair of stereo/audio output terminals 654, a satellite dish input port 656, a  
20 telephone jack 658 and an RS422 port 660. One of the output terminals 650 is for a television and the other is for a VCR. The set top terminal 220 is equipped to handle incoming signals on one or two cables using the input terminal 652. The phone jack 658 and RS-232 or RS-422  
25 port 660 are provided for maintenance, trouble shooting, reprogramming and additional customer features. In alternate embodiments, the telephone jack 658 may be used  
30

as the primary mode of communication between the cable headend 208 and the set top terminal 220. This connection is possible through local telephone, cellular telephone or personal communications networks (PCN).

5           The basic programming of each set top terminal 220 will be located on ROM within the set top terminal 220. Random access memory, the magnetic cartridge capability, and the extension card slot 635 allow upgrades and changes to be easily made to the set top terminal 220.

10           In the preferred embodiment, the set top terminal 220 includes a hardware upgrade port 662 as shown in Figure 6b, in addition to expansion card slots 665. Each expansion slot 665 is covered by the metal plate cover 664. The hardware upgrade port 662 accommodates a four-wire (or more)  
15           connection for: (1) error corrected, decrypted data output of the set top terminal 220, (2) a control interface, (3) decompressed video output of set top terminal 220, and (4) video input port. In the preferred embodiment, multiple wires are used to perform each of the four functions.  
20           Typically, the four sets of wires are combined in a single cable with a single multipin connector.

          In the preferred embodiment, multipin connections may be used for multiwire cable. The multipin connection 662 may range from DB9 to DB25. A variety of small  
25           computer system interface (SCSI) ports may also be provided. Alternatively, four or more ports may be provided instead of the single port 662 depicted. Port 662 may also be used to attach various hardware upgrades to a set top terminal 220.

          The preferred embodiment has five hardware upgrades  
30           available for use with a set top terminal 220, including: (1) Level A interactive unit, (2) a Level B interactive unit, (3) Level C interactive unit with compact disc capability, (4)



Level D digital radio tuner for separate room use, and (5) Level E information download unit. Each of these upgrades can be connected to the set top terminal 220 unit through the upgrade port 662.

5           The memory in the set top terminal is used to store the graphical and textual components of menus. Specifically, background, logo, menu display, and cursor graphical files are stored, as well as long term, intermediate, and short term text.

10           Existing set top converter boxes such as those made by Scientific Atlanta or General Instruments are presently unequipped to handle the menu selection system of the present invention. Thus, hardware modifications are necessary in order to use the menu selection system with  
15           existing set top converter technology.

#### 6.   The Turbo Card

Figure 7 shows a Turbo Card addition to the set top converter. The Turbo Card 700 upgrade provides the additional functionality needed to utilize the menu system of  
20           the present invention with existing set top converter technology. The primary functions the Turbo Card 700 adds to the set top converter are interpreting of program control information signals, generating of menus, sequencing through menus, and, ultimately, the ability of the viewer to select a  
25           channel through the menu system without entering any channel identifying information. The Turbo Card 700 also provides a method for a remote location, such as the cable headend 208, to receive information on programs watched and control the operation of the set top converter box 221  
30           and Turbo Card 700. The programs watched information and control commands may be passed from the cable headend 208 to the Turbo Card 700 using telephone lines 718.

The primary components of the Turbo Card 700 are a PC chip CPU 702, a VGA graphic controller 704, a video combiner 706, logic circuitry 708, NTSC encoder 710, a receiver 712, demodulator 714, and a dialer 716. Preferably these components are located on a single circuit card.

The Turbo Card 700 has two connections coming from outside the viewer home: (1) a telephone connection 718, preferably with an RJ11C jack for communicating with the cable headend 208, and (2) a standard coaxial cable input 720. In addition to the two connections from outside the viewer home, the Turbo Card 700 must be electronically connected to the set top converter box 221. Preferably this connection is made with a ribbon cable connection with forty or more pins (not shown).

The information that is passed between the set top converter box 221 and the Turbo Card 700 includes data and infrared commands. Preferably video input and output to the set top converter 221 is through 75 ohm coax cable. In the preferred embodiment, the infrared commands of the remote control 900 are passed through (undisturbed from) the set top converter and to the Turbo Card 700. After interpretation and modification by the Turbo Card 700, the infrared commands are then returned to the set top converter 221 through the ribbon cable. Video signals are received by the Turbo Card 700 from the set top converter 221, manipulated by the Turbo Card 700, and returned to the set top converter 221 in NTSC format by the NTSC encoder 710. The Turbo Card 700 may also generate graphics which are passed to the set top converter 221 via the NTSC encoder 710.

The Turbo Card 700 utilizes the capability of the set top converter 221 as much as possible to avoid duplication of

components. For example, the Turbo Card 700 uses the set top converter's tuner thus avoiding the cost of an additional tuner.

5       The PC Chip CPU 702 is used for controlling the components of the Turbo Card 700. The PC chip 702 is also used to perform database management, billing and data logging functions. An example of a PC Chip CPU 702 which can be used is the IC PC/Chip F8680E, manufactured by Chips & Technologies Corporation, located at 3050 Zanker Road,  
10       San Jose, CA 95134, (408) 434-0600. The PC chip CPU 702 is a single chip implementation of an IBM PC XT equivalent architecture. All peripherals may be interfaced to the PC chip CPU 702 through an industry standard architecture (ISA) bus. The memory on the card may be an EPROM or  
15       other similar device. Typically a 4-megabyte EPROM containing BIOS programs is used in this embodiment. Two BIOS programs, the PC chip BIOS and the VGA controller BIOS, are the primary contents of the EPROM. This EPROM also contains the equivalent of a C: hard drive. This hard  
20       drive is similar to those found on a PC which provides the means to "boot" the DOS Operating System. The card also includes a 1 megabyte DRAM, which may be expanded to 4 megabytes. Most of this memory is used as a RAM drive after the Turbo Card 700 boots up.

25       A video combiner 706 is used to combine RGB video created by the Graphics Controller 704 with video from the set top converter 221. An example of a video combiner 706 which can be used in the present invention is an IC GENLOCK Signal Processor GSP500, manufactured by Integrated Circuit  
30       Systems, Inc., located at 2626 Van Buren Avenue, P.O. Box 968, Valley Forge, PA 19482, (215) 666-1900.

The NTSC encoder 710 is used to convert RGB and sync signals into an NTSC format signal that can be used by a standard television 722. In an alternative embodiment, the synch signal is eliminated. An example of a component that  
5 can be used for the NTSC Encoder 710 is Encoder Card, model number BA7230LS, manufactured by Rohm Corporation, located at 3034 Owen Drive, Jackson Business Park, Antioch, TN 37013, (615) 641-2020.

The Turbo Card hardware may be implemented on a  
10 board built into the set top converter box 221 or, alternatively, using plug-in slots. The embodiment shown uses a Dual Tone Multi-Frequency (DTMF) dialer 716 to initiate telephone transmissions. An example of a DTMF dialer 716 which may be used with the present invention is  
15 an IC DTMF Transceiver CM8888, manufactured by California Micro Devices (CMD), located at 2000 W. 14th Street, Tempe, AZ 85287, (602) 921-4541. Such an interface uses DTMF tones, or pulse dialing, to make a telephone connection. The same DTMF tones used to initiate the call,  
20 communicates data from the PC chip CPU 702 upstream to the network controller 214 or operations center. Such upstream data may include purchase, logging and viewing information. The embodiment shown in Figure 7 may be modified to transmit information upstream to the cable  
25 headend 208 through the coaxial cable 720, thereby eliminating the need for telephone lines.

Functionally, the Turbo Card 700 operates by receiving the program control information signal from the cable headend 208 through the coaxial cable 720. The program  
30 control information signal is used by the PC chip CPU 702 after being processed through an RF receiver 712, a quadrature phase shift keyed (QPSK) demodulator 714, and

an HDLC serial receiver 722. This receiver 712 demodulates any data transmissions at a fixed frequency of 108 MHz. Typically, the card receives and demodulates 108 MHz FSK carrier signals, having a data rate of 56 kilobits. In the preferred embodiment, a 1.5 megabyte QPSK encoded signal is used.

Once such signals are received, the contents of the signals are stored in the card's databases. Each signal's content is commonly structured in Synchronous Data Line Control (SDLC) format. Other formats, such as HDLC, may also be used. The HDLC/SDLC receiver 722 processes the demodulated signal from the 108 MHz FSK or QPSK receiver demodulator 714, which provides a clock and data synchronously into the HDLC/SDLC receiver during such processing. The HDLC/SDLC receiver 722 presents the data stream (or packets) to the PC chip CPU 702 for storage. The stored data packets form the basis for the data base files and other information, which have been downloaded from the cable headend 208 to the Turbo Card 700.

The VGA controller 704 is used to generate new graphics. An example of a VGA graphic controller 704 which can be used with the present invention is a VGA Controller ET4000-144 manufactured by Tseng Labs. The VGA graphic controller 704 is an industry standard VGA controller chip and makes use of an additional 512 kbits of dynamic memory (e.g., a VRAM), from which one complete drawing page of 256 color pixels (640 x 480 resolution) may be formed. The VGA controller 704 receives its dot clock from the GSP 500 combiner 706. The GSP 500 combiner 706 receives a sync signal from any incoming NTSC video signals provided by the set top converter 221. Typically, the GSP 500 combiner 706 strips sync information from each NTSC video signal and uses

it to generate each dot clock used by the VGA controller 704. In this way, the GSP 500 combiner 706 synchronizes the VGA controller 704 to the incoming NTSC-formatted cable TV signal. Such synchronization allows VGA graphics to be displayed on the users's television 722 alone or in conjunction with NTSC video.

In the preferred embodiment, the logic block is enhanced to make use of the sync signal extracted from the separate portion of the set top converter 221. This enhancement allows the VGA controller 704 to be injection-locked directly with the sync signal using some additional circuitry. In this embodiment, the GSP 500 combiner 706 phase locks the VGA controller's dot clock to the NTSC video clock to accomplish the synchronization described above.

The logic circuitry of the Turbo Card 700 receives the data, infrared commands, and synchronization from the set top converter 221. When the Turbo Card has finished processing and modifying the IR command it returns the command to the set top converter 221 for further processing. When appropriate, the VGA graphics controller 704 generates menu screen graphics which are combined with video by the video combiner. The menu, with video, is now in RGB format and is encoded into standard NTSC format by the NTSC encoder 710.

The RGB to NTSC encoder 710 accommodates the overlay of graphics and video. This encoder 710 makes use of two input signals: (1) a NTSC video signal and (2) an analog RGB signal. The RGB signal comes from the VGA controller 704. On a pixel-by-pixel basis, the encoder 710 can choose between sending its output to the TV screen in either NTSC or RGB signal format. This allows graphics to be displayed on

the screen alone or in conjunction with NTSC video on a pixel-by-pixel basis.

The Turbo Card's logic is customized to interface the PC chip CPU 702 to either the General Instruments CFT 2000 or the Scientific Atlanta 8600 converter. The logic includes the ability to scan the keypads (not shown) that are present in the set top converters 221 for keystroke entry and also the ability to receive infrared commands from the set top converter's remote control. Any keystroke entries and commands generate a signal that is sent to the PC chip CPU 702 for processing by the application software. Likewise, the Turbo Card 700 has the ability to simulate a serial infrared command and send it to other set top converter components. This allows the PC chip CPU 702, along with its software, to control the set top converter 221.

Menu selections made by the viewer on the remote control 900 are received by the IR equipment of the converter 221 and passed through to the Turbo Card 700. The Turbo Card software interprets the IR signal and determines the program (or menu) the viewer has selected. The program selection information is sent by the Turbo Card software to the set top converter 221 by modifying the IR command. The modified IR command contains the channel information needed by the set top converter 221.

## 25                   7.     Menu Organization And Sequence

Figure 8 shows the basic organization of the program menu system. Although the term "menus" has been used above, the menus could also be seen as defining zones or categories of programming. The first series of menus, Introductory menu 1000, Home menu 1010, Major Menus 1020, and Submenus 1050 execute subscriber program selection inputs. The During program menus 1300 provide a

subscriber with additional features or options after a program has been selected and shown. There are two primary types of During program menus 1200, Hidden Menus and Program Overlay Menus. The menu sequence and each menu structure has been particularly program designed using the "eye-off-the-remote" design concept (e.g., the cursor movement and "go" buttons 970, 975). Since the subscriber never needs to take his eye off the television screen, the cable operator is likely to have the subscriber's complete attention.

The introductory menu screen 1000 automatically appears upon power-up and initialization of the set top terminal 220. The introductory menu screen 1000 provides important announcements or messages. In addition, the menu 1000 can be used to inform the subscriber that a personal or group message is available for viewing. The subscriber may then access the personal or group message with an appropriate key entry while viewing the introductory menu 1000. Since the introductory menu 1000 must be viewed by each subscriber, it also provides an opportunity for the cable provider to run advertisements.

Following the introductory menu screen 1000 the subscriber will normally be advanced to the home menu screen 1010. The home menu 1010 is the basic menu from which the subscriber will make the first level of viewing decisions (and to which the subscriber may later return). From the home menu 1010, the subscriber is able to access all television programming options. Some programming options may be accessed through cursor movement on the screen, others directly by a button selection on the remote control 900, or both, on-screen selection and remote control 900 direct access.



In the normal progression through the menu screens, the subscriber will be forwarded to a major menu screen 1020 that correlates to his direct remote control 900 selection or selection from the home menu screen 1010.

5 The selections on the home menu 1010 are for large categories of programming options and therefore the major menu 1020 allows the subscriber to further refine a search for a desirable television program.

Following the major menu 1020 the subscriber will

10 navigate through one or more submenu screens 1050 from which the subscriber will choose one particular program for viewing. For most programming selections the user will proceed from the home menu 1010 to a major menu 1020 and then to one or more submenus 1050. However, for

15 certain programming options or functions of the set top terminal 220 the user may skip one or more menus in the sequence. For example, in the preferred embodiment the subscriber may directly access a major menu 1020 by pressing a single icon button. In an alternative embodiment,

20 the introductory menu 1000 will provide the user with the capability of directly accessing information on the subscriber's cable television account without proceeding through a series of menus.

The series of menus shown in Figure 8 is the standard

25 format, a variety of alternative sequences are possible. An introductory screen upon power up that contains important messages, followed by a home menu 1010 with major programming categories is the basis upon which many alternative embodiments of the menu driven selection

30 process can be built.

Skipping a sequence or level of the menu structure is possible and perhaps desired in certain instances. In simple

alternate embodiments it is possible to combine the home menu 1010 and introductory menu 1000 into one menu that performs both functions. It will be apparent to one skilled in the art that specific functions of the Home menu 1010 and  
5 Introductory menu 1000 may be exchanged or shared in a number of ways. It is also possible to allow a user to skip directly from the introductory menu 1000 to a submenu 1050. This can be accomplished most easily with a separate direct access remote control 900 button. Generally, a  
10 subscriber will access a television program through execution of a submenu 1050.

The During Program Menus 1300 (shown in Figure 9a as Hidden Menus 1380 and Program Overlay Menus 1390) are enacted by the set top terminal 220 only after the  
15 subscriber has selected a television program. These menus provide the subscriber with additional functionality and/or additional information while viewing a selected program.

Figure 9a shows the preferred embodiment for subscriber selection of television programming. Figure 9b  
20 shows additional major menu 1020 categories, 1043, 1044, 1046, 1048, which may be used with the invention. Both figures 9a and 9b show that the introductory menu 1000 followed by the home menu 1010 is the preferred sequence of on-screen displays. As shown in Figure 9a, the home menu  
25 1010 provides a choice of at least ten major menus 1022, 1024, 1026, 1028, 1030, 1032, 1034, 1036, 1038, 1040. Upon selection of a major menu 1020 category from the home menu 1010, the program proceeds to a major menu 1020 offering further viewer selections. Each major menu  
30 1020 is customized to target the expected viewership. Depending on the number of available program choices the major menus 1020 either breakdown the major category into

sub-categories or provide the subscriber with access to further information on a particular program.

For example, the major menu for children's programming 1024 provides a list of subcategories 1052 from which the subscriber selects. Upon selection of a subcategory, a submenu represented generally at block 1050, listing program choices within that sub-category is shown to the subscriber. Upon selection of a particular programming choice within the first submenu 1050, the subscriber may be provided with a second submenu 1054 describing the program that the subscriber has selected. From this menu, the subscriber may confirm his program choice and receive a confirmation submenu 1056 from the set top terminal 220 software.

To avoid disturbing a subscriber during viewing of a program, hidden menus 1380 are used. The Hidden Menus 1380 are not shown to the subscriber but instead "reside" at the set top terminal 220 microprocessor. The Hidden Menus 1380 do not affect the selected program audio. The microprocessor awaits a button entry before executing or displaying any Hidden Menu options. The Hidden Menus 1380 provide the subscriber with additional functions such as entering an interactive mode or escaping from a selected program.

Program Overlay Menus 1390 (similar to Hidden Menus 1380) are used during a program. However, the Program Overlay Menus 1390 are overlayed onto portions of the television screen and not hidden. The Program Overlay Menus 1390 allow the subscriber to continue to watch the selected television program with audio but place additional information on portions of the television screen. Most overlays cover small portions of the screen allowing the

subscriber to continue to comfortably view his program selection. Other Overlays which are by their nature more important than the program being viewed will overlay onto greater portions of the screen. In the preferred embodiment, some Program Overlay Menus 1390 reduce or scale down the entire program's video screen and redirect the video to a portion of the screen.

With continued reference to Figures 9a and 9b, since the system utilizes digital signals in compressed format, High Definition Television programming 1032 can also be accommodated through the menu system. In addition, since the set top terminal 220 has two way communication with the cable headend 208, interactive television programming is possible, with return signals generated by the set top terminal 220. Similarly, the system can support "movies on demand" 1042, 1048 where a subscriber communicates through the set top terminal 220 with an automated facility to order movies stored at the facility, and may confirm the order (as indicated at block 1060). These features, HDTV, interactive television and "movies on demand" are further described in Patent Application Ser. No. \_\_/\_\_\_\_\_, entitled ADVANCED SET TOP TERMINAL FOR CABLE TELEVISION DELIVERY SYSTEMS, filed Nov. \_\_, 1993, by the same assignee.

Using this on-screen and "eye-off-the-remote" menu approach to program selection, there is nearly an unlimited number of menus that can be shown to the subscriber. The memory capability of the set top terminal 220 and the quantity of information that is sent via the program control information signal are the only limits on the number of menus and amount of information that can be displayed to the subscriber. The approach of using a series of menus in a

5 simple tree sequence is both easy for the subscriber to use and simply implemented by the set top terminal 220 and remote control device 900 with cursor movement. A user interface software programmer will find many obvious variations from the preferred embodiment shown.

#### 8. Menu Sequencing Software

10 Figure 10 is a chart showing a preferred embodiment of program routines for sequencing menus. Upon powerup of the set top terminal 220, a start up routine 890 is performed. Any error checking is thereafter performed 891, and an introductory menu subroutine 892 is performed. This subroutine displays the introductory menu and the microprocessor 602 thereafter awaits for an input 893.

15 At the home menu portion 897 of the sequence of routines, a subscriber may select one of the major menus, thus starting the sequence of displays represented by routine block 898. Alternatively, a subscriber may go directly to a major menu by depressing a menu select button on the remote 900 and the microprocessor will go to the selected  
20 menus subroutine 896.

Once a subscriber has selected a major menu, the appropriate subroutines are executed by the microprocessor (shown in block 898). After each display, the microprocessor 602 awaits for a selection by the subscriber (shown as block  
25 899).

After displaying the major menu 1020 and receiving a selection by the user, a particular submenu 1050 for a subcategory is displayed. Again, the microprocessor 602  
30 waits for an input from the subscriber. Following the input, a routine to display a program listing submenu is executed. After receiving another selection, the microprocessor 602 performs the next routine for displaying a program

description submenu. Thereafter, if a particular selection requires a confirmation menu, that subroutine is executed and the appropriate menu displayed. The selected video is then decompressed and displayed on the television screen. If  
5 there are any display overlay menus or hidden menus, the proper subroutine is executed by the microprocessor 602 and these menus are displayed.

With continued reference to Figure 10, at any time during the selection of menus in major menu block 898, the  
10 subscriber may also depress another major menu button to move into a second column of routines (represented by major menu 2, major menu 3, etc. columns). Thus, a subscriber may move from major menu to major menu. Additionally, a subscriber may depress a home menu button on remote 900  
15 to return to the home menu 897 at any time.

The various subroutines executed by the microprocessor 602 allow a subscriber to navigate through the various menus of the present invention. A subscriber may sequence back through menus or return to the home menu  
20 897 with one-touch of the home menu button on the remote control 900. All of these functions help to add to the system's user friendliness.

Figures 11a, 11b and 11c, diagram an alternative approach to the sequencing of menus. This approach involves  
25 separate sequencing logic for (1) menu system entry, (2) PPV (pay per view) navigation and selection and (3) menu and PPV navigation and selection.

Figure 11a diagrams the sequence for system entry. Upon entry into the system, an introduction screen 1100 is  
30 displayed. The introductory screen is removed by pressing any key on the remote 900 or, alternatively, on the set top terminal key pad 645. The introductory screen 1100 also has

a timer so that, after a specific period of time, the screen 1100 will be removed regardless of whether any key has been pressed by the subscriber.

5 A home menu 1104 displaying program categories follows the introductory menu. This screen displays a set of program categories that may be individually selected using a cursor highlight bar (as represented at decision block 1108). The subscriber has the ability to move from one category to the next by using the channel-next and channel-previous  
10 keys. In addition, the viewer or subscriber has the choice of selecting a category or exiting from the menu system. Upon selection of a particular program category, a major menu (similar to major menus 1020 shown in Figures 9a and 9b) will be displayed. From this major menu the viewer can make  
15 a category selection. Such a selection may involve non-PPV networks 1110 (e.g., NBC, CBS, ESPN™ etc.), PPV programs or PPV programs 1112.

If the subscriber selects a non-PPV network 1110, a network submenu 1114 will be displayed. This submenu  
20 1114 includes a grid or matrix of non-PPV network logos. The subscriber has the ability to move from logo to logo using the channel-next and channel-previous keys (as shown at decision block 1116). The subscriber also has the option of exiting to the previous network submenu 1114 or returning  
25 to the home menu. Should a specific network be selected, the subscriber's set top terminal will be tuned 1118 to that particular network. The network's identifier or logo flashes on the screen to provide feedback to the subscriber on the selection. From the network submenu 1114, the subscriber  
30 has the ability to channel surf through the network channels system using the channel-up and channel-down keys 1120.

At any time during this process, the subscriber may exit 1122 back to the network submenu 1114.

5 In addition to selecting specific networks from a particular major menu, the subscriber also has the option of choosing a PPV program 1112. Should the subscriber select a PPV program category from the major menu, a list of PPV program titles will be displayed as a submenu 1122. From this submenu 1122 the subscriber can select a specific PPV program title 1124. The menu sequencing logic will vary  
10 depending on which is selected (as shown at block 1126).

Figure 11b diagrams the menu sequence logic for a PPV program selection. As shown in Figure 11b, once a PPV program title has been selected (at block 1126) the menu system determines whether the title has been previously  
15 purchased 1128. If the event has not been previously purchased, a payment screen 1130 will be displayed. A description of the event will be provided to the subscriber along with the next start time, the cost of the event and the amount of free viewer time for previewing. The subscriber  
20 has the option of purchasing the event. If the subscriber chooses not to purchase the event, the PPV program title list will be redisplayed.

Once a PPV program has been purchased or a previously paid program has been selected, a "thank you banner" 1132  
25 will be displayed. This banner 1132 provides the name of the program selected and the amount of preview time left before the program is actually logged as a paid event. This "thank you banner" 1132 has a timer associated with it which automatically removes the banner after a set period of time  
30 (e.g., 30 seconds). Alternatively, the subscriber can immediately remove the banner 1132 by pressing any key. Once the "thank you banner" 1132 is removed, the system



checks whether interstitial material is playing at the time of the PPV event selection (as at block 1134). If a program is in progress, the system will remove any "time to event banner" and the set top terminal 220 will be tuned to the program's channel (View Program 1145). In addition, the system determines whether there is a link to a barker channel 1136 (or event field item) when the interstitial material is present.

5 If a barker channel link exists for the event, the set top terminal will be tuned to the barker channel (block 1138).  
10 Subsequently, a banner will be displayed which indicates the program's name and time remaining until it starts. At the start time of the program, the set top terminal 220 will be tuned to that program's channel 1145. If, on the other hand, no barker channel link has been specified, the set top  
15 terminal 220 will be tuned to the program's channel 1140 and display the interstitial with time to next show banner 1140.

During this process, the subscriber has the option of exiting 1142 the program at any time by pressing the cancel  
20 key. During the program, the system will constantly check for the end of the program 1144. Where the program remains in progress, the set top terminal 220 will remain tuned to the program's channel 1145 and all banners will be removed. The system will continue to view the program,  
25 looping through the interstitial and barker channel link loops, until the program is ended or exited. Once the program ends or the subscriber exits the program, exit remarks and a final "thank you banner" will be displayed  
1146.

30 Figure 11c diagrams the alternate sequence for the selection of a PPV program, beginning at decision block 1126. Once a PPV program title has been selected, the menu

system determines whether the program has been previously purchased 1150, as in the PPV selection process described above. The system again displays a "thank you banner" 1152 upon purchase 1151 or previous payment and determines  
5 whether interstitial material is presently being viewed 1154. If interstitial material (e.g., promotionals) is present on the program channel, a banner showing the next show time is generated and placed on the television screen 1160. When the program is in progress, the system removes any "time to  
10 event banner" 1156 and the set top terminal 220 will be tuned to the appropriate program channel. Another banner will be displayed which indicates the program's name and time remaining to start and the program is viewed 1158.

The system software will stay in a loop until access to  
15 the program ends 1162 or when the subscriber exits the program 1164. Again, the system constantly checks for the end of the program or the end of access. The subscriber also has the option of exiting the program at any time by pressing the cancel key. Upon end of access or exiting of the program  
20 exit remarks and a final "thank you banner" 1166 will be displayed.

#### 9. Turbo Card Software

Figure 12a provides a detailed overview of the Turbo Card software flow 1600, which implements a menu  
25 sequence (with the main program flow depicted as single, solid continuous lines and routine calls depicted as single dashed lines). As shown in Figure 12a, the Turbo Card software makes use of seven software routines. These routines include: (1) enter cable TV mode 1602, (2) menu  
30 system 1604, (3) electronic program guide 1606, (4) preview 1608, (5) YCTV 1610, (6) utility loop 1612, and (7) file

manager 1614. Figures 12b through 12g diagram each of these software routines in further detail.

5       Figure 12b details the initialization and normal operating mode of the Turbo Card software 1600. The figure shows the flow of the software before the subscriber selects any functions or menu options. The first block 1616 of the figure indicates the start of the program, which is subsequently followed by the portion of the routine that unmaps the remote control 900 hand-held keys 1618. This  
10       unmapping step disables any previously entered keystrokes on the remote control 900. The software then enters the cable TV mode 1620 followed by the keystroke loop 1617. The key input subroutine 1622 in the keystroke loop 1617 spins until a keystroke is entered (as shown at block 1622).

15       Following an entered keystroke, the keystroke loop checks whether a menu keystroke has been entered (decision block 1624). If a menu keystroke has been entered, the keystroke loop 1617 is exited. The system tunes to a barker channel 1626, remaps the hand-held keys  
20       to the new selection (at 1628) and loads the old menu as the current menu (at 1630). Subsequently, the file manager software described below is initiated through software flow entry point G, Figure 12c.

25       If an alpha/numeric or digit key is entered instead of a menu key, the keystroke loop 1617 continues with a digit key entry sequence 1625. This sequence sends the key selected to the set top 1634, which effectively places the routine in the key input spin 1622 again. Where only the first digit has been entered (as at block 1636), a digit timer will be initiated  
30       (block 1638) and the routine returns to the key input spin 1622. If, however, both digits have been entered the digit timer is cleared 1640 and the digit timer will experience a

time out 1642. Subsequently, the channel number selected will be assembled by the software (as at block 1644) and then compared with those channels available for selection to determine the validity of the channel number (block 1646).  
5 Where a valid channel number has been selected, the routine sends the channel to the set top terminal 220 (as at block 1648), returning the keystroke loop routine 1617 to the key input spin 1622 until another keystroke is entered. Conversely, if the channel number is invalid, the set top  
10 terminal software will return to the loop without sending the channel to the converter box 220 itself.

Figure 12c depicts the general menu drawing routine 1604 (of Figure 12a) that is used throughout the execution of the graphical user interface. The routine 1604 begins by  
15 initiating the draw current menu subroutine (block 1650). A keystroke loop 1651 and key input spin is used (block 1652) until a key input is entered. Upon selection of a menu key 1654, the keystroke loop 1615 loads the top level menu 1656 as the current menu and loops around to the draw  
20 current menu subroutine (block 1650). Where a menu key is not chosen, the keystroke loop 1651 determines whether the cursor up key has been selected (decision block 1658).

If, instead, the channel or cursor up key has been selected the keystroke loop 1651 moves the cursor up  
25 selection 1660 and returns to the key input spin 1652. Where, however, a channel up or cursor up key has not been selected, the keystroke loop 1651 checks whether the channel down key has been selected (block 1662). If the channel down key has been selected, the routine moves the  
30 cursor down the screen 1664 and returns to the key input spin 1652. Where, however, the channel down key has not been selected, the routine determines 1666 whether another

key has been entered by the subscriber. If no other key has been entered, the routine returns to the key input spin 1652. If, on the other hand, a keystroke has been entered, the current menu will be saved as an old menu (block 1668) and  
5 the routine will compute a new current menu type 1670.

The routine 1604 sequentially determines whether this current menu type is either an electronic program guide type 1672, preview type 1674 or event type menu screen 1676. If the electronic program guide type has been selected, the  
10 routine initiates the draw electronic program guide (EPG) screen routine shown in Figure 12d. If the preview type menu has been selected, the routine initiates the preview screen routine shown in Figure 12e. If the event type menu screen has been selected, the buy screen software shown in  
15 Figure 8f is initiated. If none of these menu type screens have been selected the routine 1604 returns to the draw current menu subroutine 1650.

Figure 12d diagrams the electronic program guide software flow 1606. The routine 1604 begins with the draw  
20 electronic program guide screen subroutine 1680. The routine 1606 executes the key input spin 1682 waiting for a subscriber keystroke entry. Once a keystroke is entered, the routine 1606 enters a keystroke loop 1683, which has a flow similar to the keystroke loop 1651 described above.

25 Unlike the keystroke loop 1651 described above, however, this loop also checks whether the volume down key has been selected 1696. If the volume down key has been selected, the cursor is moved to the left on the screen 1698 and the routine re-enters the key input spin 1682. When,  
30 however, the volume up key has been entered 1700 the routine moves the cursor to the right on the screen 1702 and returns to the key input spin 1682. If the cursor up, down,

left, or right keys have not been selected, the system software determines whether another keystroke instead has been entered 1704. Where another keystroke has, in fact, been entered, the software assembles the channel number 1706 and checks whether the channel number selected is a valid entry 1708.

Upon selection of a key, the routine next enters a digit key entry sequence 1711, which has a flow similar to the digit key entry sequence 1625 described above. Subsequently, the routine returns to the normal operating mode shown in Figure 12b, existing through software flow entry point B.

Figure 12e diagrams the preview screen software flow 1608. This routine initially computes the current preview screen 1724 in those cases where a preview type menu screen has been selected during the general menu drawing routine flow 1650 of Figure 12c. The routine next begins to draw the screen 1726 and enters the key input loop 1728, waiting for keystroke entry by the subscriber. This loop continually checks whether the screen is still current, as represented by decision block 1730.

Once a key is entered 1732, the routine enters a keystroke loop 1731, which is similar to the keystroke loops 1651 and 1683, described above. If the subscriber has selected a specific key 1744, the routine exists the keystroke loop 1731 and enters the general menu drawing routine 1650 shown in Figure 12c. The routine 1650 is entered through software flow entry point "I".

Figure 12f diagrams the flow of the software for generating a buy screen 1610. This routine 1610 is initiated after an event type program selection from the routine 1610 shown in Figure 12c. In order to generate a buy screen, this

routine initially scans a buy table for authorization 1750 and then determines whether or not the event selected by the subscriber has been already purchased 1752. If the event has been already purchased, a "join the event screen" 1754 will  
5 be displayed by the routine and the routine will enter the key input loop 1756.

Once a key has been entered 1758, the routine determines whether or not the event corresponding to the key is available 1760. If the event is unavailable, the routine  
10 returns to the general menu drawing routine shown 1650 in Figure 12c, entering that routine 1650 at the circle designated by the letter "H" in that routine. Where, however, the event is available, the software looks up the channel number 1762 and sends that specific channel number to the  
15 set top terminal 220, as represented at block 1674. The routine subsequently enters the normal operating mode routine shown in Figure 12b, beginning between block 1616 and 1618.

Where the event chosen, on the other hand, has not  
20 already been purchased, as at block 1752, the routine generates a buy screen for display 1766. The routine subsequently enters a keystroke entry loop 1769, which is similar to the keystroke loops 1651, 1683 and 1731, described above. This loop 1769 is exited upon entry of an  
25 alpha/numeric or digit key as at block 1782. The routine 1610 subsequently determines whether a menu type has been selected 1784.

Where a menu type has been selected, the routine enters the general menu drawing routine 1650 shown in  
30 Figure 12c through software flow entry point "H". Where a menu type has not been selected 1784, however, the routine determines whether an event has been purchased 17. If an

event has been purchased, a thank you screen is displayed 1788 and the software re-enters the key input loop routine 1756, awaiting a determination of whether the event is available for program selection.

5        Figure 12g diagrams the utility loop software (shown generally at 1612 in Figure 12a). This software 1612 is a continuously executed subroutine that monitors the changing of channels to determine whether a subscriber has remained  
10        on a channel for more than 30 seconds (as represented at decision block 1800). When the subscriber remains on the channel for more than 30 seconds, a time out is effected and the routine opens a log entry 1802. The routine subsequently notes that the subscriber has remained on the channel for more than 30 seconds and closes the log entry 1804. The  
15        routine then sets the first occurrence 1806.

When the subscriber has not remained on the channel for more than 30 seconds, this routine 1612 determines whether the channel change is a second occurrence 1808. In those instances where such a channel change is deemed a  
20        second occurrence, the log entry is opened 1810 and the occurrence is noted. If, however, the channel change is not a second occurrence, the routine 1612 determines whether there is time to send any log or buy data back to the cable headend 208 (represented at block 1812). Where such time  
25        exists, the routine forms a tone array of log data and unreported purchases 1814 and subsequently calls the cable headend 208 (as at block 1816). If the time to send log or buy data back to the cable headend 208 is insufficient, the routine calls the cable headend 208 (depicted at block 1818) and initiates the file manager routine 1614 discussed below  
30        with reference to figure 12h.



Once the cable headend 208 has been called, the routine 1612 determines whether the transfer has been successful 1820. If the transfer is unsuccessful, the file manager routine 1612 is called (at block 1818), otherwise,  
5 the log is erased and events marked are reported back to the cable headend 208 (as shown at block 1822). Upon completion of this process, the routine calls the file manager routine 1614 described below, and determines whether a new database is available 1824.

10 If a new data base is available the routine enters the normal operating mode (diagramed in Figure 12b beginning at 1616), otherwise, the routine 1612 determines whether a key has been entered 1826, either through infrared command or through key pad entry. If a key has been  
15 entered, the routine reads the key 1828 before exiting this routine 1612. If no key has been entered, the routine 1612 is exited.

Figure 12h diagrams the software routine for the file manager 1614. This software is transparent to the  
20 subscriber, runs in background, and makes use of files downloaded from the headend 208. These files typically consist of polling requests that command the set top terminal 220 to report purchase information to the headend 208.

During the download process, the routine 1614  
25 determines whether the DMA receive is complete 1830. If the DMA receive is incomplete, the routine 1614 is exited, otherwise, the routine checks for packet errors 1832. If an error in the SDLC packet is detected, the routine 1614 is also exited. Where no error has been detected the routine 1614  
30 assembles each packet in the file 1834.

Subsequently, the routine 1614 determines whether the file is complete 1836. If the file is incomplete the

routine 1614 is exited. If complete, the file name is checked to determine whether it is the Files.Dat file 1838. If it is not the Files.Dat file, the routine determines whether the received file has already been received 1840. If previously  
5 received, the routine 1614 is exited. If the file has not been received, a new list of data base files will be created 1842 by the routine 1614. Where the routine finds a match for the Files.Dat file, the routine determines whether this file is a new Files.Dat file 1844. If this file is not new, the routine  
10 1614 is exited. If, however, this file is new, the routine 1614 creates a new list of database files (again represented at block 1842).

The routine 1614 subsequently determines whether all files have been received 1846. If all files have been received,  
15 a new database is made available 1850 and the routine 1614 is exited. If, on the other hand, all files have not been received, the routine 1614 is nonetheless exited.

#### 10. Detailed Description Of Menu Screens

Figures 13 through 26 show examples of specific menus  
20 and sequences of menus which may be used with the present invention. Figure 13 shows an example of an introductory menu screen 1000 that is displayed on a subscriber's television 222. This menu screen 1000 offers the subscriber three options. The subscriber may choose regular cable  
25 television (channels 2 through 40 1180), programs on demand 1182 (e.g., movies), or a subscriber's account review 1184. Other basic program options are possible on the introductory menu screen 1000. For example, a system "help" feature (not depicted) can be offered on the  
30 introductory menu 1000.

In the upper left-hand corner of the menu 1000, there is a small window 1186 that may be customized to the

subscriber. A subscriber will be given the option of showing the current time in this window. In the upper right-hand corner a second customized window 1188 is available in which a subscriber may show the day and date. These windows may be easily customized for subscribers to show military time, European date, phase of the moon, quote of the day, or other informational messages. These windows may be customized by subscribers using on-screen menu displays following the introductory menu 1000.

10 In the preferred embodiment, the subscriber is given the capability of accessing base channels such as regular broadcast TV and standard cable channels and account (billing information) directly from the introductory menu 1000 (e.g., by entering the channel number). Further, in the preferred embodiment, the subscriber may directly access a major menu 1020 and bypass the home menu screen 1010. If the subscriber is familiar with the programming choices available on the major menus 1020, an icon button or a lettered key (alpha key) of the remote control 900 may be selected to directly access the desired major menu 1020. If any key entry other than those expected by the set top terminal 220 software program is made, the home menu 1010 is placed on the television screen. In addition, after a period of time if no selections are made from the introductory menu 1000, the program defaults to the home menu screen 1010.

Figure 14 is an example of a home menu screen 1010 that may be used. This sample home menu 1010 employs multiple window techniques to make the menu user friendly and offers a significant number of choices. It is preferred that a channel line up 1190 and the major menu 1020 categories both appear on the home menu 1010 icons for

selection by the subscriber. Various levels of subscription programming may be used, including a "Basic" cable package and a "Basic Plus" package. Each of the choices of subscription programming preferably is assigned a different color. This increases the user friendliness of the present invention.

Typically, the left half of the screen is used to list the channel number and network abbreviation of the most popularly watched networks as shown at 1190. The right half of the screen offers access to a variety of major menus 1020 listed by category names as shown at 1020.

A number of major menus 1020 may be utilized in conjunction with the home menu. By pressing the alphanumeric or icon key of the remote 900 corresponding to the category of programs the subscriber desires, the appropriate major menu 1020 is accessed. In addition, the subscriber may employ an on-screen cursor to select any option shown in the menu.

Figure 14 also shows how additional major menus 1020 can be displayed on the home menu screen 1010. When there is no longer room available for additional major menu 1020 choices on the home screen, the subscriber may access a second screen of the home menu 1010. For example, in Figure 14, if additional major menus 1020 "J-Z" 1191 existed, the subscriber would access those menus by highlighting and selecting the J-Z menu option (or press the J-Z key on the remote 900). After selecting J-Z, the second or extended home menu screen 1010 would appear on a subscriber's television. This menu would then list options J-Z separately by name. Theoretically, the home menu 1010 may have many extended home menu screens. However, any

more than a few extended home menu screens would confuse the average subscriber.

The home menu 1010 may be modified to include additional features at the bottom of the television screen. For example, one option 1192 would allow a subscriber to access program selections that are available on broadcast television. Clearly, numerous variations are available for the home menu 1010.

Figure 15 shows an alternate embodiment 1193 of the home menu 1010 (or the menu which would normally follow the introductory menu 1000) which can simply be the standard cable channel line-up. Offering the standard cable line-up on a separate menu may make selection easier for viewers with small television screens.

Figures 16 is an example of a major menu 1020 for the movies categories depicted as 1042 and 1048 in Figures 9a and 9b, respectively. The hit movies category 1048 is a list of recently released movies which have been found to be popular among movie goers. This movie list is changed once or twice a week to keep in line with new movie releases. Again, multi-window and customized window techniques for example option instructions 1194 are utilized to make the menu as user friendly as possible.

In the preferred embodiment of the hit movies menu 1048, the hit movies menu icon 1196, along with the hit movies category letter A, are displayed. The current date and time are displayed at the top of the screen 1197 over a menu background. Ten movie selections, with their ratings 1199, are displayed in the center of the screen 1198, each in a box which may be highlighted when selected. In the lower part of the screen 1194, a logo window 1200 is available as well as other option choices, Movie Library and Return to Cable TV.

If the subscriber desires further information on any particular movie, the subscriber may select a movie using the cursor movement buttons and press the "go" button.

5 In alternate embodiments (not shown), the "return to Cable TV" option may be changed to "return to the Home menu" 1010 (or return to other viewing choices). In addition, the left upper corner window displays current time and the right upper corner window displays a message, but the windows in the upper corners remain in substantially the same location from menu to menu. Also, the name of the menu and category generally will be at the top and center of the menu screen. To make the menus aesthetically pleasing, generally the instructions are given across the center of the screen and choices are provided in large legible type. 10 Additionally, at the bottom of most menu screens, the subscriber is given the option of returning to regular TV or returning to the home menu 1010. 15

It is important in creating user friendly interfaces that the menus are consistent and follow a pattern. This consistency or pattern between the different menus provides a level of comfort to the subscriber when encountering new menus. 20

Other major menus may be directed to the types of subscription services available (e.g., basic service, basic plus, economy package, and ala carte and premium channels). Such menus may also provide promotional or advertising information, for example, the cost for the particular subscription service. These menus are grouped by using similar colors or shades of colors. For example, the basic subscription service is a light pink color. As the subscription services increase in terms of the number of channels available, the color shading may increase intensity 25 30

correspondingly. Therefore, the premium subscription service (ala carte service) would have a dark red color, contrasting with the light pink color of the basic subscription service.

5 In Figure 17, the movie description submenu 1058 for the movie titled Terminator Four is shown, signifying that the subscriber may choose this program option from the hit movie major menu 1042. Figures 17-19 show submenus which would follow the selection of Terminator Four from the  
10 hit movie major menu 1058. In Figure 17, the sash 1197 across the top of the screen remains constant from major menu 1020 to program description submenu 1058. For the comfort of the subscriber, the left upper window in an alternative embodiment can remain the same and show the  
15 current time. The upper right-hand corner contains a message stating the next start time for the movie selected.

In order to allow subscribers to view hit movies at their convenience, multiple start times for the same movie are provided. In order to provide the multiple start time service,  
20 the same movie must be shown on multiple channels at staggered start times. For example, if Terminator Four is a two-hour length movie it can be shown continuously on eight different channels, with each showing delayed fifteen minutes after the previous showing. This allows the subscriber to  
25 begin viewing the movie within a fifteen minute time interval. Since the subscriber is not required to find the channel which has the correct start time, the subscriber is unaware that the movie is being shown on eight different channels. In fact, with the use of the submenus, a subscriber is able to  
30 nearly effortlessly choose the correct channel and correct activation time for viewing the desired movie. The channel selection is invisible to the subscriber.

The set top terminal 220 is able to automatically determine which channel will next begin to show the selected movie using any number of techniques. For example, the set top terminal 220 has an internal clock representing the current time. The set top terminal 220 could compare the current time with the start times for the movie on the various channels. Alternatively, a signal could be sent with the movie on all channels. This signal will set, or reset, a counter to indicate that a particular channel will next begin the movie. Those skilled in the art will recognize that other methods to determine the next available start time and channel for the selected movie are available.

The Figure 17 movie description submenu 1058 retains the title in a window 1204 generally at the top center of the screen. A multiple window technique is used in the middle of this menu to display a description of the movie and one or more video frames 1208 that assist the subscriber in selecting the movie. The video window 1208 provided by the menu may include a still picture, a short but repetitive video cut, or a portion of the movie that is currently showing on any one of the channels carrying the movie at the time of the submenu's display.

Just below the video window 1208, the submenu provides the cost of viewing the movie and the movie length in hours and minutes 1212. An additional strip window 1214 is provided, below the video and description windows 1208, 1212, informing the subscriber of the movie's release date.

Moving towards the bottom of the menu, the subscriber is given at least four options: (1) the ability to order the movie 1216, (2) preview the movie, (3) to return to the hit movie menu 1218, and (4) to press "go" and return to regular TV 1220.



Figure 18 shows the next submenu 1060 in the hit movie menu sequence stemming from the selection of Terminator Four. This particular submenu 1060 shows confirmation 1224 of the subscriber's hit movie order of Terminator Four. The menu display retains the sash across both the top and bottom of the screen. An alternate form of the menu 1060 maintains the current time in the left upper window, the title in the top center window, and the next movie start time in the upper right-hand window.

In the center of the submenu screen 1060 is a video window 1228 which may be used for still or moving video. As indicated at 1230, the submenu provides the subscriber with two on-screen options, return to regular TV or join the movie Terminator Four already in progress. In an alternative embodiment of this submenu 1060, the user is given the ability to return directly to the home menu screen 1010.

When the movie's start time is approaching, the set top terminal 220 will automatically bring the viewer to the correct channel carrying the movie Terminator Four. However, Figure 19 depicts a notification submenu 1061 informing the user that a program selection is about to begin (e.g., counting down until start time). Using this submenu 1061, the set top terminal 220 warns the subscriber prior to switching from the channel being viewed to a prior selected program channel. This notification submenu 1061 is provided to the subscriber approximately one or more minutes before the set top terminal 220 changes the viewing channel.

The notification submenu 1061 also allows the subscriber to cancel the movie order. In Figure 19, the subscriber is notified in the center of the screen, generally at 1234, that the subscriber may be canceled within the first

five minutes. Alternatively, the subscriber may press escape to cancel his order without charge. The notification submenu 1061 then informs the subscriber of the start time generally at the upper right portion 1236 of the screen.

5           An alternative notification submenu (not shown) would use a simple three-window menu. A strip window at the top of the screen would notify a subscriber of the movie selected and the amount of time before the movie will begin. A center window would display a scene from the movie, and at the  
10 bottom of the screen, the submenu would carry another strip menu which informs the user how to escape from the program selection without charge.

          Using a notification submenu allows a subscriber to view other programs prior to the movie start time. The subscriber  
15 is amply notified of the start time of the program and is effortlessly moved to the correct channel to view the selected program. This notification-type submenu represented in Figure 19 may be used to move a subscriber from the current channel to any preselected channel for viewing a program  
20 which has been ordered at an earlier time. In the preferred embodiment, the amount of time provided by the notification submenu 1061 and similar submenus may be customized by the subscriber to a preferred length. If a subscriber cancels or escapes, the set top terminal 220 will return to the  
25 channel currently being viewed.

          As shown in Figure 20a, in the preferred embodiment, the subscriber is given a During Program Menu 1300, specifically, an escape overlay menu 1392 to inform the  
30 subscriber when the five minutes of movie escape time has expired. Once the time has expired, the subscriber will be billed for the movie selection.

Figure 20b shows another overlay menu 1240 (part of the group of During Program Menus 1300) warning that the subscriber is escaping a program after being charged for the order of that program. The warning overlay menu 1240 of Figure 20b follows in sequence and is prompted by a hidden menu 1393 (shown in Figure 9a) which constantly monitors for subscriber input during viewing of the program. The hit movie hidden menu (not shown) specifically waits for certain key entries by the subscriber. In particular, the hit movie hidden menu awaits for a key stroke such as escape, cancel or an icon selection. If the escape button is depressed during the viewing of a hit movie the overlay menus of Figure 20a and Figure 20b will be shown. A strip menu 1242 in the lower sash 1244 of Figure 20b allows the subscriber to resume full screen viewing of the hit movie.

Figure 20b is a representative example of overlay menus 1390. Typically, such menus 1390 have a dark lower background sash 1244 and a light colored informational sash 1246. The upper portion 1248 of the screen continues to display the video of the program selected.

Figure 20c depicts a representative reentry to ordered selection submenu 1250 for the hit movie category. The reentry to ordered selection submenus 1250 appear whenever a subscriber selects a programming option (program, event, or subscription channel), that the subscriber has already ordered. This menu has a program title window 1252 with a text title entry and a description of the order that has already been placed for the program (or channel). In the preferred embodiment, the submenus 1250 which allow reentry to ordered selection provide the subscriber with the added option of joining the program within any fifteen minute interval. This special feature of the preferred embodiment

allows a subscriber who has viewed one-half of a particular program to rejoin the program at the half-way point. In this manner, the program delivery system mimics a VCR tape recording of the program. For example, if a subscriber had  
5 rented a videotape of the movie Terminator 4 and had watched thirty minutes of the movie, he would have left his videotape in the thirty minute position. With the menu 1250 of Figure 20c, a subscriber to the system who has watched thirty minutes of Terminator 4 may reenter the movie at the  
10 thirty-one to forty-five minute interval. The nine blocks 1254 of fifteen minutes of the menu display are representative of the choices available for a two-hour hit movie. Other variations are possible depending on the length of the movie and the timing intervals desired.

15 Figure 21 shows the major menu for the movie library category 1048 (shown in Figure 9b). The movie library category provides subscriber access to a large number of movies. Using several transmission channels, each movie in the library is shown at least once during a one-month period.  
20 Using the movie library, a subscriber may access information on a particular movie and ascertain the various start times for that movie.

The movie library major menu 1058 shown in Figure 21 is an extended menu having many follow-on extensions to the  
25 major menu screen shown. The extended menus continue to show lists of movies in alphabetical order. In an alternative embodiment, the movie library is broken down into subcategories (not shown) of various types of movies. For instance, movie categories such as murder-mystery,  
30 documentaries, westerns, and science fiction would appear on the movie library major menu 1058. By selecting one of these movie library subcategories the subscriber would be

moved onto a particular submenu for that movie library subcategory. Each submenu (not shown) would list movie titles whose contents fall within the particular subcategory.

With reference to Figure 21b, following a selection of a movie title, the subscriber is displayed a movie description submenu 1058. In order to maintain a similar pattern throughout the menus, such movie description submenus 1058 are designed similarly to Figure 18 (which depict movie description submenus for the hit movie menu 1042) and may include other information such as title numbers. Using the submenu 1058 the subscriber may order the movie described 1260, return to the movie library major menu 1262, or return to regular TV 1264.

The series of Figures 22a-22d depict a typical menu sequence including a major menu 1043 (Figure 22a), a subcategory submenu 1052 (Figure 22b), a program description submenu 1054 (Figure 22c), and a confirmation submenu 1056 (Figure 22d). This simple progression of menus is represented generally and repeats itself through the menu tree of Figures 9a and 9b.

In the preferred embodiment, Figures 22a-22d are a series of menus which are categorized in the Documentary and News Major category. Figure 22a, the Documentary and News major menu 1043 shows, at central region 1266, twelve different subcategories of services available to the subscriber. After selecting a subcategory from this major menu 1043, the set top terminal 220 moves the subscriber to a submenu describing programs that are available in the selected subcategory. For example, Figure 22b is a submenu 1052 for subcategory Discovery Channel™ choice 1268, and shows six programming choices 1270 available for this subcategory. In an alternate embodiment, this submenu can

display any number of program choices. By choosing one of the programming choices on this Discovery Channel™ choice submenu 1152, the subscriber may obtain more information about the particular program. In Figure 22b, the subscriber has highlighted and selected the program War Birds 1274 for further description.

Figure 22c is a program description submenu 1054 which describes an available program, War Birds. Figure 22c uses the upper right-hand corner window 1276 to inform the subscriber of the next start time available for the particular program War Birds. In packaging the special selection of programs, the programmer at his option may show an identical program on several channels in order to permit the subscriber greater flexibility in start times. Figure 22c shows the use of a strip menu 1278 across the lower half of the screen displaying a message and the price of the program. Similar to other submenus, the subscriber may order the program, return to the major menu 1043, or return to regular TV simply by selecting the choices on the lower part 1278 of his screen. Figure 22c depicts the subscriber ordering the program War Birds.

Figure 22d is a confirmation submenu 1056 generally similar to confirmation submenus in other major menu categories. It confirms the subscriber's order of the program War Birds. This confirmation submenu retains the video window 1276 from the prior submenus and also displays the program running time. An alternative submenu may show a strip window (not shown) on the lower part of the screen displaying an "800" number and advertising the Discovery™ catalog. Similar windows may be used throughout submenus to assist in advertising for particular programs, channels, or groups of programs. Many variations of the confirmation

submenu 1056 are possible, including allowing the user to join the selected program already in progress or return to regular TV. In addition, by depressing the escape button, the subscriber may cancel his order of War Birds from this screen.

Figure 22e is an example of an overlay menu 1392 presented when a subscriber is exiting from a program selection in which he may rejoin at a later time. This exiting ordered program overlay menu (as shown at 1392 in Figure 9a ) is appropriate whenever a subscriber may return to a program or channel without additional charges. Since many of the program selections are authorized for viewing on a two-day, weekly, or monthly basis, the exiting ordered program overlay 1392 is useful in a number of situations.

This overlay menu 1392 follows a similar format as other overlay menus 1390 having a darker colored lower sash and lighter colored second sash with text information. The sashes are overlayed on the program video currently being watched by the subscriber.

Additionally, an exiting ordered program overlay menu 1392 may be provided for one-time viewing program selections to which a viewer cannot return. These exiting ordered program overlay menus 1392 would thank the viewer for ordering the particular program or channel and entice the viewer to order a similar program from the same network. For example, an exiting program overlay menu 1392 for a live sports event such as boxing, would thank the viewer and remind him that the network carries regularly scheduled boxing events on a weekly basis.

Figures 23 and 24 relate to the ordering of specialty channels through the menu driven system. Figure 23 is a major menu 1044 that lists fifteen specialty channels 1280

that are available for subscription and viewing. In this particular major menu 1044, the lower half of the screen 1282, which is utilized to provide the various programming choices, is divided into three vertical sections allowing room for fifteen choices. This major menu category 1044 is different from the others in that individual programs are not ordered but instead channels are subscribed to on a monthly or yearly basis. To use this submenu, a subscriber need only select and press "go" on the channel of his choice.

After the subscriber selects a channel, as shown in Figure 22c, a channel description submenu 1054 replaces the major menu on the subscriber's television screen. This description submenu 1054 has windows that are similar to other description submenus used throughout the menu driven system. In the description submenus 1054, the upper right-hand corner is used to display the subscription cost for the channel and the upper left-hand corner is used to display the method in which the subscription price will be billed to the subscriber. In this specific scenario, the current time has little bearing on the subscriber's decision to order the displayed channel and therefore is not shown on the television screen.

Another submenu 1056, similar to confirmation menus discussed earlier, confirms the subscriber's order and thanks the subscriber for ordering the specialty channel. If the subscriber is already paying for the selected channel, instead of confirming the order, the subscriber is provided with the divided menu 1056 of Figure 22d, informing the subscriber of a current subscription to the Science Fiction channel. In the screen of Figure 22d, the subscriber is allowed to join the channel in progress. After an ample period of time for the subscriber to read the screen submenu, the submenu 1056 is



removed from the television screen and the subscriber has a complete view of the programming in progress.

Figure 25 shows a major menu for magazine channels 1030. This major menu falls under the letter F, Major Menu, and has an icon 1288 showing three magazines. The magazine channel major menu has a menu display block 1290 with 15 options, three columns, each with five selection options. Magazine channels are specialty channels targeted to a particular audience. In the preferred embodiment, each of the magazine channels has a monthly subscription. Figure 25 shows the science fiction magazine highlighted.

Upon selection of the science fiction magazine, a channel description submenu similar to a program description menu (shown in Figure 26) is displayed. This type of submenu has a network logo in the upper left hand part of the screen generated from the logo graphics file 820. The name of the channel is prominently displayed across the top. In the preferred embodiment, the text for a channel or network name is stored in long-term text storage. The text description of the channel on the right part of the screen may also be stored in long-term text storage. A video window and a video description window is provided.

If the subscriber orders a science-fiction channel, the subscriber will receive a confirmation menu 1056 somewhat similar to the menu shown in Figure 22d. This is a representative confirmation menu for subscribing to any network channel. A lower sash of approximately equal width to an upper sash of the background menu is displayed in a color preferably different than that of the upper sash. Within the confirmation sash, a network logo and a standard text description thanking the subscriber will be placed on the screen. At any time during this menu screen, the subscriber

may cancel his subscription to the channel by pressing cancel on his remote 900.

5 In the preferred embodiment of the confirmation submenu, the area of the screen below the two sashes is filled with video from the channel being subscribed instead of text.

A reentry to an ordered subscription may be accomplished through another submenu 1055. Typically, a light colored second sash may be provided at the top of the screen with the network logo and text informing the subscriber that he has already ordered this particular channel. The reentry submenus 1055 generally allow a subscriber to immediately join programming in process. The current program on the channel chosen is shown in most of the remaining portion of the screen. Typically, a special title sash is included as an overlay in the lower portion of the screen. This sash identifies the current program being shown on the channel with a text description. The set top terminal 220 may derive this text description from either the STTCIS, the VBI, or other digital signals.

20 Referring to Figure 26, another similar series of menus may be displayed in selecting the documentary news program from the CBS library, called 60 Minutes. Although this is a regularly scheduled weekly program, it may be viewed by subscribers to the present invention at nonscheduled times. A major menu 1028 for documentary and news programs, as shown in Figure 22a, is initially displayed.

Figure 26 shows a subcategory submenu 1050 for Documentary and News displaying five options. This subcategory menu 1050 shows specific programs which are available. The cursor highlight overlay is at the top of the screen in its default position. From this cursor position, the subscriber may order the program 60 Minutes.

Another program description submenu 1292 displays the network logo, program title, program description, video window, video description window, and the next program start time. In the preferred embodiment, the next program start time is displayed beneath the current time. The program title and program description text may be stored in the intermediary text storage. In the preferred embodiment, the video description window would display running time and price of program. If the subscriber orders the program from the program description menu, he is sequenced to a confirmation menu 1056 which, as usual, thanks the subscriber for ordering the program. In alternate embodiments, the confirmation text is a standard text being generated from long-term text storage. Confirmation submenus may be designed to show the user more video and less menu graphics and text.

#### 11. Creation of Menus

##### a. Menu Storage

In the preferred embodiment, the basic building blocks or templates of the on-screen menu displays will be stored in graphics memory consisting of nonvolatile RAM, ROM, EPROM, or preferably, EEPROM, shown as 620 in Figure 27a. With the information from this graphics memory 620, the microprocessor 602, graphics decompressor 622, text generator (if necessary), and video combiner 624 will build a menu screen. The memory files of the graphics memory or EEPROM 620 are preferably categorized into three categories, background graphics 800, logo graphics 820, and menu and display graphics 850.

The background graphics file 800 stores menu backgrounds such as: universal main menu backgrounds 804, universal submenu backgrounds 808, promo backgrounds 812

and custom menu formats 816. The logo graphics file 820 stores any necessary logos such as: Your Choice TV logos 824, Network logo files 828, cable system logo files 832, studio logo files 836, and graphic elements file 840. A menu display and cursor graphics file 850 stores menu display blocks 854 and cursor highlight overlays 858, as well as any other miscellaneous files needed to build the menus.

Using this method of storing menus, the menus can be changed by reprogramming the graphics memory 620 of the set top terminal 220. Picture files are sent using the program control information signal. These picture files contain the graphic information stored in the graphics memory. To revise the entire design of displayed menus, the network controller 214 or operations center 202 instructs the EEPROM 620 to be erased and reprogrammed with new menu templates (new picture files). To change one menu format or logo, the network controller 214 or operations center 202 instructs just the one location in memory to be erased and rewritten (one picture file). Obviously, this menu reprogramming can be done locally at the set top terminal 220. Reprogramming is described in detail in co-pending Patent Application, Serial No. \_\_/\_\_\_\_\_, entitled, REPROGRAMMABLE TERMINAL FOR SUGGESTING PROGRAMS OFFERED ON A TELEVISION PROGRAM DELIVERY SYSTEM, filed December \_\_, 1993, by the same assignee and incorporated herein by reference.

With continued reference to Figure 27a, each identified memory subfile is further divided into various memory blocks. For example, the background graphics file 800 contains the universal main menu backgrounds 804 which include memory units UM1 860, UM2 862 and UM3 863. Similarly, the logo graphics file 820 and menu display and curser

graphics file 850 further contain within subfile individual memory blocks (for example, studio logo file 836 has memory block SL1 864; menu display blocks 854 has memory menu display block MD1 861).

5           Figure 27b shows the hierarchical storage of text transmitted from the cable headend 208 as STTSCIS. Although text may be continuously transmitted with the video signals to set top terminals 220, text may also be transmitted intermittently. In such a case, the text is stored in the set  
10 top terminal 220. Preferably, the text is transmitted and stored in a compressed format using known techniques. Additionally, the text is preferably stored in graphic memory 620 within set top terminal 220.

          Depending upon the use of the text, it will be stored in  
15 one of three portions of memory. Information sent with the text will either direct the text to a particular portion of memory, or include information as to the priority of text. The microprocessor 602 may then direct the text to the appropriate memory location for storage.

20           If the text is to be used frequently and over a long period of time, a long term storage 875 will be used. If the text will be used for a shorter period of time (for example, a month), the text will be directed to an intermediate storage area 877. If the text is to be used almost immediately, or for  
25 a short period of time (for example, within a few days) the text is directed to a short term storage area 879. The microprocessor 602 locates the appropriate text required for a particular menu (see generally Table 1) and retrieves it from the appropriate portion of memory 620. The text is  
30 output from the graphics memory 620 to the text generator 623. Text generated from the text generator 623 is thereafter directed to text/graphics video combiner 624.

Figure 27c shows the steps performed by the microprocessor 602 for creating a menu based upon a series of overlay screens. These instructions are stored in memory within the set top terminal 220 in a screens data file. The screens data file instructs the microprocessor on the location of each graphics file on the screen. An example screens data file is shown in Table 1. As shown in Table 1, the screens data file specifies menu data positioning in terms of, for example, x and y pixel positions, height and width, color codes and fonts. Alternatively, instructions or routines may be transmitted from the operations center 202 to be stored in memory within the individual set top terminals 220.

### TABLE 1

15	- The following data lines are for the main menu													
	-													
		Screen Type				Template File				Description				
	SCREEN	@MAIN				main menu.pcx				Main Menu				
	-													
20	-	Justify	X	Y	Ht	Wd	FColor	BColor	Font					
	STR POS	Left	165	85	30	300	27	55	FUTUR14.GFT					
	STRING MAIN MENU													
	-													
	-	Justify	X	Y	Hght	Wdt								
25	PCX POS	LEFT	190	75	200	200								
	PCX example.pcs													
	-													
	-	Justify	X	Y	Ht	Wd	FColor	BColor	Font	X	Y	Ht	Wd	
	ITEM POS	Left	120	100	20	400	15	25	FUTUR12.GFT	110	90	30	420	
30	ITEM @YCTV YOUR CHOICE TV													
	-													
	-	Justify	X	Y	Ht	Wd	FColor	BColor	Font	X	Y	Ht	Wd	
	ITEM POS	Left	120	200	20	400	15	25	FUTUR12.GFT	110	190	30	420	
	ITEM @PPV PAY-PER-VIEW HIT MOVIES													

Initially, as shown at block 878, the microprocessor 602 instructs the tuner 603 to select a channel. The channel is decompressed, and error corrected and decrypted, if necessary. If the video is to be reduced in size, so as to be placed within a video window 1556 (described herein later), or is a split screen video window which must be enlarged, the video is scaled to the appropriate size. Additionally, the video may be required to be redirected to a portion of the television screen. This is done by creating a series of offsets for each pixel location of the video.

Graphics must also be used to create a menu in most instances. As is shown in block 882, the microprocessor 602 must fetch a background file, fetch a logo file and fetch a menu display and cursor (file in most instances). Each of these files must be decompressed 883. Following decompression, the file is combined 886.

Similarly, the microprocessor 602 fetches text (as shown in block 884). Depending upon the memory location of the text, the microprocessor 602 will fetch the text from long-term, intermediate-term, or short-term storage, 875, 877, 879, respectively, as described above. (Alternatively, text may be stored in the screens data file.) Based upon this memory retrieval, the text is generated and combined 886. At the combine step 886, the video (if any) is combined with as many screens of decompressed graphics as necessary, along with any text. The image or portions of each image are stored until all overlays are received. Thereafter, the entire image is sent, under the direction of another routine, to be displayed on the television screen (as represented by display block 888).

### b. Menu Graphics

Figures 28a through 28g and Figures 29a through 29g demonstrate how menus are generated by the set top terminal 220. Figures 28a through 28g display the building of a major menu screen for the category hit movies. Figure 28a shows the background graphics for the hit movie major menu. The background graphics 1500 comprise an upper sash 1502 across the top of the screen and a lower sash 1504 across the bottom of the screen. The background graphics are generated from the background graphics file 800 in the memory files of the graphics memory (preferably EEPROM) 620. In particular, the hit movie major menu background graphics are located in the universal main menu backgrounds subfile 804 of the background graphics file 800. This universal major menu background graphic 1500 is consistently used in nearly all the major menus. Figure 28b shows the logo graphics for the hit movie major menu. The logo graphics 1508 for this major menu consist of an icon window 1510, a cable company logo 1512 in the lower left-hand portion of the screen, a channel company logo 1514 in the upper right-hand part of the screen and two "go" buttons 1516. The icon graphics 1510 are consistently shown in each of the major menus. The cable company logo 1512 is consistently shown in the lower left-hand part of the screen in nearly every major menu. These logo graphics 1508 are created from the logo graphics file 820 in the EEPROM 620. In particular, the cable company logo 1512 in the lower left-hand corner of the screen is located in The Your Choice TV logos 824 part of the logo graphics file. The network logo 1514 in the upper right-hand corner of the screen is generated from the network logo file 828 of the logo graphics



file 820. The "go" buttons 1516 are generated from the graphic elements file 840 of the logo graphics file 820.

5 Figure 28c shows the addition of menu displays 1520 to the hit movie major menu. In particular, Figure 28c shows a ten block main menu display 1520 and a strip menu 1522 in the lower part of the screen. The ten display blocks 1520 of Figure 28c are generated from the menu display block's subfile 854 of the menu display and cursor graphics file 850 (shown in Figure 27a). The strip menu 1522 located on the  
10 lower part of the screen is also generated from the menu display block's subfile 854.

Figure 28d shows the addition of a cursor highlight overlay 1526 to the hit movie major menu. The cursor highlight overlay 1526 is generated from the cursor highlight overlay's submenu 858 of the menu display and cursor  
15 graphics file 850 shown in Figure 27a. In the preferred embodiment, the cursor highlight overlay 1526 is shown by default to be in the upper left-hand menu display block of each major menu. This cursor highlight overlay 1526 can be  
20 moved on the screen by the subscriber.

Figure 28e shows the text 1530 generated for the hit movies major menu. In the preferred embodiment, the text 1530 is generated separately by a text generator in the set top terminal unit 220. The text "HIT MOVIES from" 1531  
25 consistently appears on each hit movies' major menu. This text may be stored in long term storage. Other text such as that which appears at the lower center part of the screen "PRESS HERE TO RETURN TO CABLE TV" 1532 also appears many times throughout the menu sequence. Text  
30 which changes on a regular basis, such as the movie titles (or other program selections), will be transmitted to the set top terminal 220. In this manner, the cable headend 208 may

change the program selections available on any major menu 1020 by modifying the program control information signal sent by the operations center 202 and transmitting the change via the STTCIS.

5           In alternative embodiments, portions of the text, particularly those portions which remain constant, may be incorporated into the screens data file or the graphics files and stored in either the background graphics file 800 or the logo graphics file 820.

10           Figure 28f shows the addition of day 1534, date 1536 and time 1538 information 1540 to the hit movies major menu. This information may be obtained in a variety of ways. The day, date, and time information 1540 may be sent from the operations center 202, the cable headend (signal  
15           processor or network controller 214), the uplink site 204, or generated by the set top terminal unit 220 internally. Each manner of generating the day, date, and time information 1540 has advantages and disadvantages which may change given the particular embodiment and costs. In a preferred  
20           embodiment, the day, date, and time 1540 are generated at a central location such as the operations center and are adjusted for regional changes in time at the cable headend 208.

25           Figure 28g shows the results of the information in Figures 28a to 28f being integrated in the video combiner 624 and then displayed on the television screen 222. The subscriber in viewing the hit movie major menu 1040 is unaware of the fact that the menu comprises several distinct parts.

30           Figures 29a through 29g show the creation and display of a program description submenu for a hit movie. Similar to the major menu, the submenu is created in parts and

combined before being sent to the television screen. Figure 29a shows the background graphics 1550 for the program description submenu. In the preferred embodiment, the upper sash 1552 and lower sash 1554 of the background graphics 1550 are stored together in one location on the EEPROM 620. The video window 1556 and half-strip window 1558 are also co-located in storage on the EEPROM 620. The half-strip window 1558 beneath the video window serves 1556 as a means for describing the videos shown in the video window 1556. Both sets of graphic information 1550, the sashes 1552, 1554 and video window 1556 with description 1558, are located in the universal submenu backgrounds subfile 808 of the background graphics file 800. Both sets of backgrounds appear in many menus and are used many times during a sequence of menus.

Figure 29b shows the additional logo graphics information 1508 needed to create the program description submenu. In the preferred embodiment, the "go" logo 1516 can be stored once in memory 620 and directed to the correct portion of the screen in which it is needed for a particular menu. Similar to Figure 28b, the information needed to create the "your choice" logo 1512 and "go" buttons 1516 is stored in the logo graphics file 820.

Figure 29c shows the addition of menu display information 1520 for the program description submenu. Similar to Figure 28c, the information needed for Figure 29c menu display blocks is stored in the menu display blocks' subfile 854 of the menu display and cursor graphics 850. In this particular submenu, there are three menu display blocks of rectangular shape.

Figure 29d shows the addition of cursor highlight overlay graphics 1526 for the program description graphics.

This information is obtained from the cursor highlight overlay submenu, one of the overlay graphics. For most major menus 1020 and submenus 1050, only one cursor highlight overlay 1526 will appear on the screen at a given time. More cursor highlight overlays 1526 will appear on a screen when the subscriber is presented with more than one question. The number of cursor highlight overlays 1526 will generally correspond with the number of questions being presented to the subscriber on the menu. The cursor highlight overlay 1526 is generally assigned a default position on each menu screen and is moved by the subscriber using the remote control 900.

Figure 29e shows the text generation 1530 necessary for the program description submenu for a hit movie. As in Figure 28e, some of the text for the program description submenu is consistently on each program description submenu, such as "PRESS HERE TO RETURN TO CABLE TV." This textual information may be stored locally and processed through the text generator 621 before being sent to the video combiner 624.

#### c. Use Of Promotional Video

Figure 29f shows the addition of video 1560 to the video window 1556. In an alternative embodiment, the video shown in the program description submenu is a still picture. The still picture may be stored in a compressed format (such as JPEG) at the set top terminal 220. These video stills 1560 that are used on program description submenus as well as other menus, may be transmitted by the operations center 202 through the program control information signal from time to time.

In the preferred embodiment, the video window 1556 shows a moving video picture. For the hit movies category,

the moving video picture may be obtained directly from a current feed of the described movie. For example, the movie video shown may be taken directly off of a channel which is currently showing the movie Terminator. The set top terminal 220 would decompress the channel with the movie Terminator and then manipulate the video signal to place it in the video window 1556. This manipulation of the video signal includes scaling down the size of the video screen and redirecting the video to a portion of the menu screen which is within the video window of the menu. Another method of getting the moving video (Terminator video chip) to the video window portion of the submenu, is to obtain the video from a split screen channel described later.

Figure 29g shows the final product resulting from the combining of Figures 29a through 29f. The video combiner 624 integrates each of these portions of information into a single menu screen 1058.

The video combiner 624 which displays the menus on the television screen obtains information primarily from three locations, the graphics generator 622, the text generator 621, and the video decompressor 618 (with other video manipulation equipment, if necessary). The graphics generator 622 primarily obtains information from the graphic memory unit 620 but may receive information in the STTCIS. The text generator 621 primarily receives its information from a separate memory for text. However, in certain embodiments the text information may be stored in the graphics memory 620 or may be taken directly off the STTCIS. The video signal which is sent to the video combiner 624 may come directly from one or more video decompressors or ancillary video manipulation equipment.

One of the methods for video clips or promotional video to be sent to the set top terminal 220 is through the use of split screen video techniques. Using a split screen technique, any number of different video clips may be sent (e.g., 2, 4, 6, or 8 video clips) on a single channel. Figure 30 shows the throughput of a single channel using a split screen video technique to divide the channel into four parts. In this manner, four different video clips may be simultaneously sent on a single channel. Program description submenus can acquire one of the video clips shown on the split channel at any given time. Generally, this requires the set top terminal 220 to decompress the entire channel, acquire one-fourth of the video information, scale the video (if necessary), and redirect the video (if necessary). Using this split screen technique 1602, numerous video clips may be sent over a limited number of channels. For example, forty eight different video clips may be sent simultaneously on a single channel using split screen video techniques. In this embodiment, the video signal may need to be scaled upwardly to enlarge the picture for viewing in a video window or on a full screen. Redirecting by pixel offset may be used to place the video in the video window.

The terminal uses known scaling and positioning techniques similar to those currently used in consumer electronics to produce picture-in-picture. Additional circuitry may be required in the set top terminal 220 to perform adequate scaling and repositioning.

In an alternative embodiment, which avoids the need for redirecting video into the portion of the screen which houses the video window 1556, masking and menu graphics are used to cover the portions of the channel video that are not needed. This masking technique allows the split screen

video to remain in the same portion of the screen that it is transmitted by the operations center. The masking then is adjusted to cover the undesired portions of the screen. These masks would be stored in the background graphics file 800 similarly to other background files for menus. The advantage of the system is the cost savings in not needing to redirect video. The disadvantage of the system is that the video window on a description submenu, for example, would not remain in the same location from menu to menu. This inconsistency in video window location detracts from the aesthetically pleasing aspects of the menu layouts.

If the masking technique is used in conjunction with the split screen video shown in Figure 30, each submenu has approximately one-quarter screen of video and three-quarter screen of graphic and text information. For example, a submenu or promo menu for a basketball game would mask all but the upper right-hand corner of the screen. Following masking, other background graphics 1550, logo graphics 1508, menu display 1520, cursor graphics 1526, and text information 1530 would be overlayed over the three-quarter mask as described earlier. In a similar manner, a submenu or promo menu for a hockey game would also have a three-quarter mask. This three-quarter mask would mask all but the lower right-hand corner of the screen. Again, the remaining menu graphics, logos and textual information would overlay the three-quarter mask. As can be appreciated from this example, four different three-quarter masks are stored in the background graphics file 800 for use in the four possible video window positions.

The split screen video technique may also be used for promoting television programming. Since a great number of short video clips may be sent continuously, full or partial

screen promotionals (or informationals) may be provided to the subscriber. With this large quantity of promotional video, subscribers may be given the opportunity to "graze" through new movie or television programming selections. The  
5 subscriber would simply graze from promotional video to promotional video until finding (and ordering) the desired television program.

The terms and descriptions used herein are set forth by way of illustration only and are not meant as limitations.  
10 Those skilled in the art will recognize that numerous variations are possible within the spirit and scope of the invention as defined in the following claims.  
What is claimed is:



**CLAIMS**

1. A set top terminal with microprocessor instructions for prompting generation of menus for use with a program  
5 delivery system with menu selection of programs, using a program signal containing programs and a program control information signal containing program identification and menu identification identifying the menu location for each program identification, the set top terminal comprising:  
10 means for receiving the program signal containing the programs and the program control information signal containing the program identification and the menu identification;  
demultiplexer means for demultiplexing the  
15 program signal into individual programs and the program control information signal into the program identification and the menu identification;  
instruction memory means for holding the microprocessor instructions for prompting generation  
20 of menus;  
a microprocessor, connected to the instruction memory, for executing the microprocessor instructions for prompting generation of menus;  
menu memory means, connected to the  
25 microprocessor, for storing information used to generate menus wherein the program identification and the menu identification is stored;  
means, connected to the microprocessor, for  
30 generating a menu from the stored information in the menu memory when prompted by the microprocessor;  
and.

means for commanding the microprocessor to prompt the menu generator means to generate a menu for display.

- 5        2.    The set top terminal of claim 1 wherein the means for commanding comprises a remote control for remotely commanding the microprocessor.
- 10       3.    The set top terminal of claim 1 wherein the individual programs demultiplexed from the program signal are in compressed form, the set top terminal further comprising:  
         a video decompressor for decompressing the individual programs.
- 15       4.    The set top terminal of claim 1 wherein the program control information signal is in digitally compressed form, the set top terminal further comprising:  
         a decompressor for decompressing the program control information signal.
- 20       5.    The set top terminal of claim 1 wherein the individual programs are encrypted, the set top terminal further comprising:  
         a decryptor to decrypt one or more of the  
25       individual programs from the program signal to produce one or more decrypted programs; and  
         a tuner for tuning to at least one of the decrypted programs for display.
- 30       6.    A card for increasing the functionality of a set top converter for use with program delivery systems providing program control information, wherein the card generates

menus using the program control information and menu generation instructions, the card comprising:

instruction memory means for storing menu generation instructions;

5 menu memory means for storing the program control information;

a processor for executing the menu generation instructions stored in the instruction memory means;

10 means, connected to the processor, for generating menus using the stored program control information and executed menu generation instructions;

15 means, connected to the menu generation means, for communicating the generated menu to the set top converter.

20 7. The card of claim 6 wherein the generated menus contain menu graphics, and wherein the means for generating menus comprises a graphics controller for generating the menu graphics.

8. The card of claim 6 wherein the card receives video from the set top converter and the generated menus contain the video, the card further comprising:

25 a means for receiving the video and transmitting the video to the means for generating menus; and

wherein the means for generating menus comprises a video combiner for combining the generated menu with the transmitted video.

30

9. The card of claim 6 wherein the processor comprises a PC Chip for executing the menu generation instructions.

10. The card of claim 6 wherein the menus are generated with three separate video signals each having a different color, the card further comprising:
- 5 converter means, connected to the means for generating menus, for converting the three separate video signals into a single video signal to be communicated to the set top converter.
- 10 11. The card of claim 6 adapted for telephone communications with the program delivery system wherein the card further comprises a means for completing the telephone communications with the program delivery system.
- 15 12. The card of claim 6 further comprising:  
a Radio Frequency receiver means for receiving the program control information for storage.
- 20 13. The card of claim 6 wherein the program control information signal is received in compressed format, the card further comprising a decompressor for decompressing the program control information.
- 25 14. The card of claim 6 wherein the set top converter sends commands to the card, the card further comprising:  
logic means, connected to the processor, for sending the commands to the processor, the logic means comprises:  
means for receiving commands from the set top converter; and
- 30 means, connected to the receiving means, for interpreting the commands.

15. The card of claim 14 wherein the logic means further comprises means for returning the commands to the set top converter.
- 5 16. The card of claim 15 wherein the commands from the set top converter are infrared commands which originate from a remote control, and the logic means further comprises means for modifying the infrared commands.
- 10 17. A set top terminal for a television with processor instructions on menu sequencing for use with a television program delivery system with menu selection of television programs from a plurality of menus, using a program control information signal containing program identities and menu
- 15 locations for the program identities, comprising:  
means for receiving the program control information signal containing the program identities and the menu locations for the program identities;  
a menu memory which stores the program
- 20 identities and menu locations for the program identities;  
an electronic memory which stores processor instructions on menu sequencing;  
means, connected to the electronic memory, for
- 25 generating the plurality of menus displaying the program identities used to select a television program, using the program identities and the menu locations for the program identities stored in the menu memory;  
processor means, connected to the generating
- 30 means, for sequencing between the plurality of menus to display one menu at a time on the television using the stored processor instructions on menu sequencing.

wherein at least one of the sequence of menus displayed shows the program identities; and

means for selecting one of the program identities from one of the displayed menus.

5

18. The set top terminal of claim 17 wherein the displayed menu has a cursor overlay and wherein the means for selecting a television program comprises a remote control device with directional buttons for moving the cursor overlay to assist in selecting a television program identity from the displayed menu.

10

19. The set top terminal of claim 17 wherein the program control information also includes time of day information and wherein the means for generating the plurality of menus further comprises means for generating the time of day information on each menu.

15

20. A set top terminal with executable instructions for use with a program delivery system with menu selection of programs from a plurality of menus, using a combined signal including compressed video and a program control information signal with program identities, the menus including an introductory menu, a home menu, major menus, and submenus, comprising:

20

25

means for receiving the combined signal including the compressed video and the program control information signal for processing;

30

a demultiplexer means for demultiplexing the combined signal into compressed video and into the program control information signal;

an electronic memory which stores executable instructions;

5 means, connected to the electronic memory, for generating menus including an introductory menu, a home menu, and at least one major menu, and submenu using the program identities of the program control information signal wherein the submenus include program identities;

10 means, connected to the generating means, for sequencing between menus, including sequencing between the introductory menu, home menu, major menus, and submenus using the executable instructions;

15 means for selecting a program identity from a submenu; and

20 a video decompressor means coupled to the demultiplexer for decompressing the compressed video wherein the decompressed video corresponds to the program identity selected from the submenu.

21. The set top terminal of claim 20 wherein the means for generating menus comprises a video combiner for combining video and with generated submenus.

25 22. The set top terminal of claim 20 wherein the means for generating menus further comprises means for generating during program menus including hidden menus and overlay menus and wherein the means for sequencing between menus includes means for sequencing between during  
30 program menus and submenus.

23. The set top terminal of claim 20 wherein the means for selecting a program from a submenu comprises a user interface with a plurality of buttons.

5 24. The set top terminal of claim 23 wherein the user interface further comprises a means for affecting the sequencing between menus.

10 25. A television set top terminal with executable instructions for use with a program delivery system with menu selection of programs from a plurality of menus, using a program control information signal with program identities, a cursor movement button and a go button, the television set top terminal comprising:

15 means for receiving the program control information signal;

an electronic memory which stores executable instructions;

20 means, connected to the electronic memory and receiving means, for generating menus including an introductory menu, a home menu, and at least one major menu, and a submenu with program identities, using the stored executable instructions and the program identities contained in the program control information signal, wherein the generating means

25 creates a movable cursor overlay for overlaying the program identities on the submenu;

means, connected to the generating means, for selecting a program comprising:

30 a user interface means including a cursor movement button and a go button;



means, electronically connected to the user interface means, for sequencing between menus, including sequencing between the home menu, major menu, and submenu; and

5 means for selecting a program from a submenu by moving the cursor overlay with the cursor movement button to overlay a program identity and depressing the go button.

10 26. The set top of claim 25 wherein the sequencing means further comprises:

means for sequencing between menus using the go button.

15 27. A method for generating menu displays with a set top terminal and television display for use with a program delivery system with a text signal and menu selection of programs from a plurality of menus, wherein portions of the graphics and text for the menus are stored in files including  
20 background graphics files, logo graphics files, menu display and cursor graphics files, comprising the steps of:

generating menu graphics for display comprising the steps of:

25 fetching background graphic files and generating background graphics;

fetching logo graphics files and generating logo graphics; and

30 fetching menu display and cursor graphic files and generating the menu display and cursor graphics;

generating menu text for display comprising:

fetching text files and generating menu text;

receiving text from the program delivery system text signal and generating menu text;

5 combining the generated menu graphics and the generated menu text; and

displaying the combined graphics and text as a menu.

10 28. The method of claim 27 wherein the program delivery text signal is a component of a program control information signal, wherein the step of receiving a text signal from the program delivery system comprises:

15 receiving a program control information signal; and  
extracting the text signal including text for program names from the program control information signal.

20 29. A method for generating menu displays for a television with a set top terminal for use with a program delivery system with menu selection of programs from a plurality of individual menus, using executable instructions and compressed files stored in memory including background, logo, menu display and cursor graphic files, as well as long, intermediate and short term compressed text files,

25 comprising the steps of:

executing the stored executable instructions to initiate the generation of a menu for display;

generating menu graphics for display comprising the steps of:

30 fetching background graphic files and decompressing background graphics files;

- fetching logo graphics files and  
decompressing logo graphics files; and  
fetching menu display and cursor graphic  
files and decompressing the menu display and  
cursor graphics files;  
5 generating menu text for display comprising:  
fetching and decompressing the long,  
intermediate, and short term text files;  
combining the generated menu graphics files and  
10 the generated menu text files; and  
displaying the combined menu graphics and menu  
text files as a menu on the television.
30. The menu generation method of claim 29, wherein the  
15 program delivery system delivers video channels, the  
combining step further comprising the step of:  
combining video with the generated menu graphics and  
the generated menu text files comprising the steps of:  
selecting a video channel;  
20 decompressing the video channel into video;  
scaling the video to change its size; and  
redirecting the video to change its projected  
location on the television.
- 25 31. The menu generation method of claim 29 wherein still  
video is stored in memory, further comprising the step of:  
still video picture generation for menu display  
comprising the steps of:  
fetching a still video picture stored in memory;  
30 decompressing the still video picture; and  
sending the decompressed still video picture to  
the combining means; and

wherein the combining means further comprises means for combining decompressed still video.

- 5 32. A method for generating a menu with video for use with a set top terminal in a program delivery system with menu selection of programs from a plurality of individual menus, using a program signal with a split screen video channel, comprising the steps of:
- 10 choosing a split screen video channel from the program signal;  
decompressing the split screen channel of the program signal;  
selecting the desired portion of video on the split screen channel;  
15 creating a mask of all the portions of the split screen channel which are not selected;  
overlaying the mask on the split screen video channel;  
20 overlaying menu graphic information on the masking;  
overlaying text information on the graphics and masking; and  
displaying the overlays as a menu.

- 25 33. The method of claim 32 further comprising the step of combining the video, mask and text before display.

- 30 34. A method of sequencing menus on a television screen for selecting television programs in a program delivery system with set top terminal menu generation accomplished with a microprocessor responding to subscriber key entries, where the set top terminal receives packaged television

programs including program control information, the menus generated by the set top terminal including an introductory menu, a home menu, a major menu, a submenu, and overlay menu and a hidden menu, the microprocessor generating the menus using software, the method comprising the steps of:

5                   determining if a packaged program signal is being received by the set top terminal;  
                  generating and displaying an introductory menu;  
                  awaiting subscriber key entry;

10                  determining whether to decompress a packaged video signal or display a menu based on subscriber key entry;

                  generating and displaying the menus including at least one home menu, major menu, submenu for a subcategory, program list submenu, program

15                  description submenu, or confirmation submenu to confirm the packaged program selected;

                  decompressing the selected packaged program video to produce decompressed video;

20                  displaying the decompressed video;

                  creating and producing one of the overlay menus for display in addition to the decompressed video; and

                  executing the software at the microprocessor for the hidden menu during display of the decompressed

25                  video.

35.   The method of claim 34 wherein the step of generating and displaying further comprises the steps of:

                  fetching the universal background graphics file for

30                  the menu;

                  decompressing the fetched universal background file to create the menu background;

fetching the logos graphics file for the menu;  
decompressing the fetched logos graphics file to  
create logos; and  
combining the menu background and logos.

5

36. The method of claim 34 wherein the step of generating  
and displaying a major menu comprises:

fetching the universal background graphics file for  
an upper sash;

10

fetching the universal background graphics file for  
a lower sash;

decompressing the fetched universal background  
files to create the major menu background;

15

fetching the network logo graphics file for the  
major menu;

fetching other logo graphics files for the major  
menu;

decompressing the fetched logos graphics files to  
create the major menu logos;

20

combining the major menu background and major  
menu logos;

fetching the cursor highlight graphics file;

decompressing the cursor highlights graphics file  
to create the cursor highlights; and

25

combining the cursor highlights with the major  
menu background and the major menu logos.

37. The method of claim 34 further comprising the steps  
of:

30

fetching a major menu icon graphics file from  
memory; and

decompressing the major menu icon graphics file  
to create a major menu icon.

5 38. The method of claim 34 further comprising the step of  
presenting the overlay menus during program with icons.

39. A method of sequencing menus on a television screen  
for selecting television programs in a program delivery  
system with set top terminal menu generation, where the set  
10 top terminal receives packaged television programs including  
program control information, the menus generated by the set  
top terminal including an introductory menu, a home menu, a  
major menu, a submenu, and an overlay menu, comprising the  
steps of:

15 determining if a packaged program signal is being  
received by the set top terminal;  
generating and displaying an introductory menu;  
awaiting subscriber key entry;  
determining whether to decompress a packaged  
20 video signal or display a menu;  
generating and displaying the menus including at  
least one home menu, major menu, submenu for a  
subcategory, program list submenu, program  
description submenu, or confirmation submenu to  
25 confirm the packaged program selected;  
decompressing the selected packaged program  
video;  
decompressing the selected packaged program  
audio;  
30 generating the overlay menu;  
combining the decompressed video and the  
overlay menu in a combiner;

displaying the combined video and the overlay menu.

5       40. A method for choosing an available start time for programs with multiple start times for use with a set top terminal in a program delivery system with a plurality of television channels, menu generation and selection of the programs with multiple start times using a plurality of menus, each program with multiple start times available for viewing  
10       on a channel group of the plurality of television channels upon subscriber selection, wherein the selected program with multiple start times is available for viewing at staggered start times, the method comprising the steps of:

15       receiving the programs with multiple start times for viewing on the plurality of television channels;

      processing the subscriber selection of one of the programs with multiple start times;

20       determining the channel group of the plurality of television channels carrying the selected program with multiple start times;

      examining the staggered start times for the selected program with multiple start times on the channel group to find the available start times; and

25       choosing one of the available start times for the selected program with multiple start times.

30       41. The method of claim 40 wherein subscriber is not viewing one of the television channels in the channel group of the selected program with multiple start times, wherein the menu generation includes overlay menus, and wherein the choosing step comprises the steps of:



generating and displaying one of the overlay menus, wherein the overlay menu displayed counts down the time remaining for the chosen start time; and automatically switching the television channel to the television channel carrying the selected program with the chosen start time once the chosen start time is sufficiently near in time.

42. The method of claim 40 wherein the selected program may be joined in progress during available intervals of time, and wherein the choosing step comprises:  
calculating the available intervals of time using the available start times;  
displaying the available intervals of time; and  
selecting one of the displayed intervals of time.

43. A set top terminal bill display system for displaying the current program selection charges with a menu for a set top terminal with menu generation and selection of programs using a plurality of menus, wherein a received program control information signal contains cost data on the cost of each selected program, the system comprising:

means for determining which programs were selected on the plurality of menus;  
means for calculating the expenses by multiplying the selected programs with the cost data on the selected programs; and  
means for generating a menu displaying the selected program expenses.

44. A method for overlaying a menu over video for display of an overlay menu on a television, wherein the method is used

117

with a set top terminal with menu generation and program control information, comprising the steps of:

- acquiring a video signal for display of video;
- generating an overlay menu signal to display the
- 5 overlay menu using the program control information signal;
- transmitting the video signal and the overlay menu signal; and
- 10 displaying the combined video and menu overlay.

45. The method of claim 44, wherein the method is used with a set top terminal capable of displaying a logo in the overlay menu and wherein the step of generating the overlay menu comprises the step of generating a logo for display.

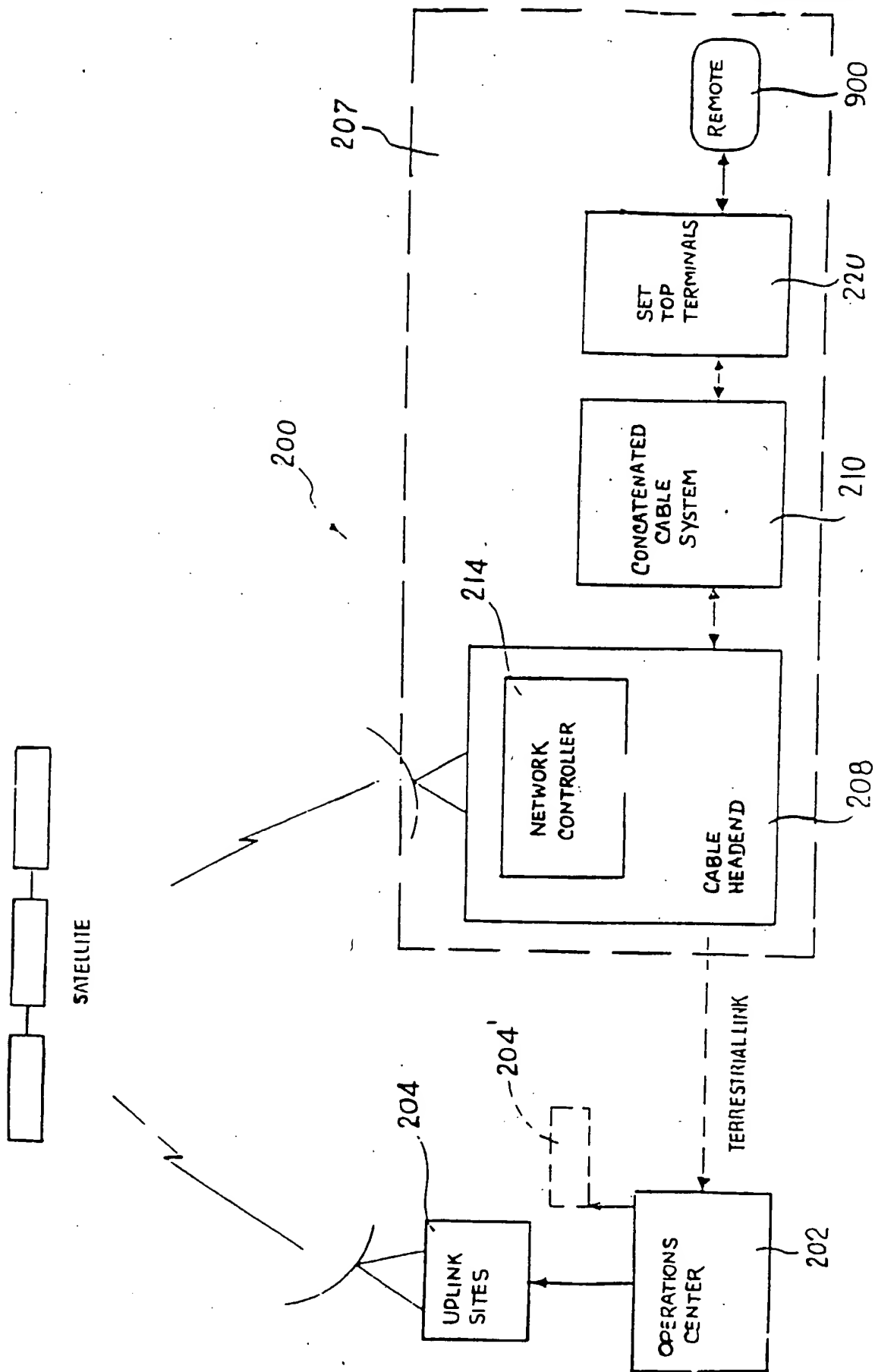


Fig. 1

2/61

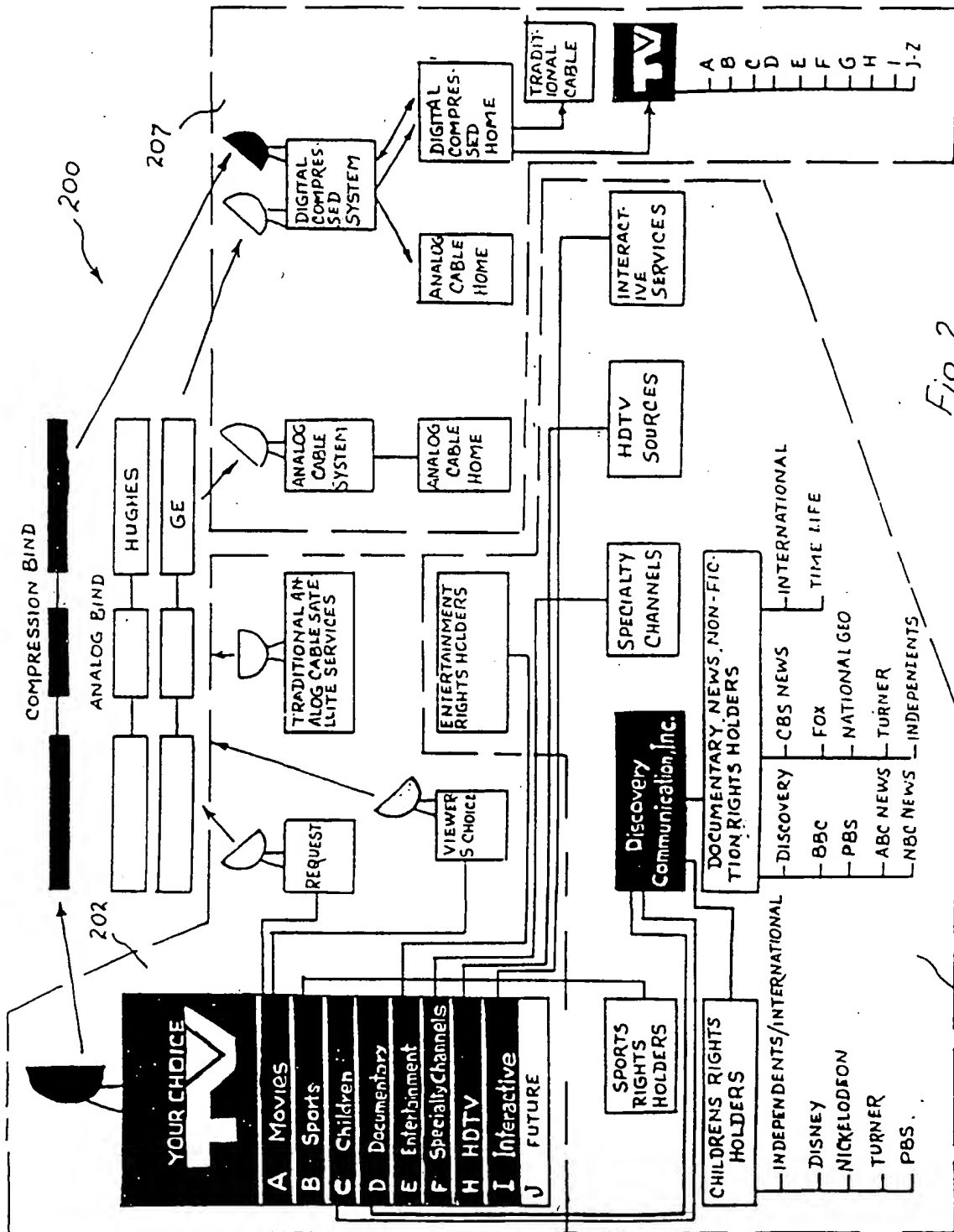


Fig. 2

2/2

3/61

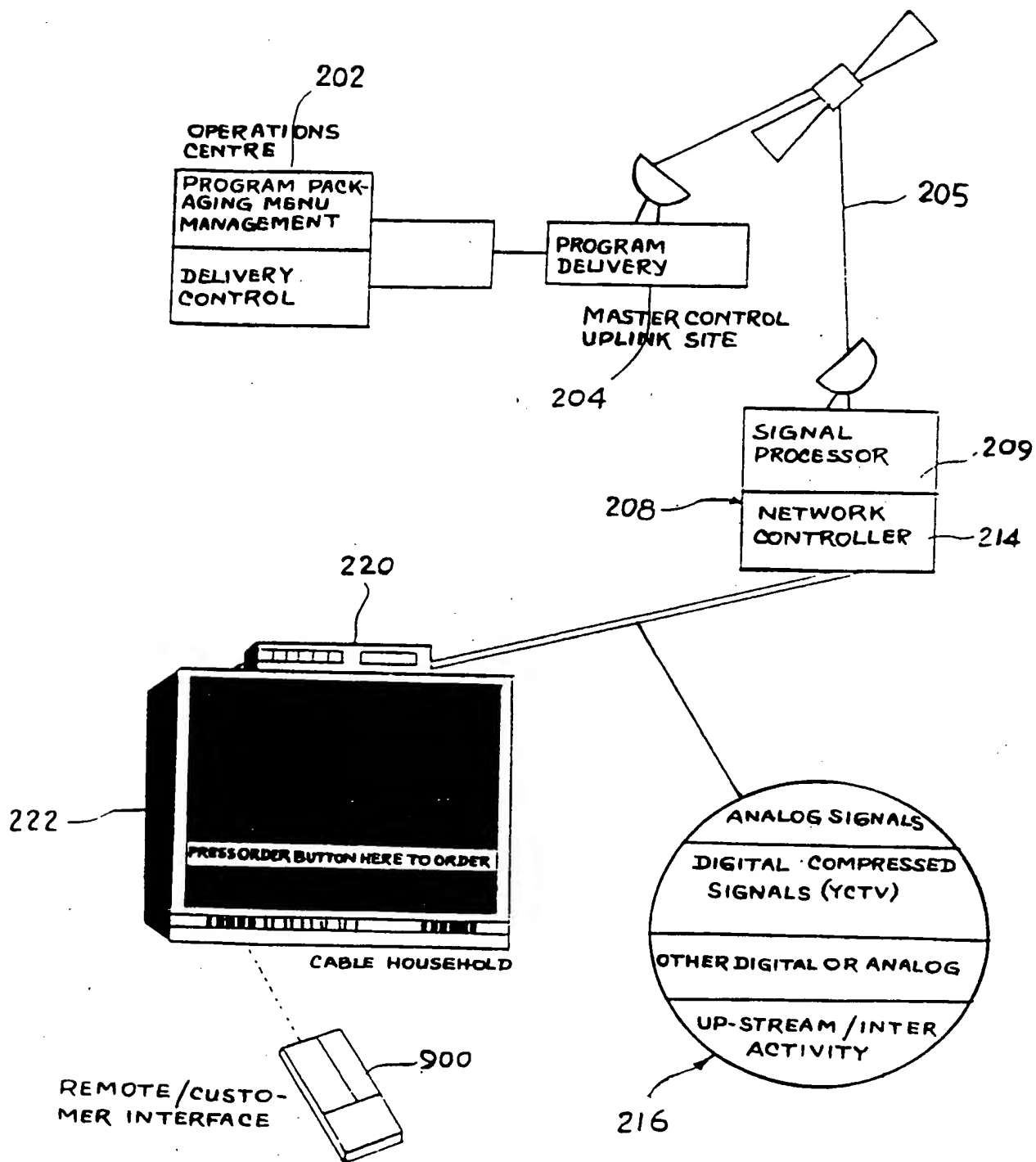
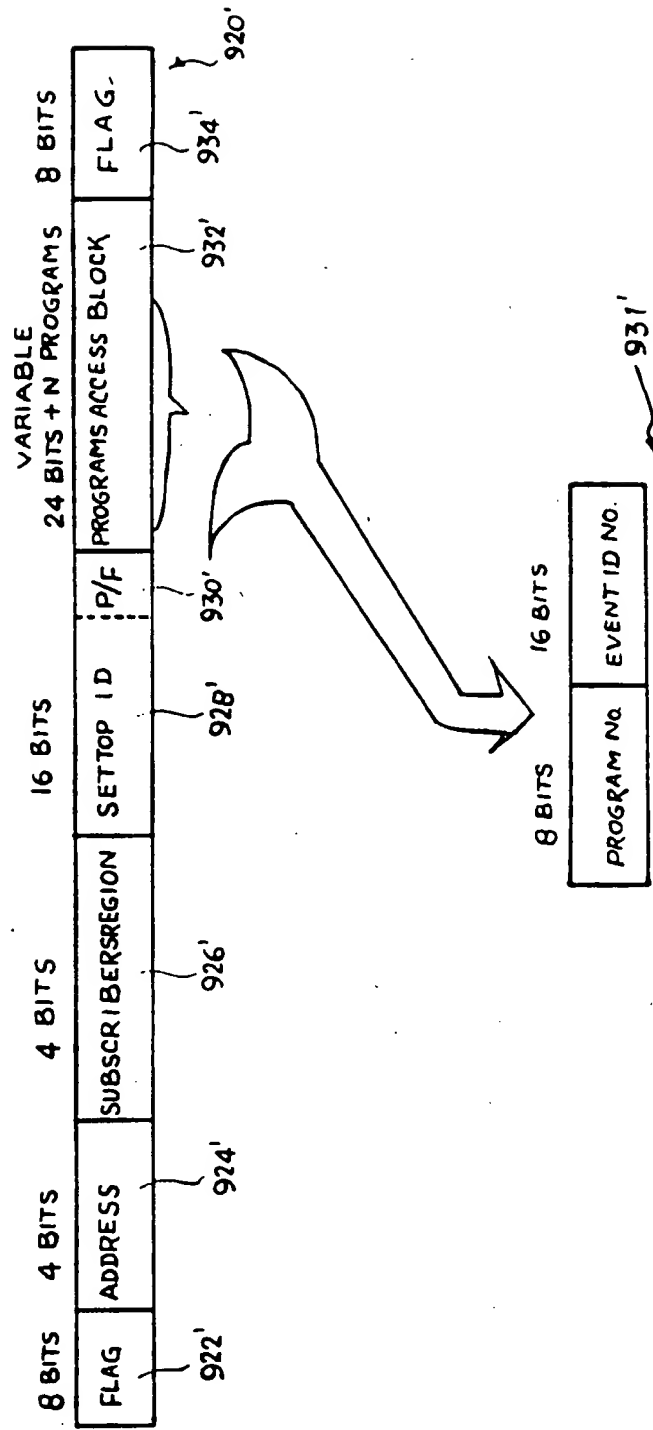
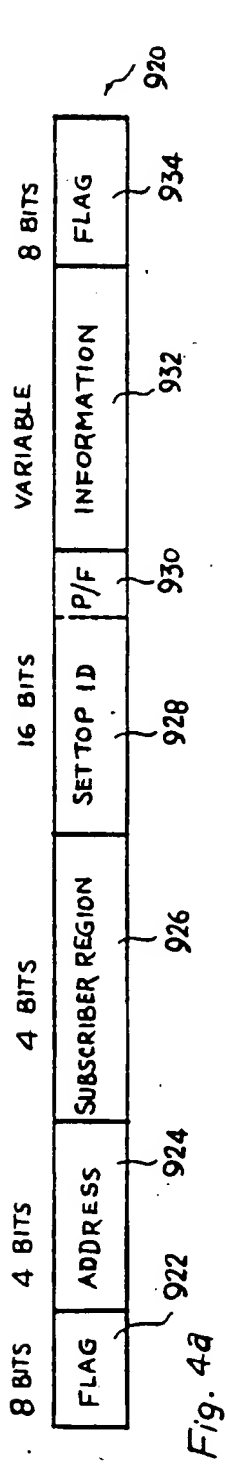


Fig. 3



5/61

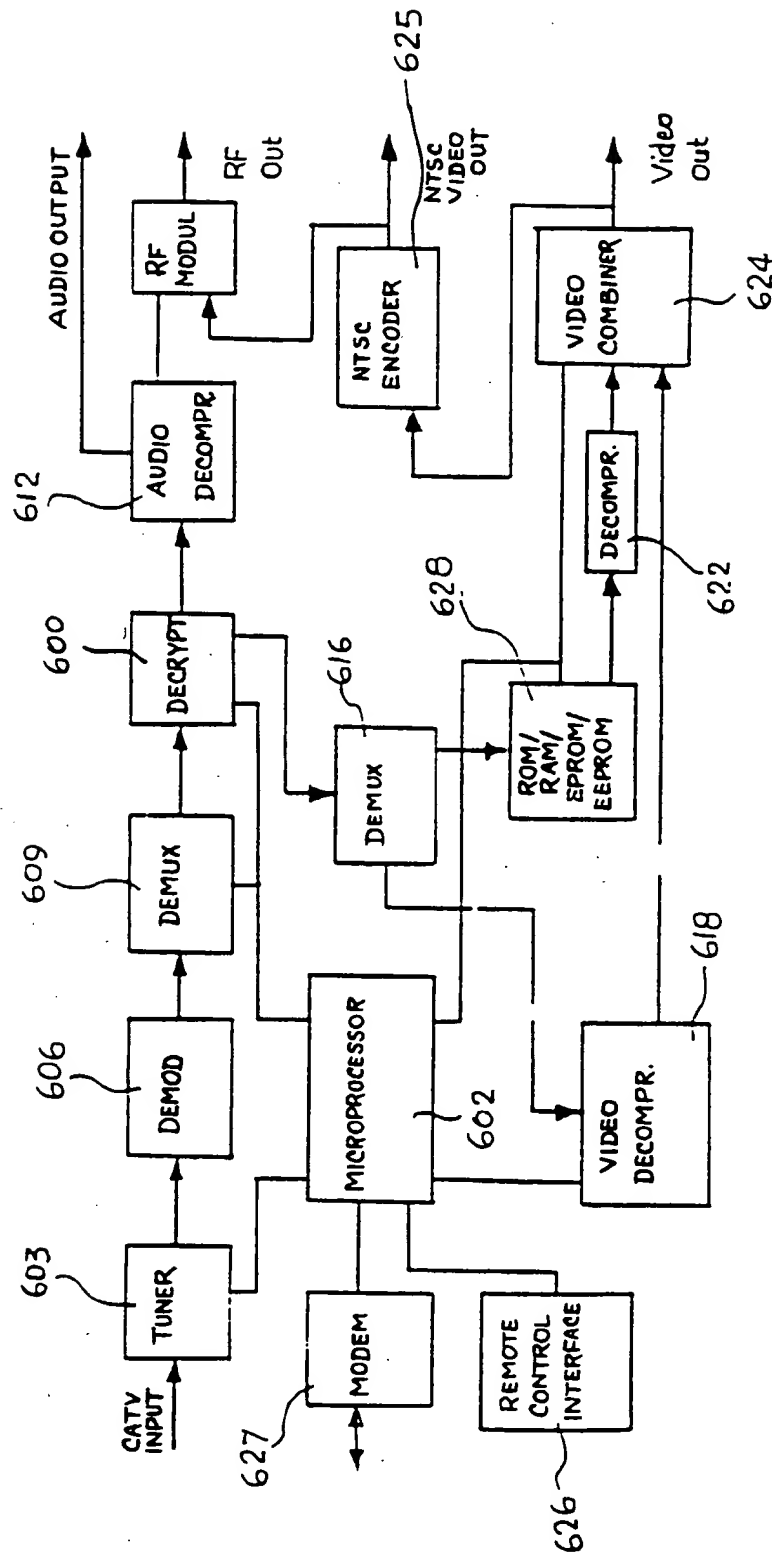
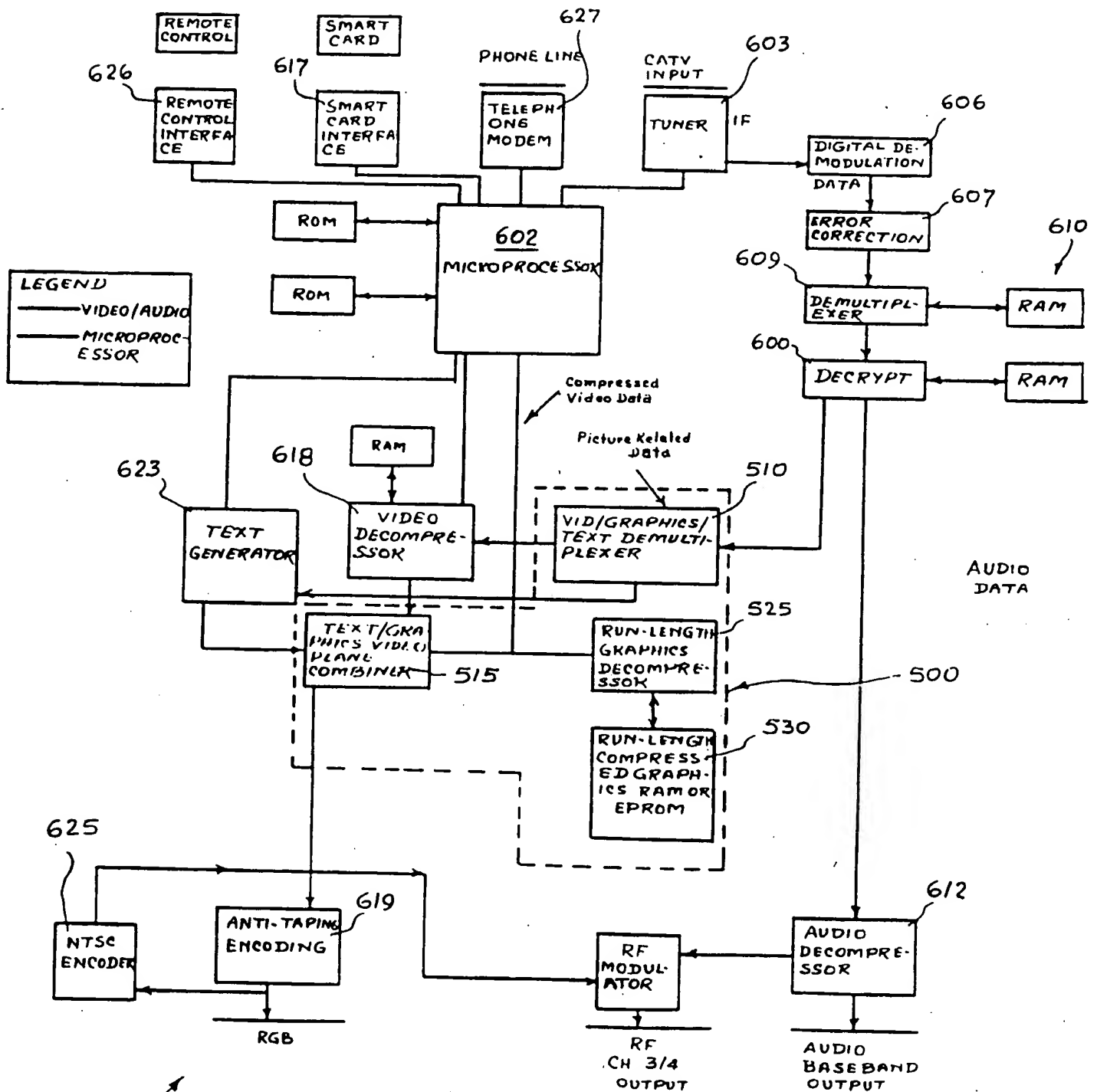


Fig. 5a

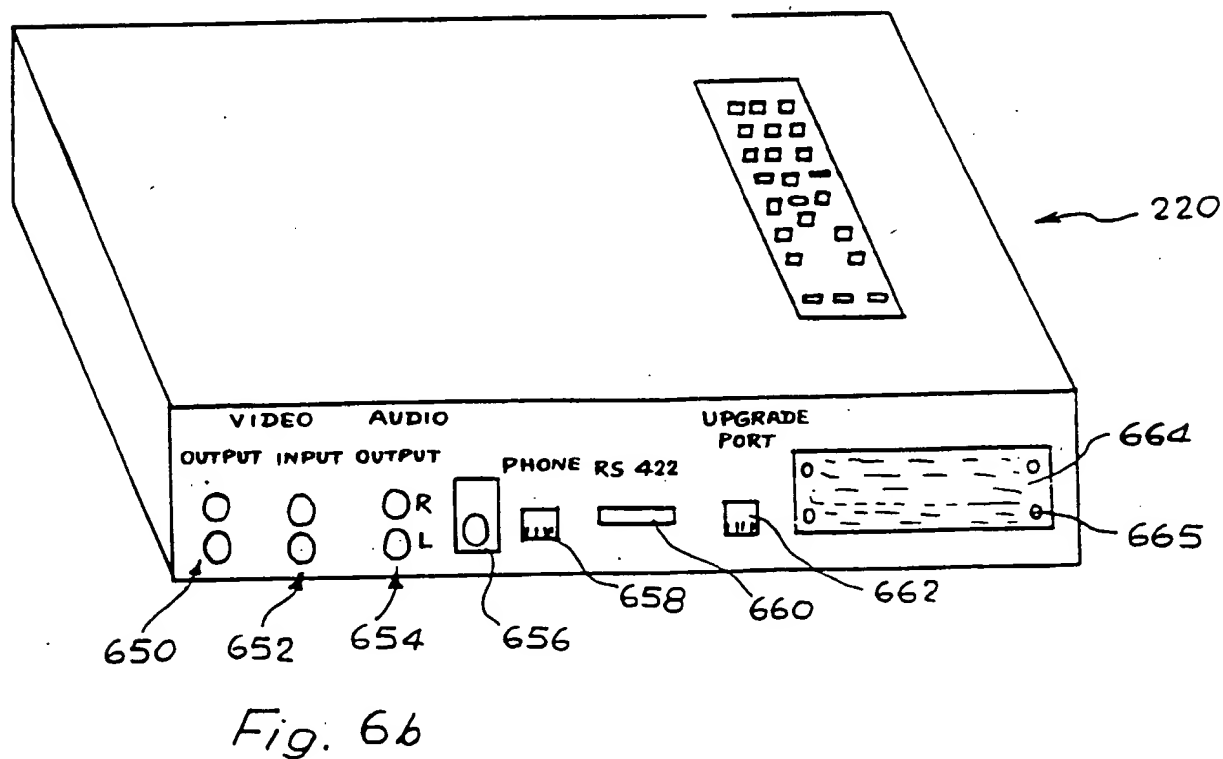
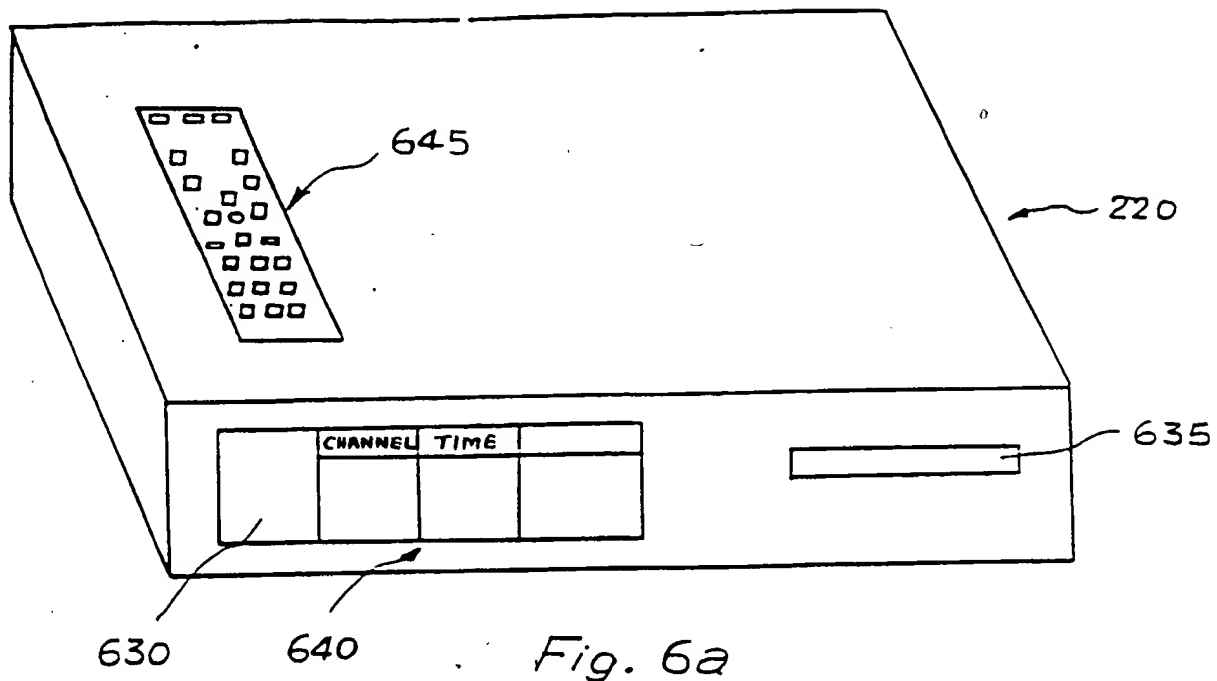
220

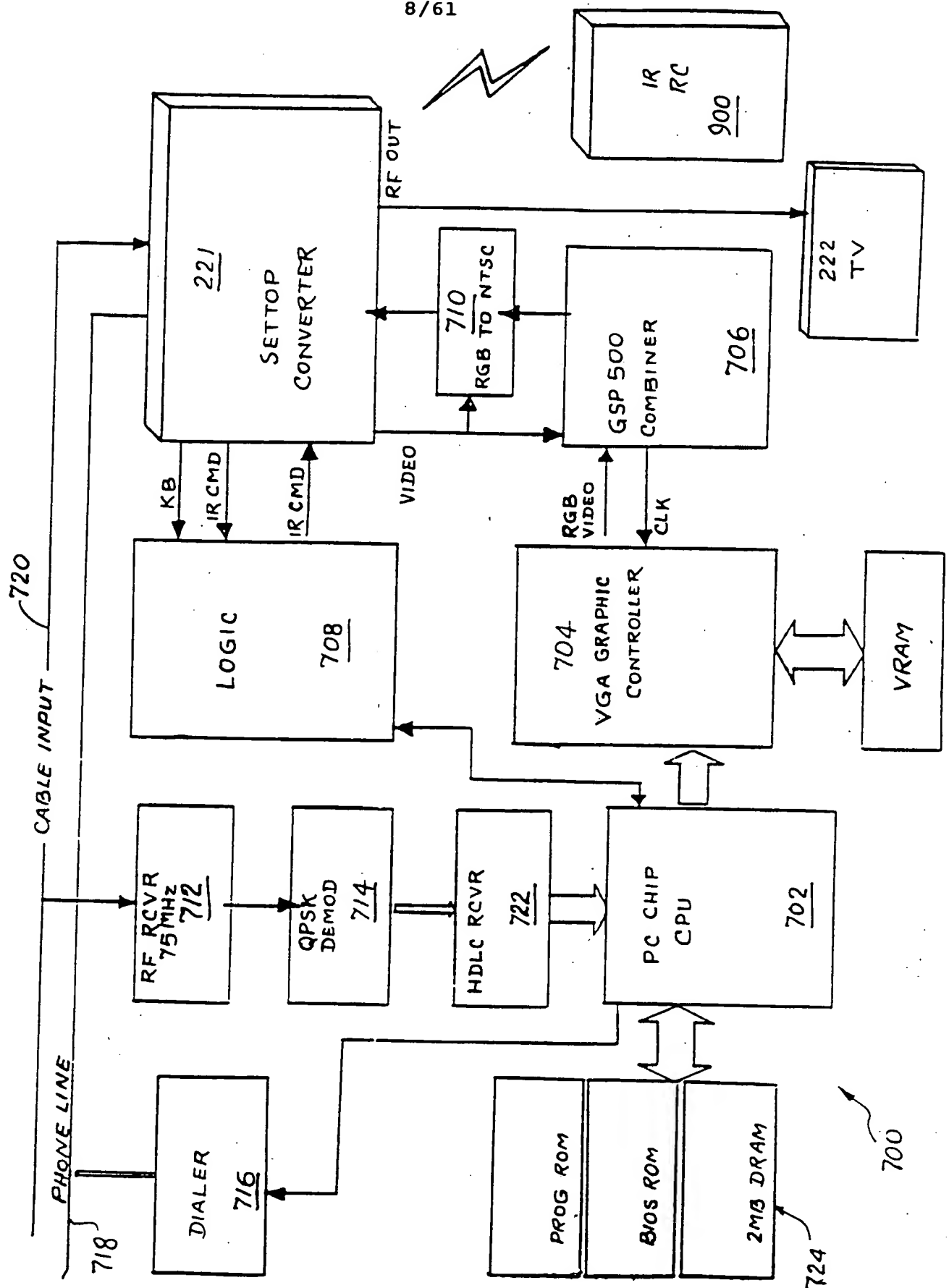


220'

Fig. 5b







9/61

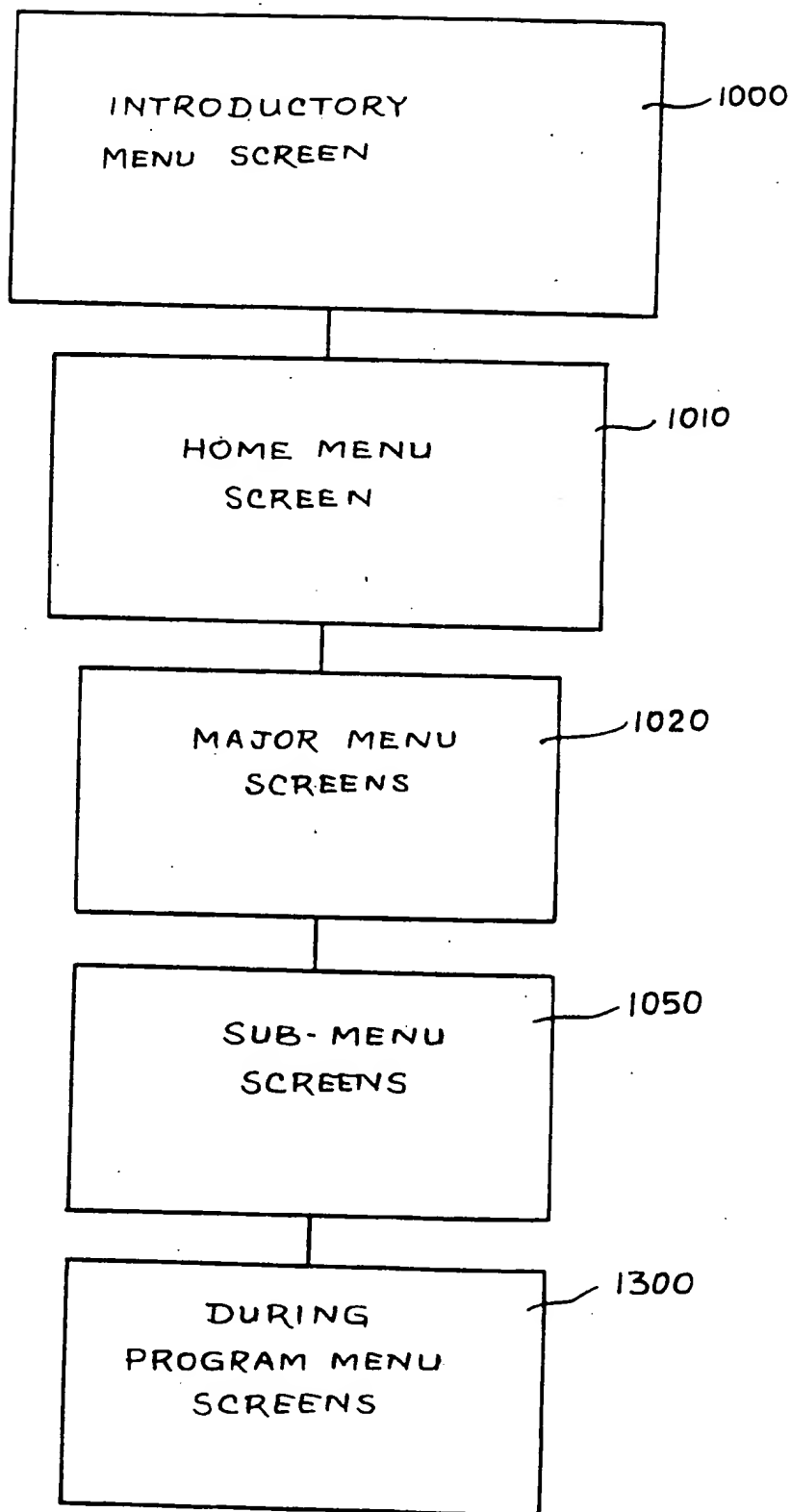


Fig. 8

10/61

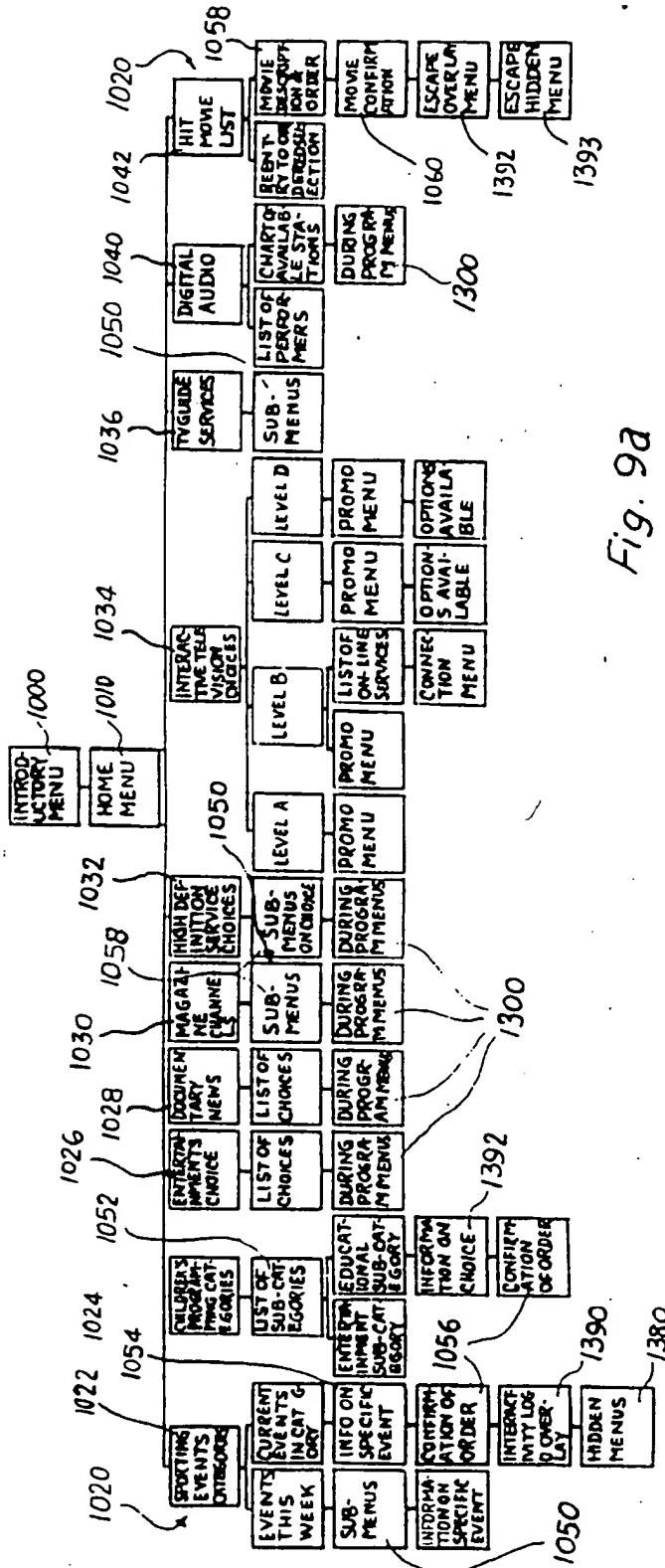


Fig. 9a

11/61

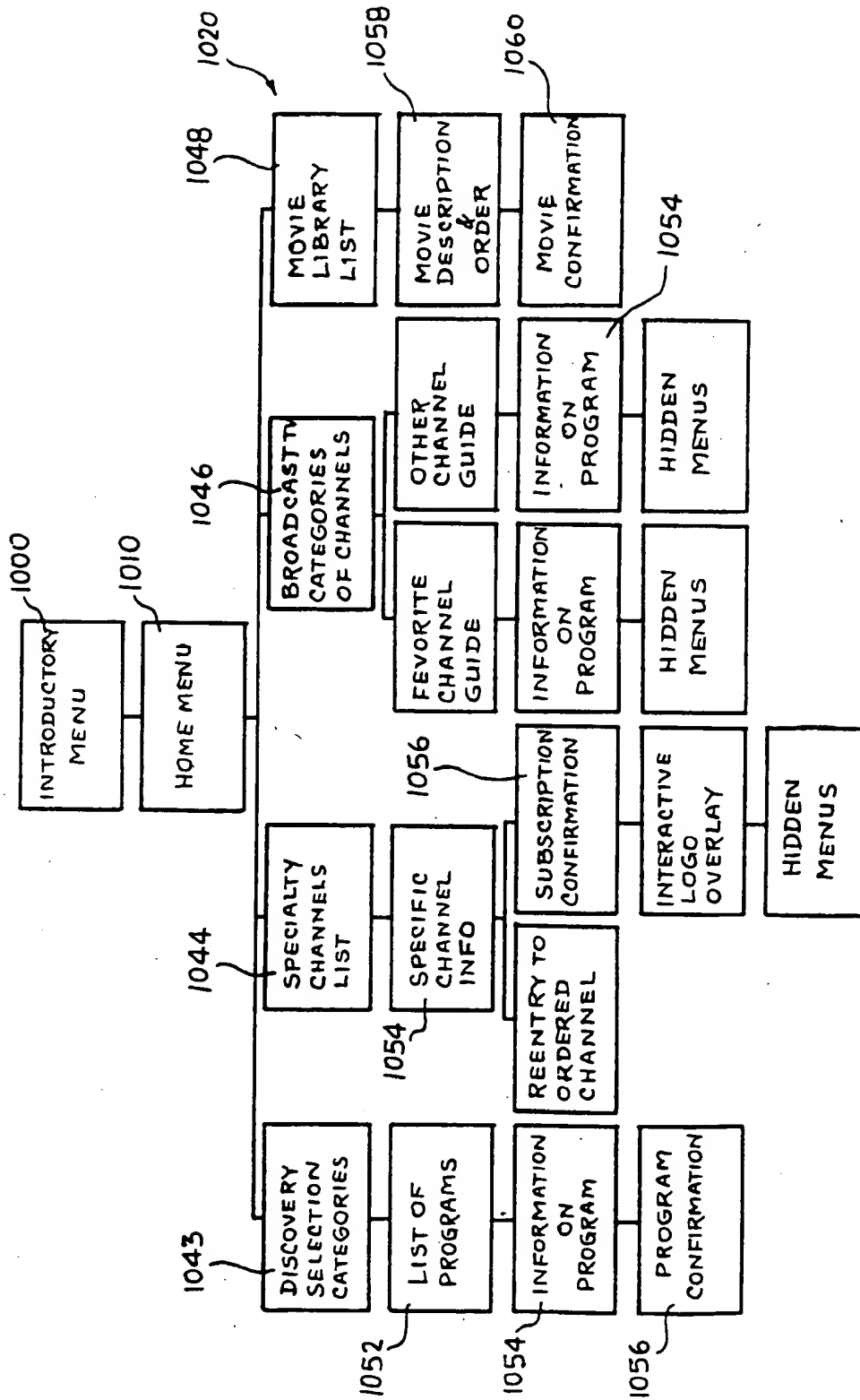


Fig. 9b

12/61

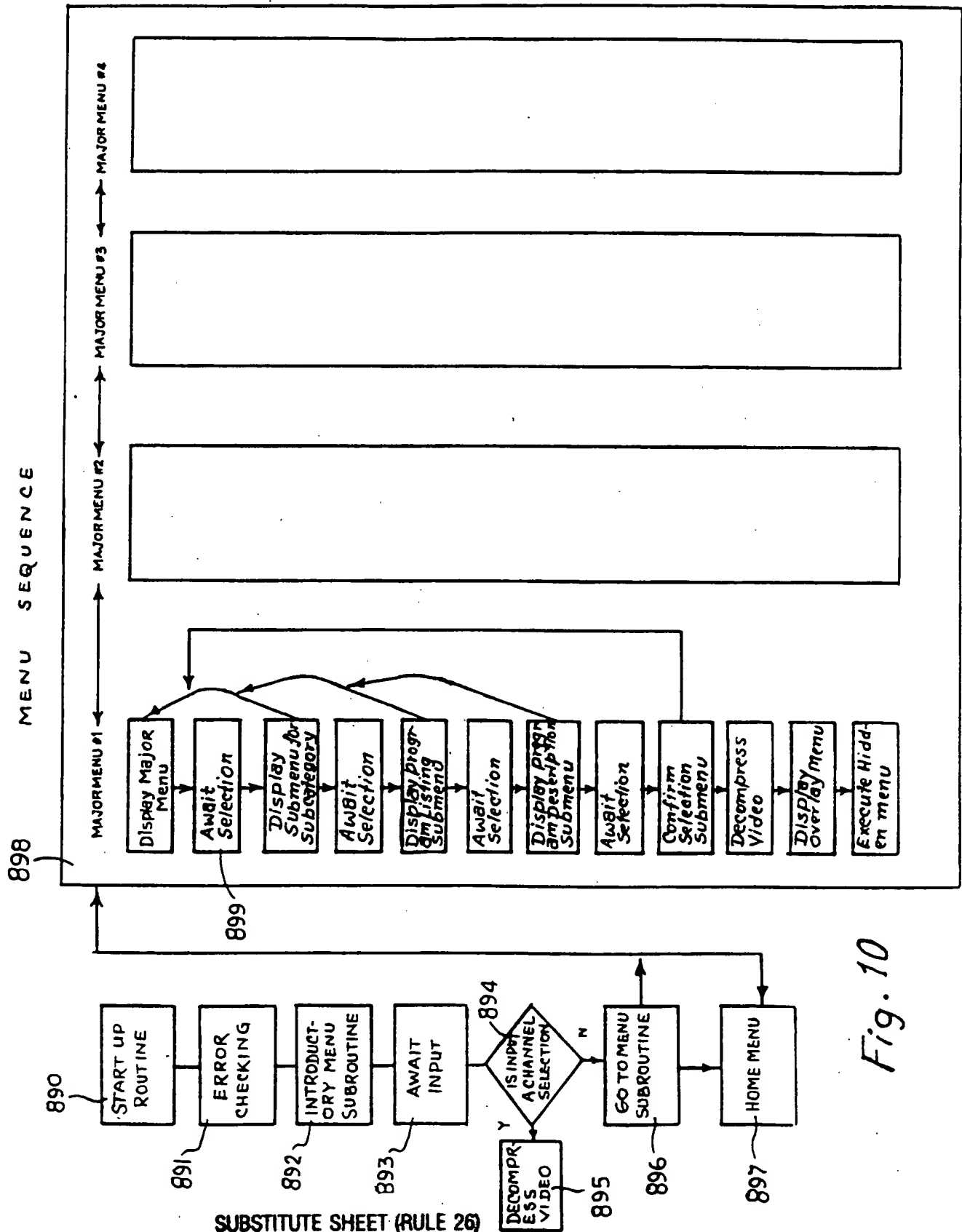
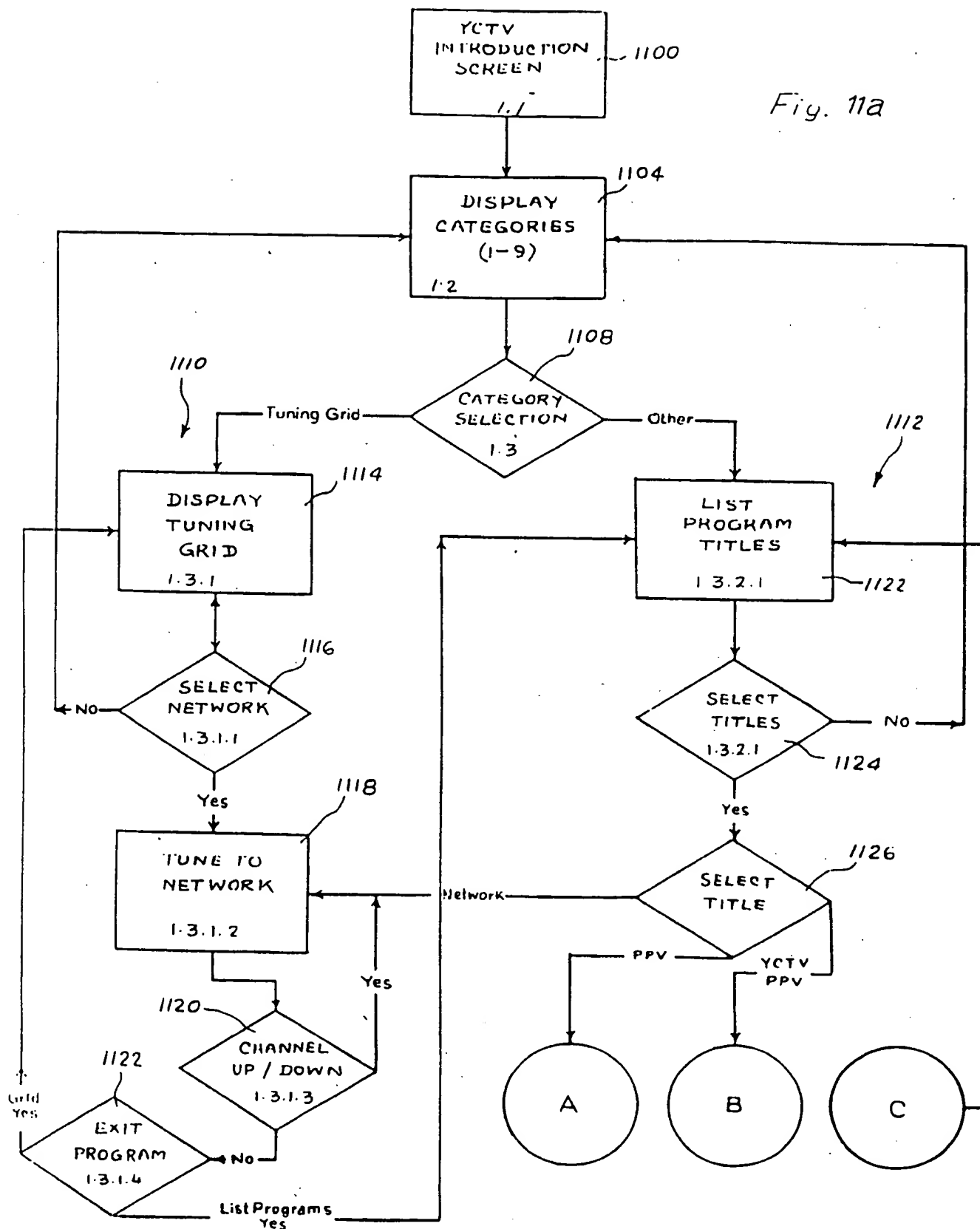


Fig. 10

13/61

Fig. 11a



14/61

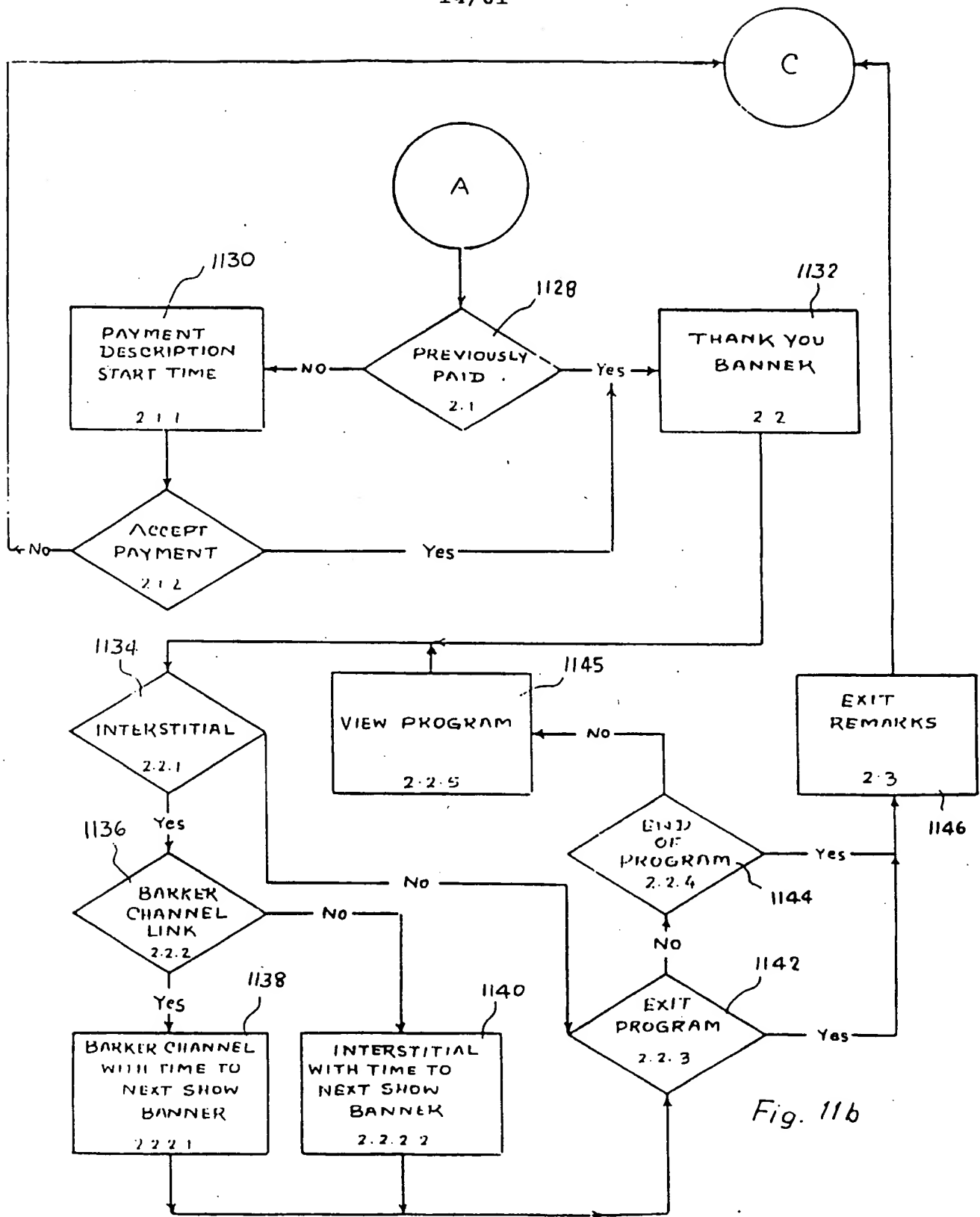


Fig. 11b



15/61

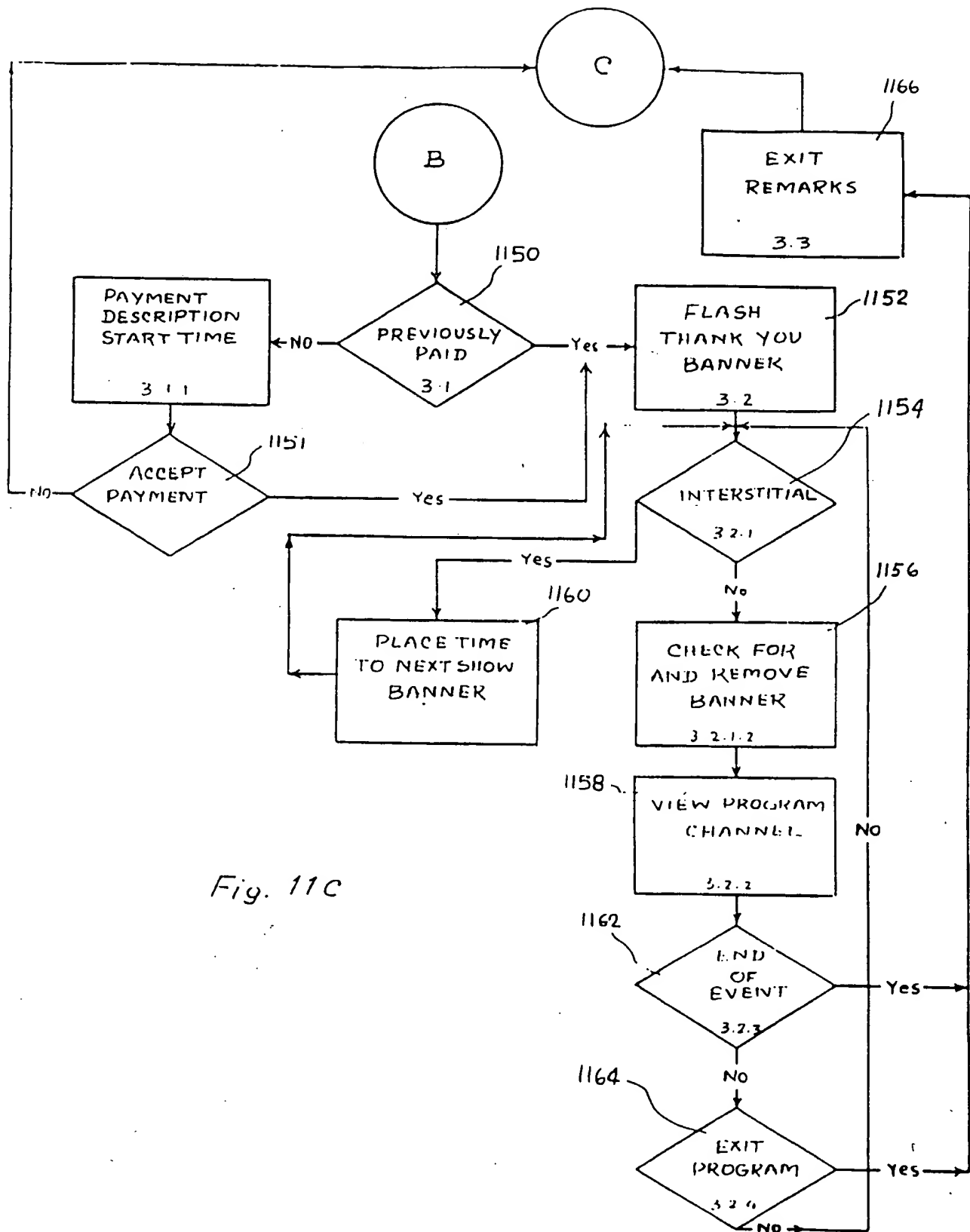
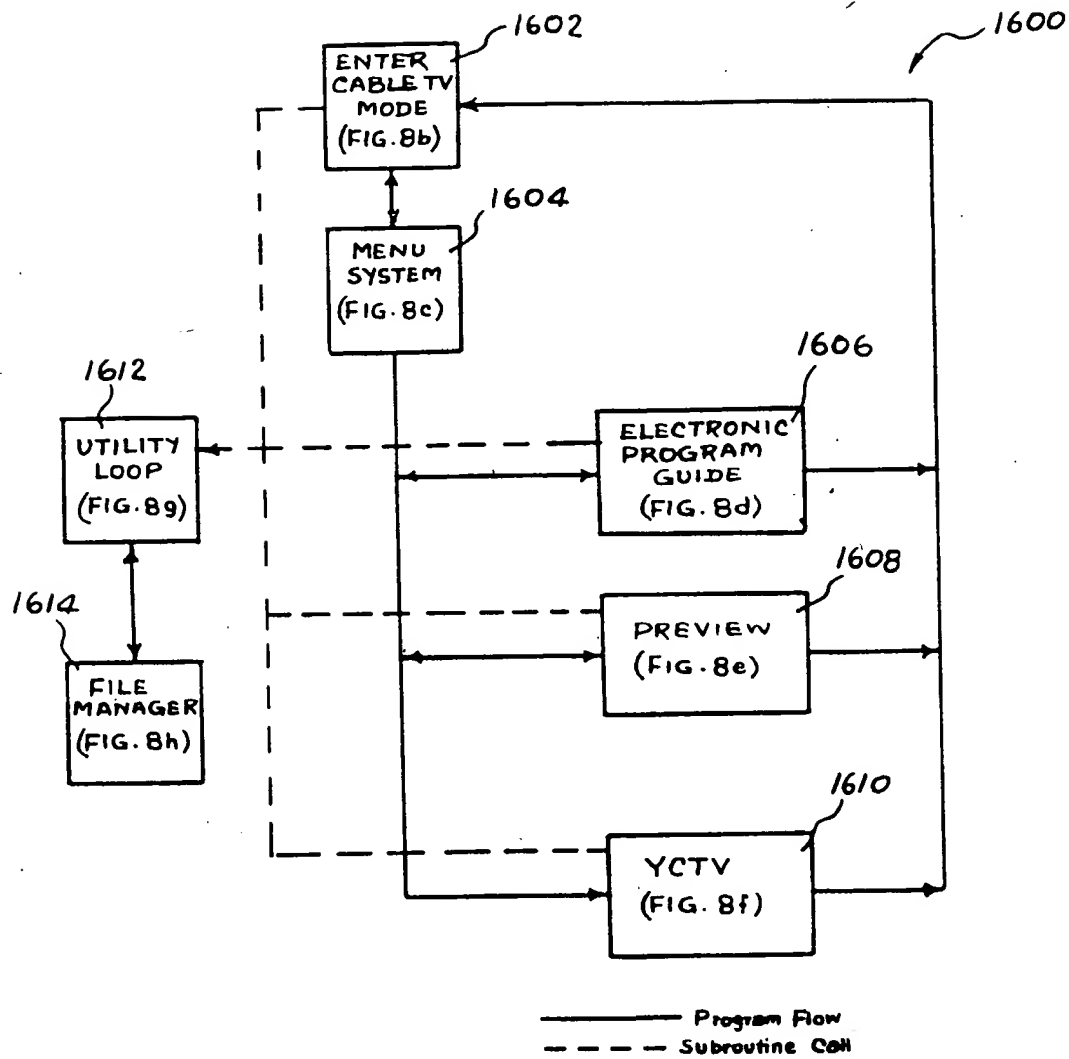


Fig. 11C

16/61



TURBO CARD SOFTWARE FLOW OVERVIEW

Fig. 12a

17/61

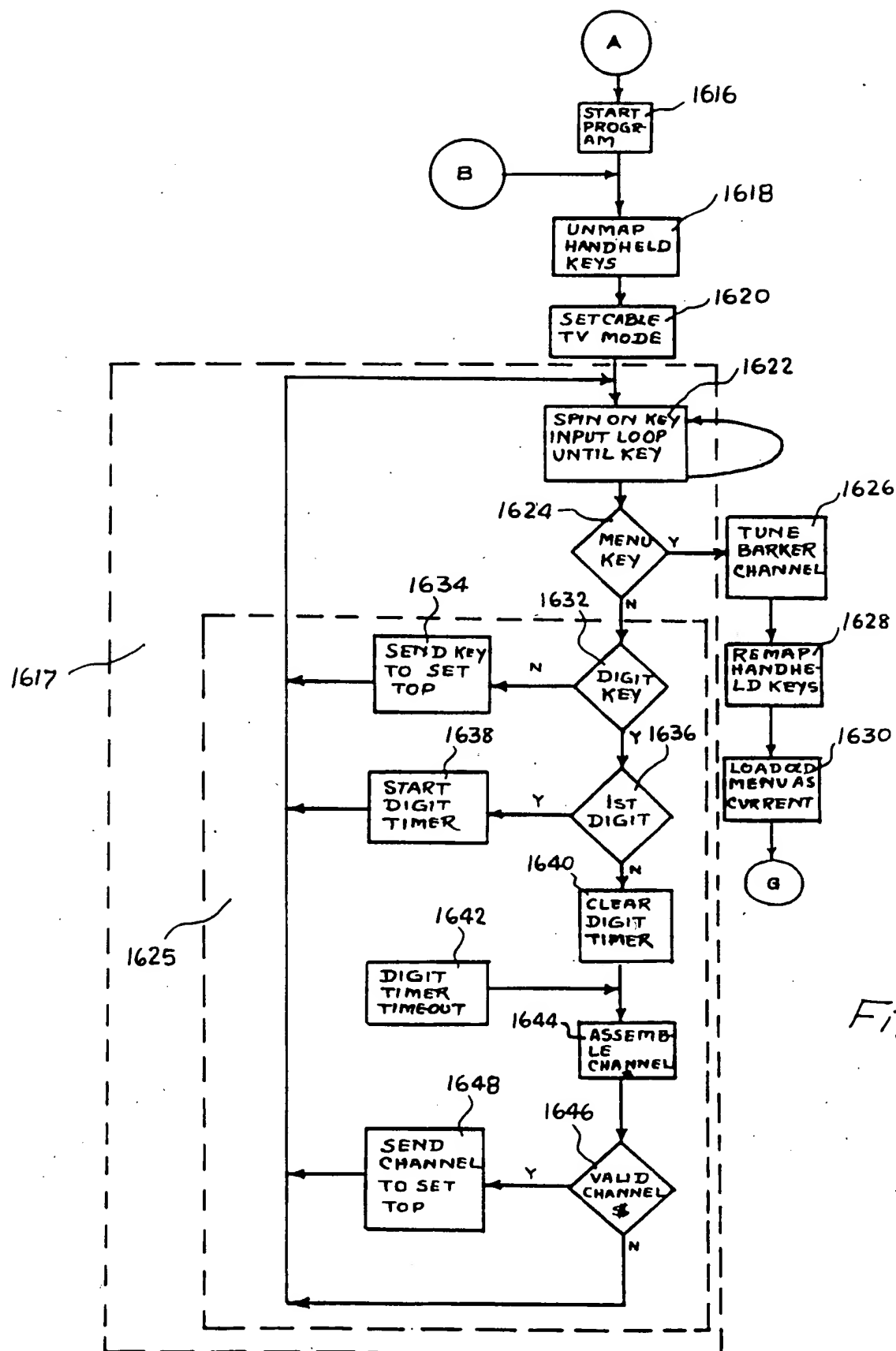


Fig. 12b

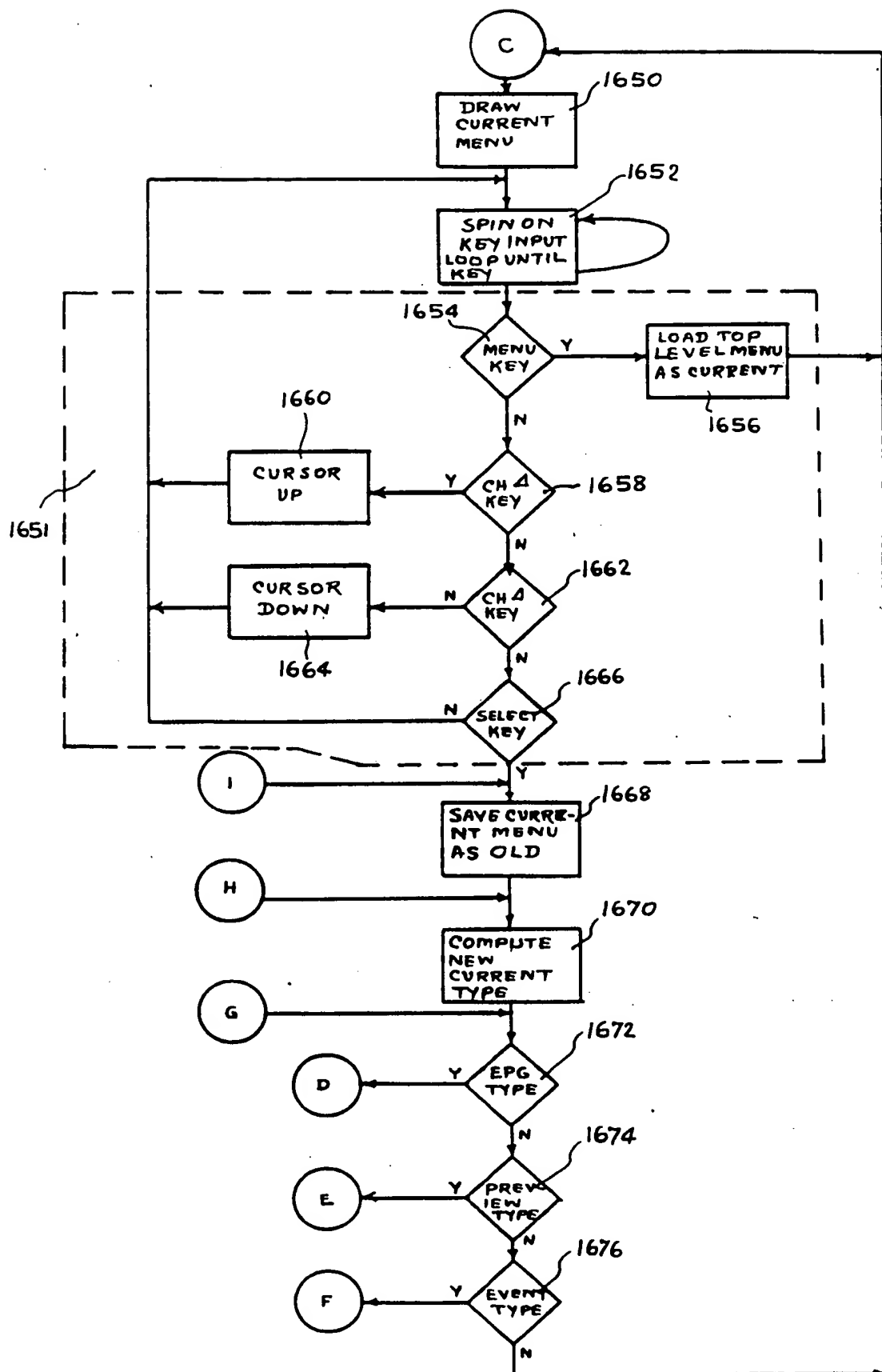
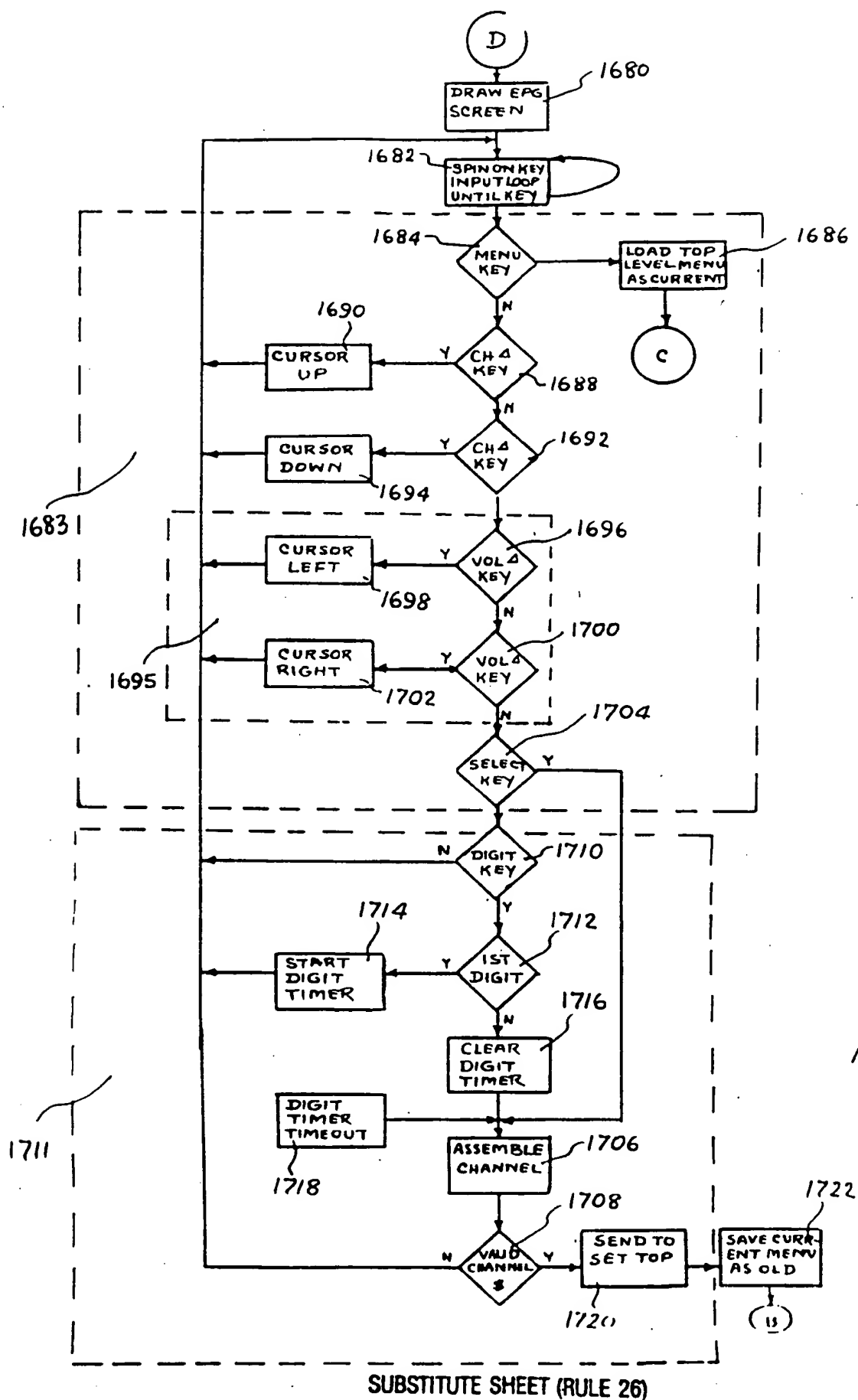


Fig. 12c



20/61

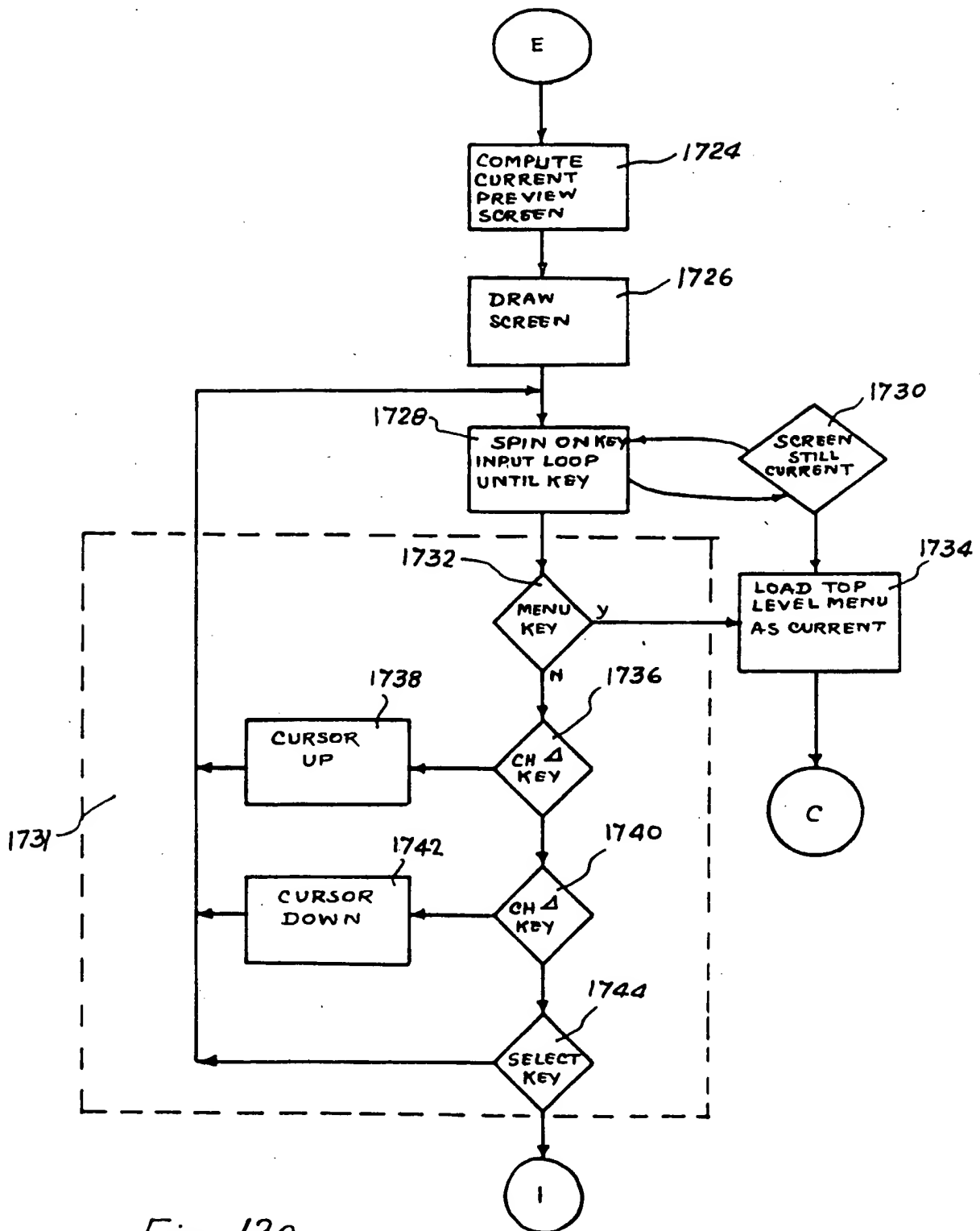


Fig. 12e

21/61

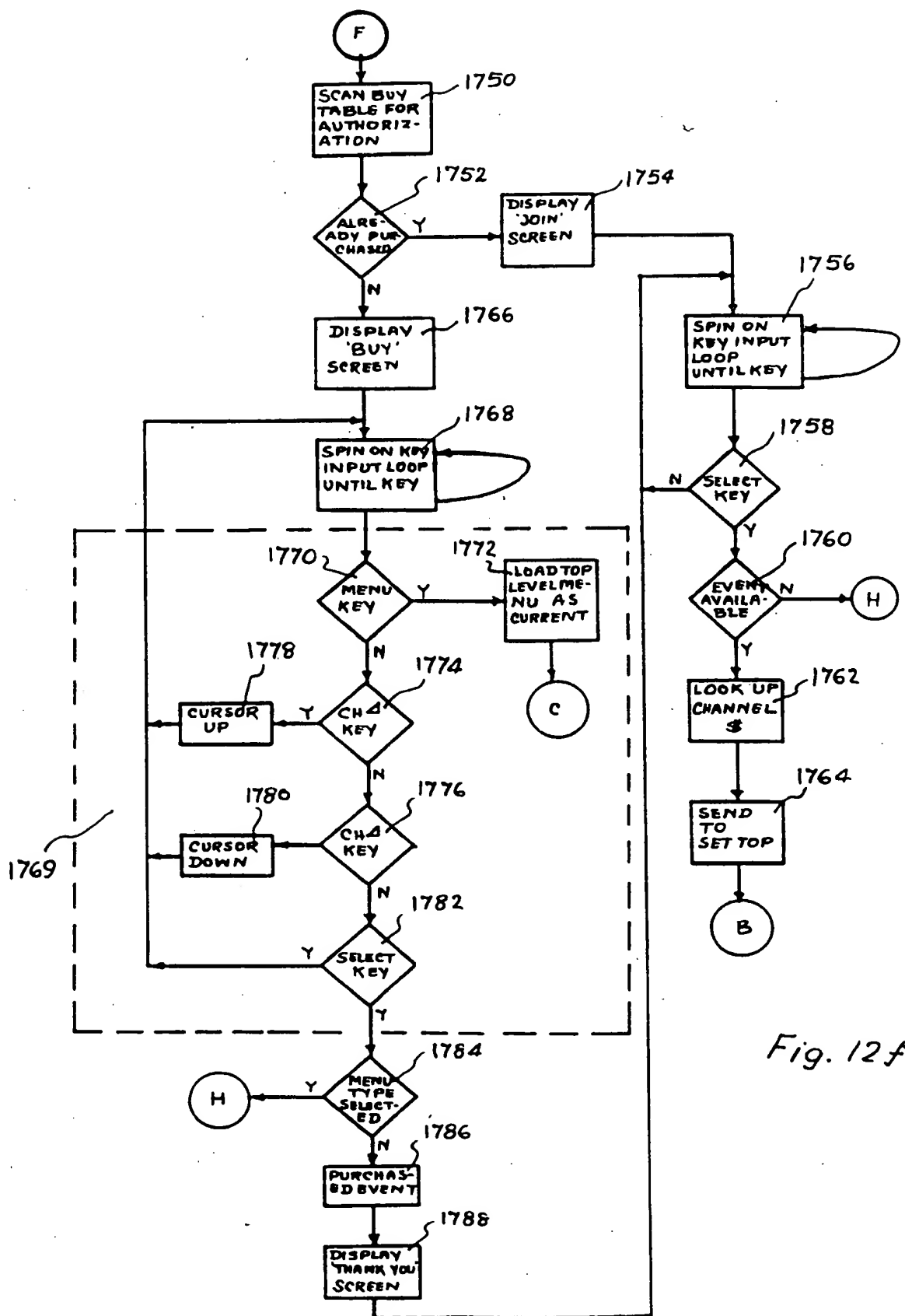


Fig. 12f

22/61

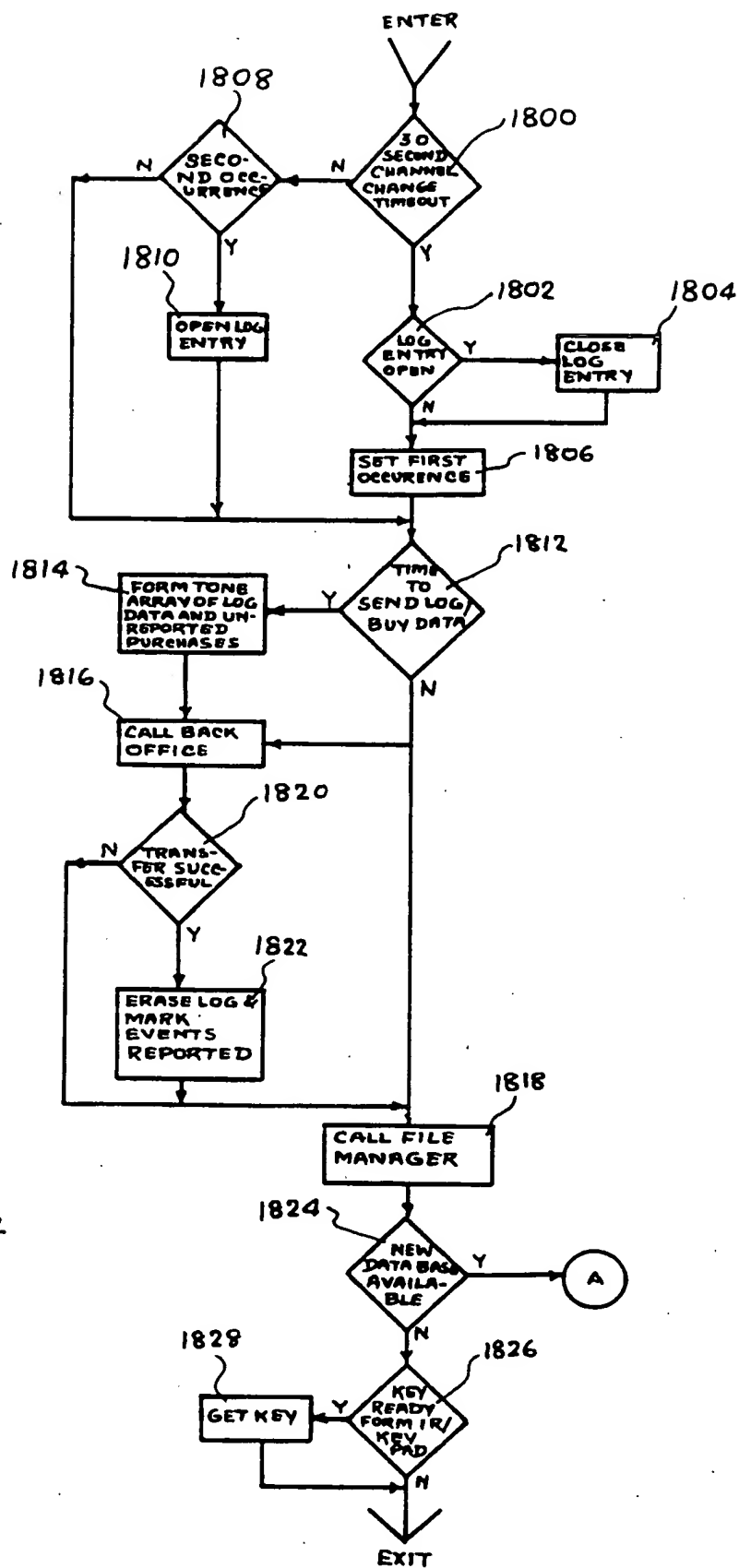


Fig. 12g



23/61

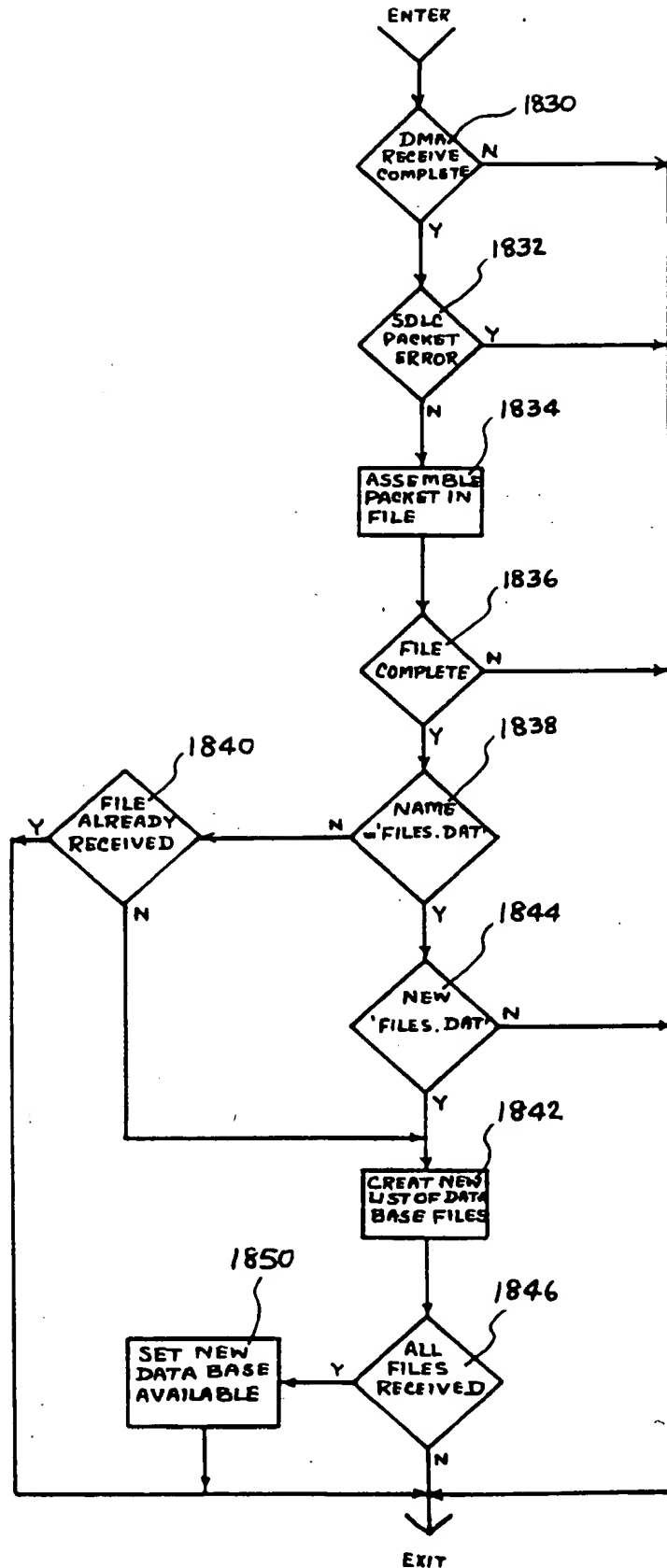


Fig. 12h

24/61

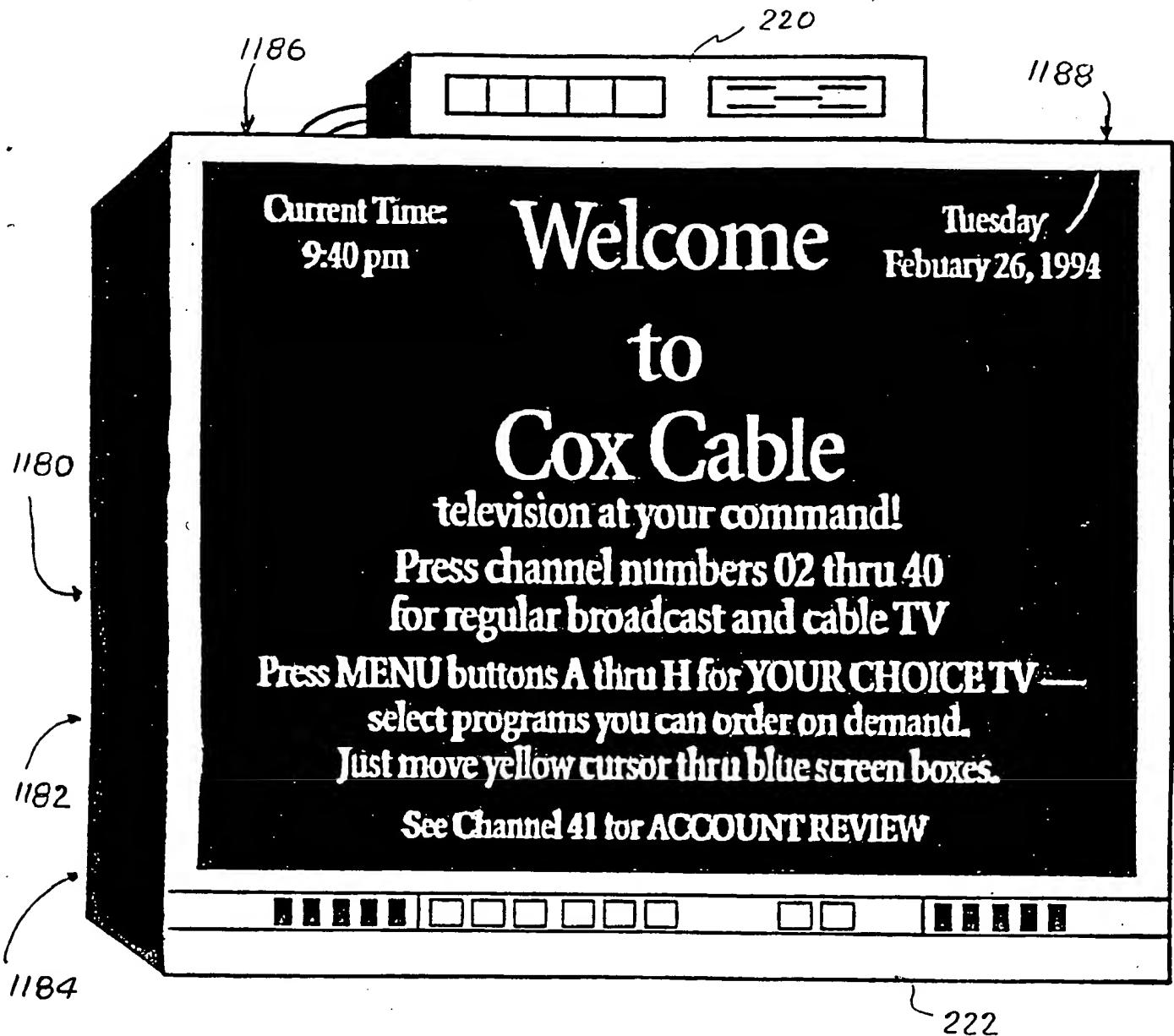
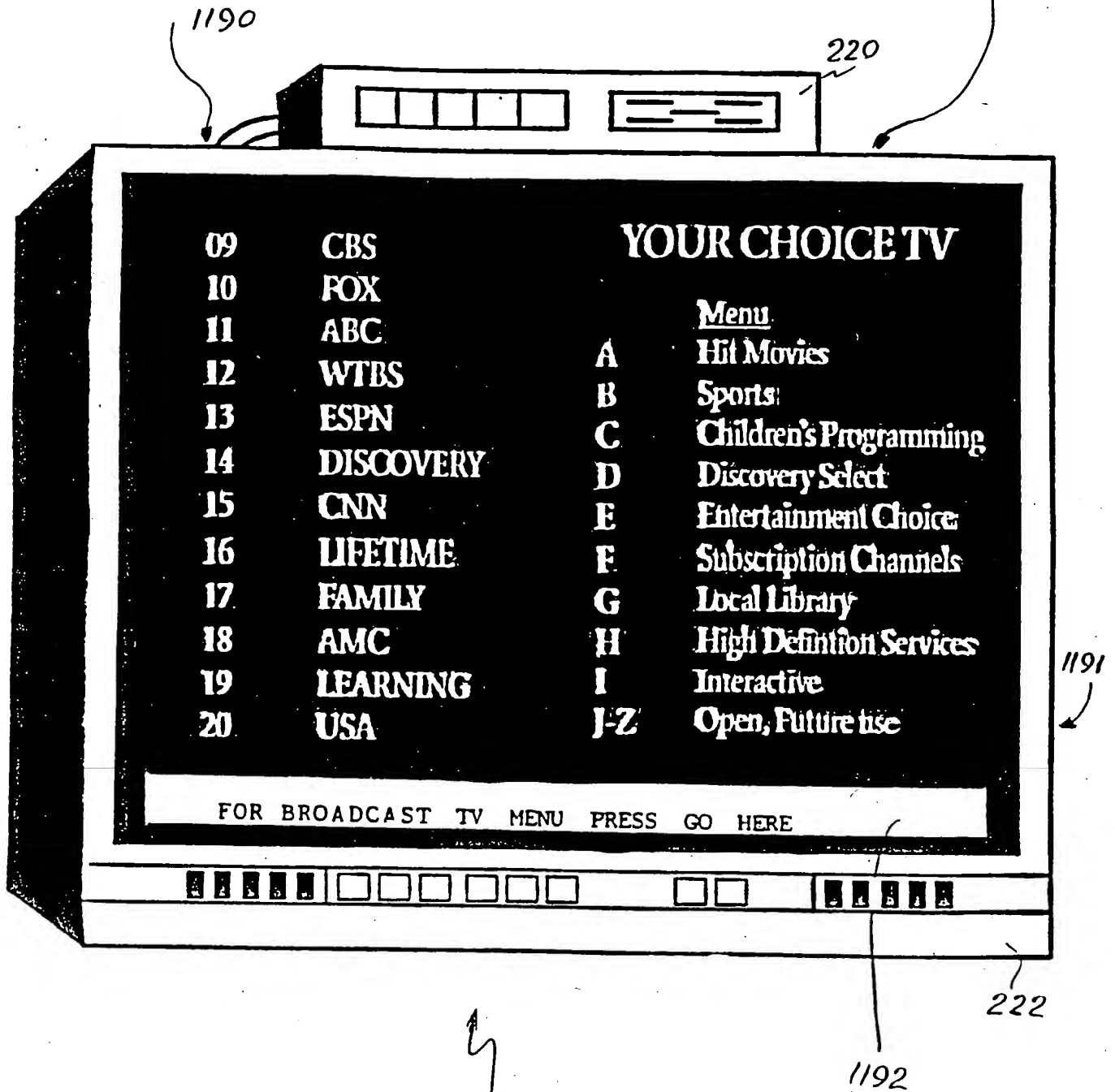


Fig. 13

25/61

1020



26/61

Saturday, December 28, 1986				6:30 PM
1   BASIC	9   BASIC PLUS	17   ECONOMY PKG	25   ADD. CATE	
2   CBS	10   CNN	18   VH-1	26   PREMIUM	
3   NBC	11   CNN	19   TLC	27   SCI-FI	
4   NBC	12   DISC	20   AMC	28   TOON	
5   ABC	13   ESPN	21   TNM	29   BRAV	
6   ABC	14   TBS	22   MEU	30   ROM	
7   FOX	15   TNT	23   E!	31   ENCR	
8   PBS	16   USA	24   CNBC	32   DISN	
9   WTFC	17   FAM	25   LIFE	33   CINE	
10   WKN	18   NICK	26   A & E	34   TMC	
11   WYAB	19   MTV	27   COURT	35   SHOW	
12   C-SPAN	20   TWC	28   TRAV	36   HBO	

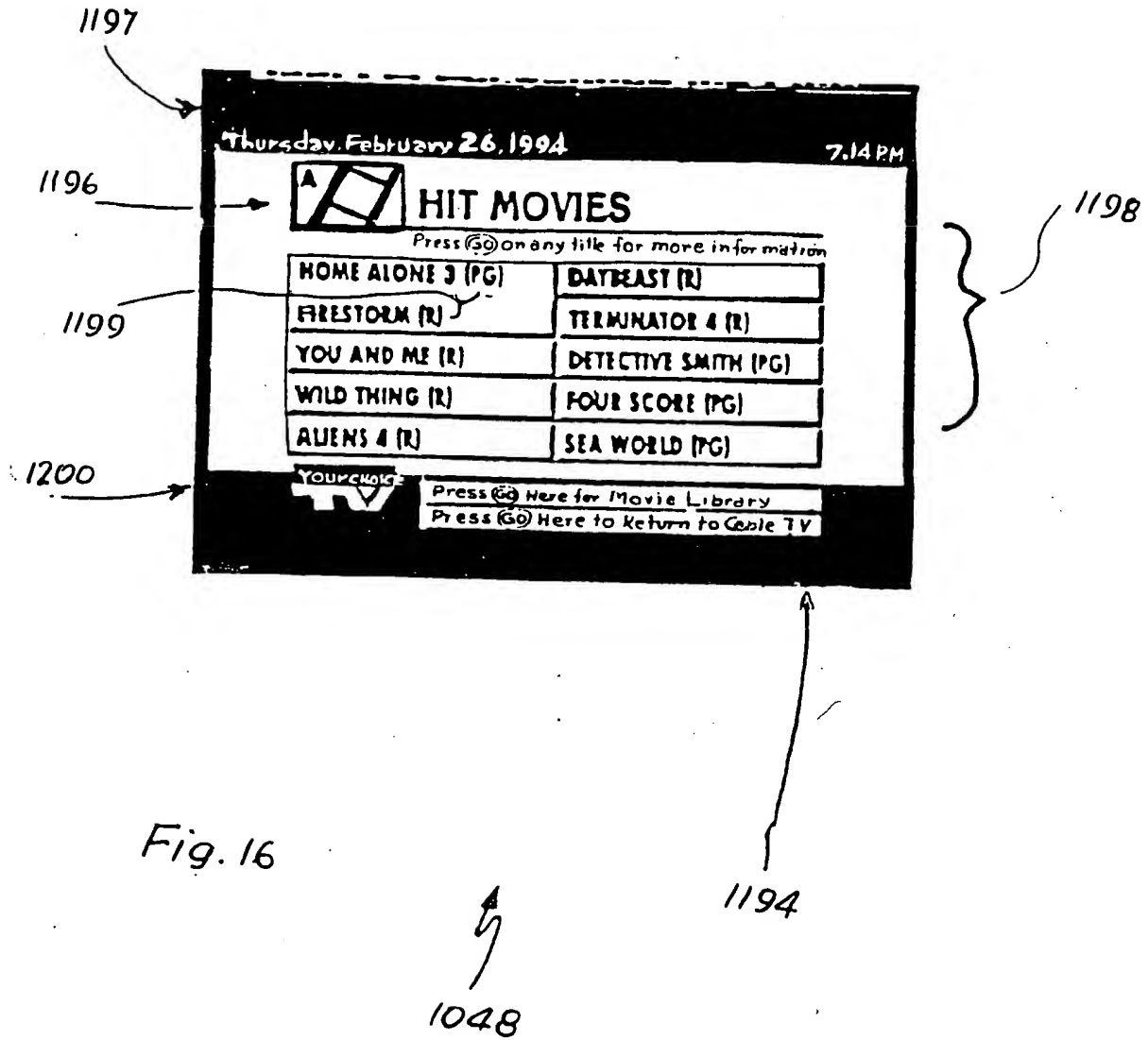
Press To Above for Channels Press To Below for Menus Press To on 8 for info/prices

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

Fig. 15

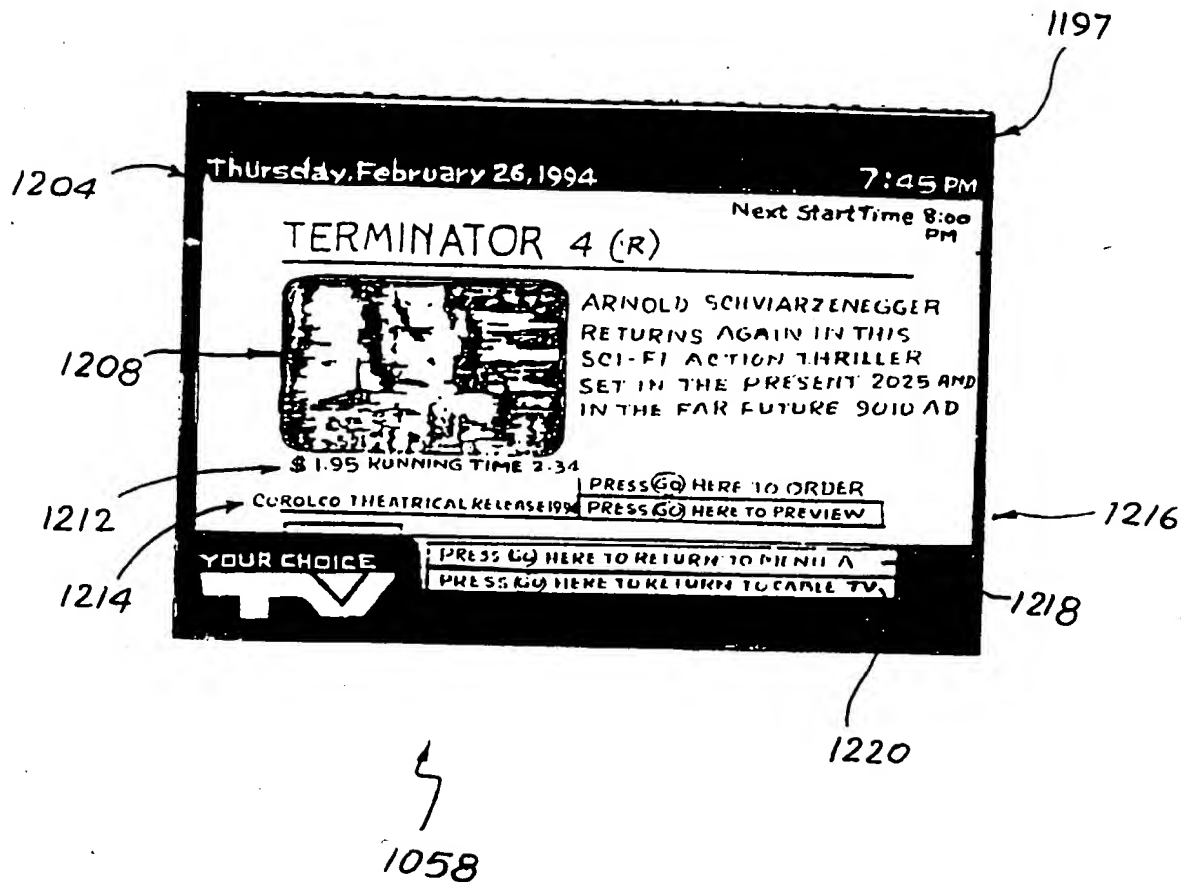
1193

27/61



28/61

Fig. 17



29/61

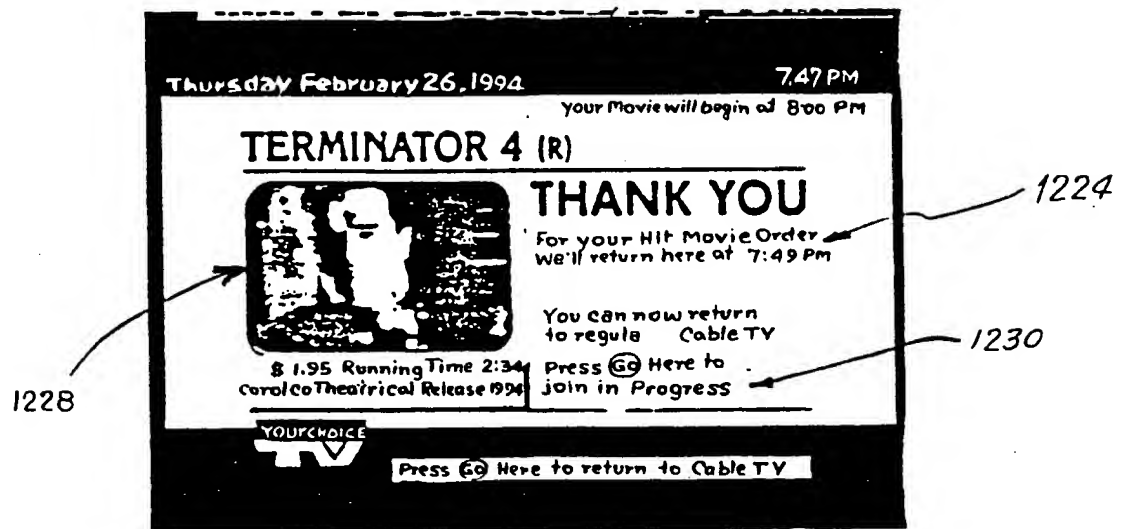


Fig. 18

1060

30/61

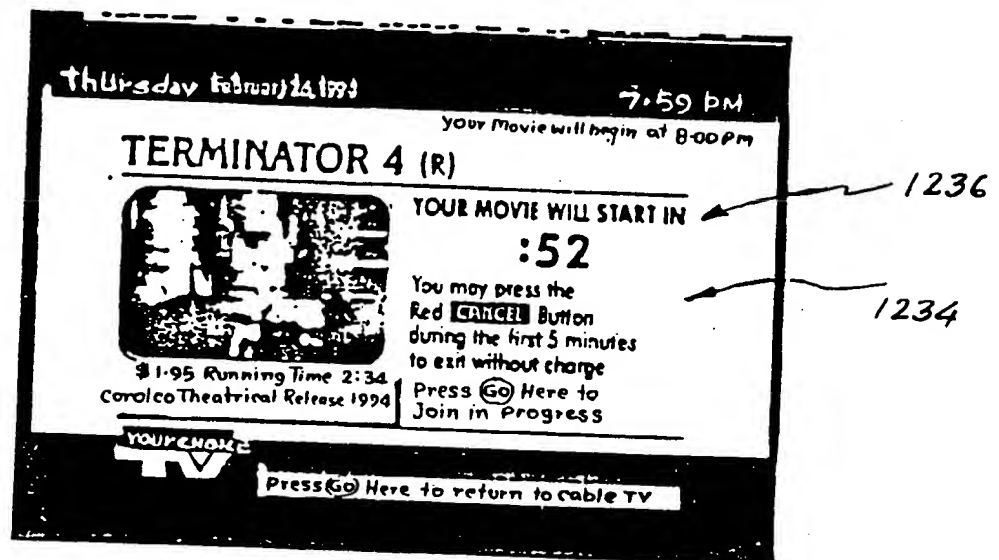
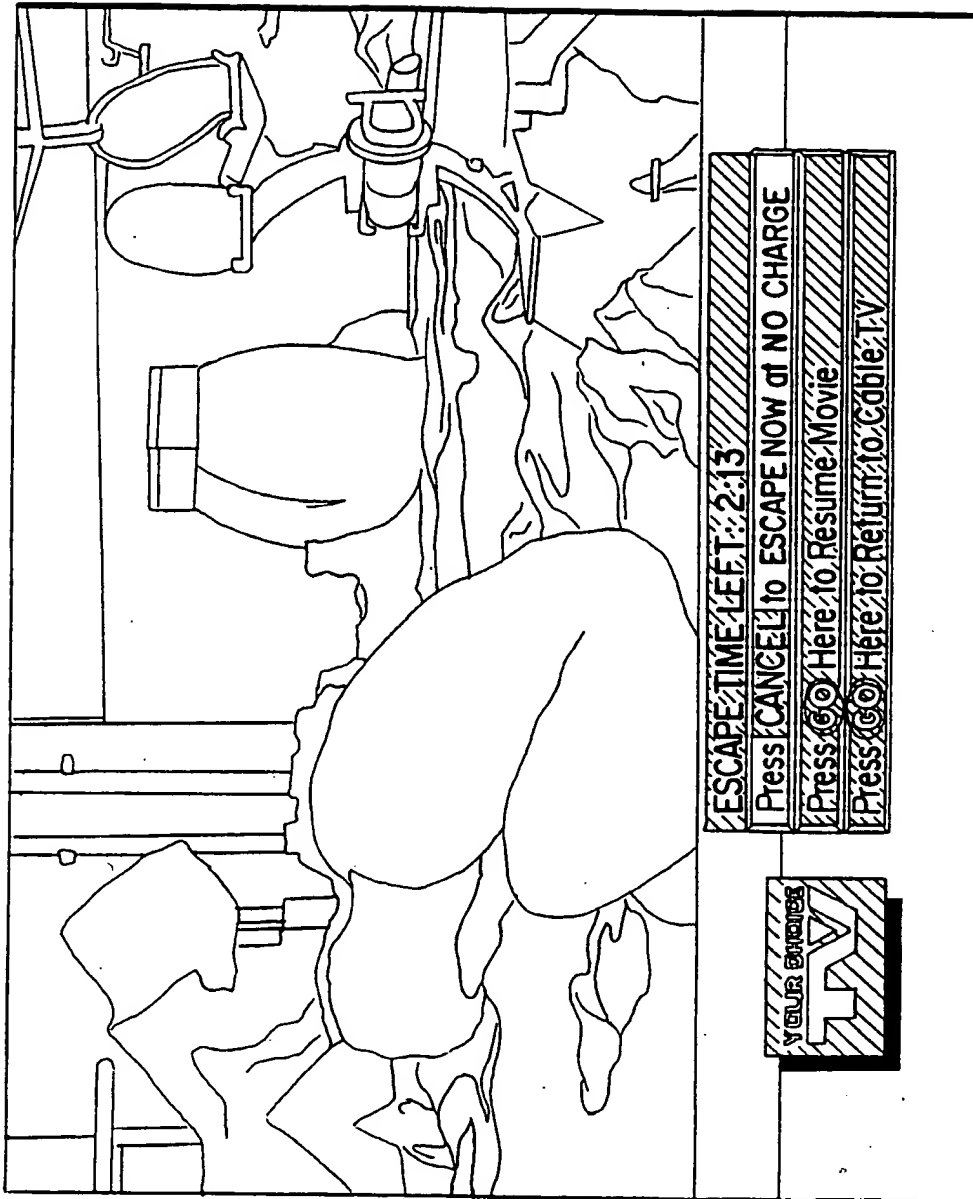


Fig. 19

1061





1392

FIG. 20a

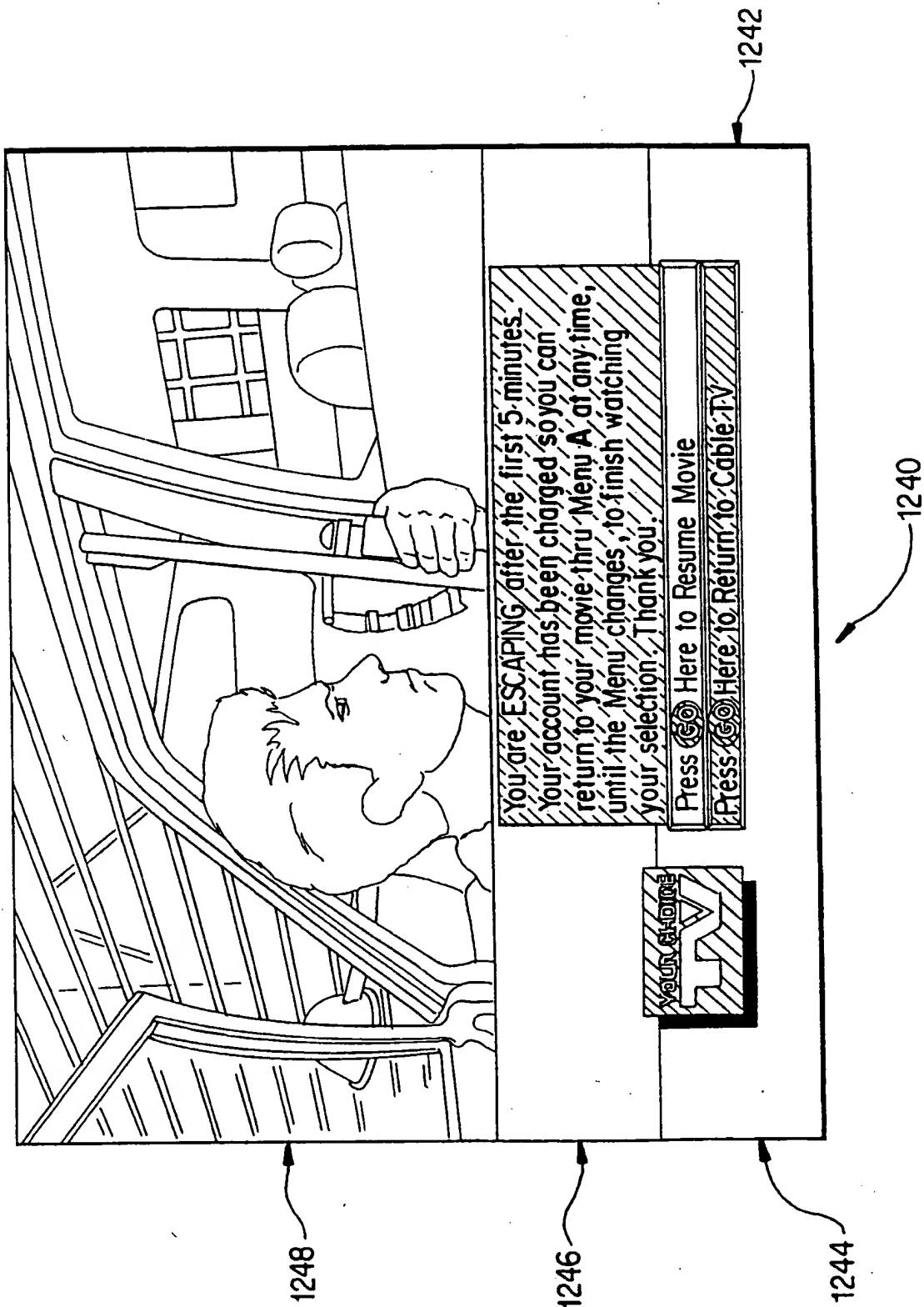


FIG. 20b

33/61

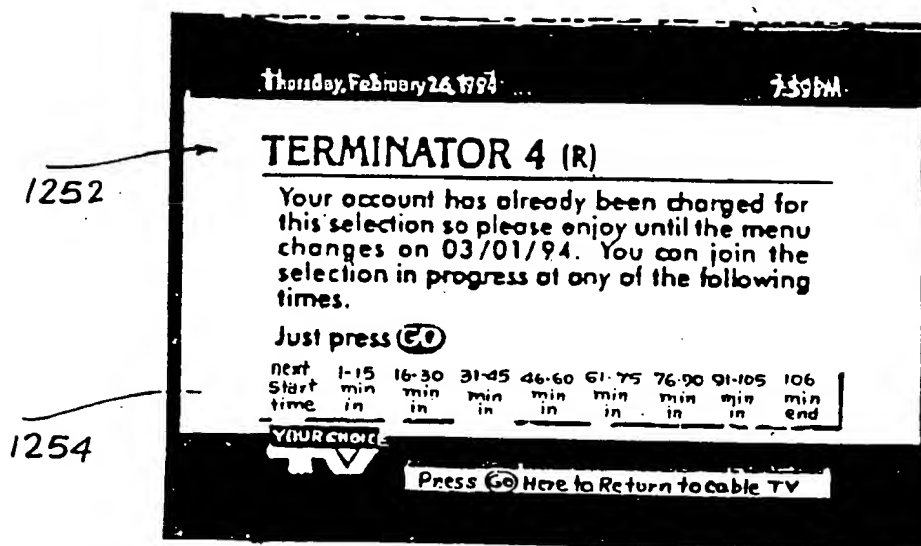


Fig. 20c

1250

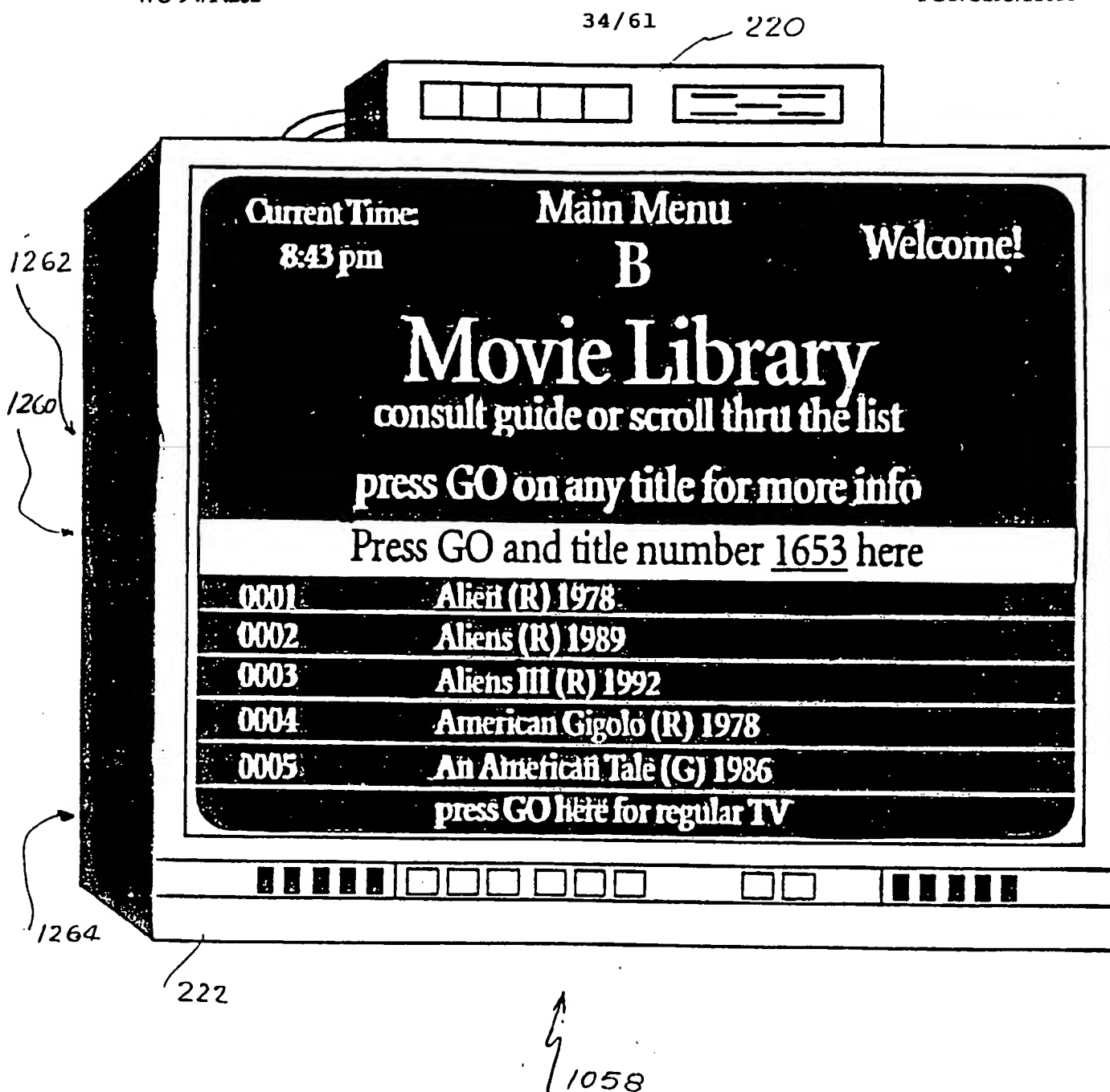
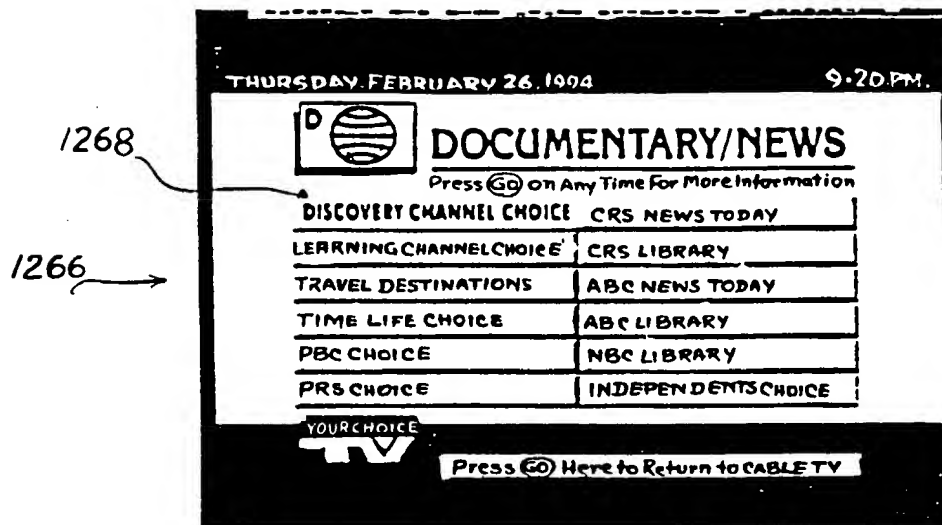


Fig. 21

35/61



1043

*Fig. 22a*

36/61

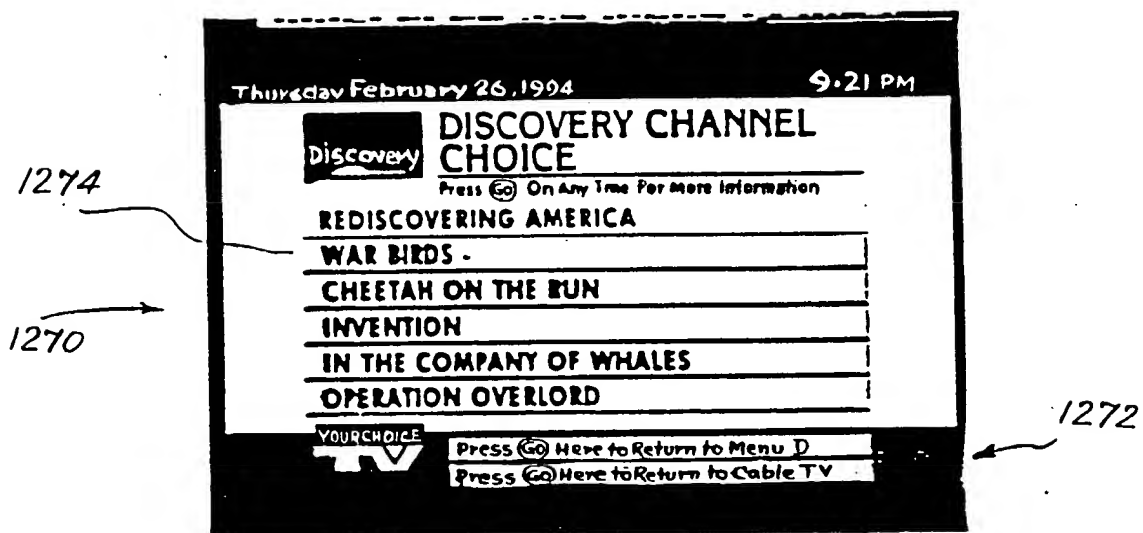


Fig. 22b

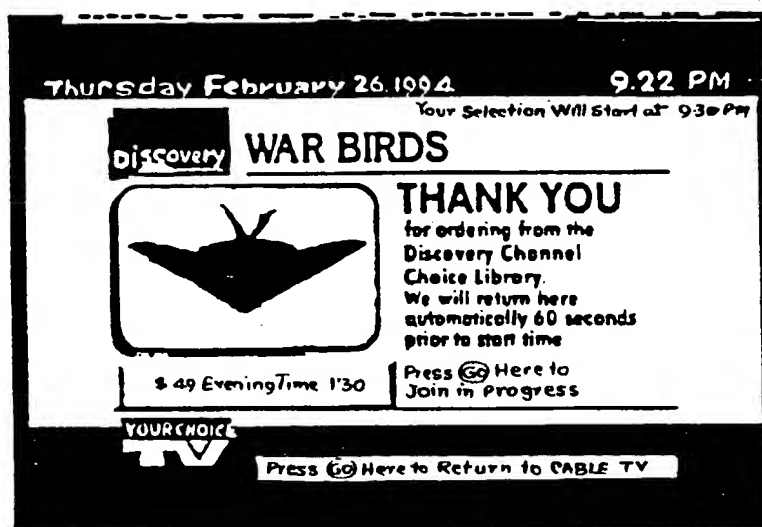
1052

37/61



Fig. 22c

38/61

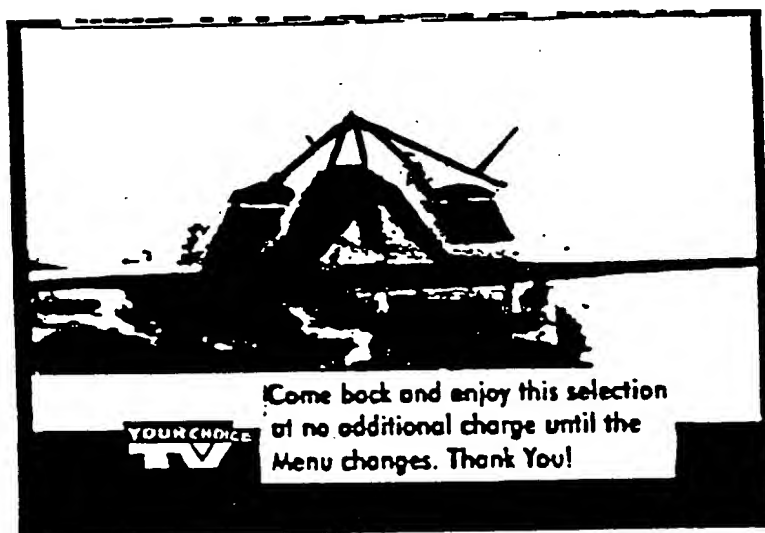


1056

Fig. 22d



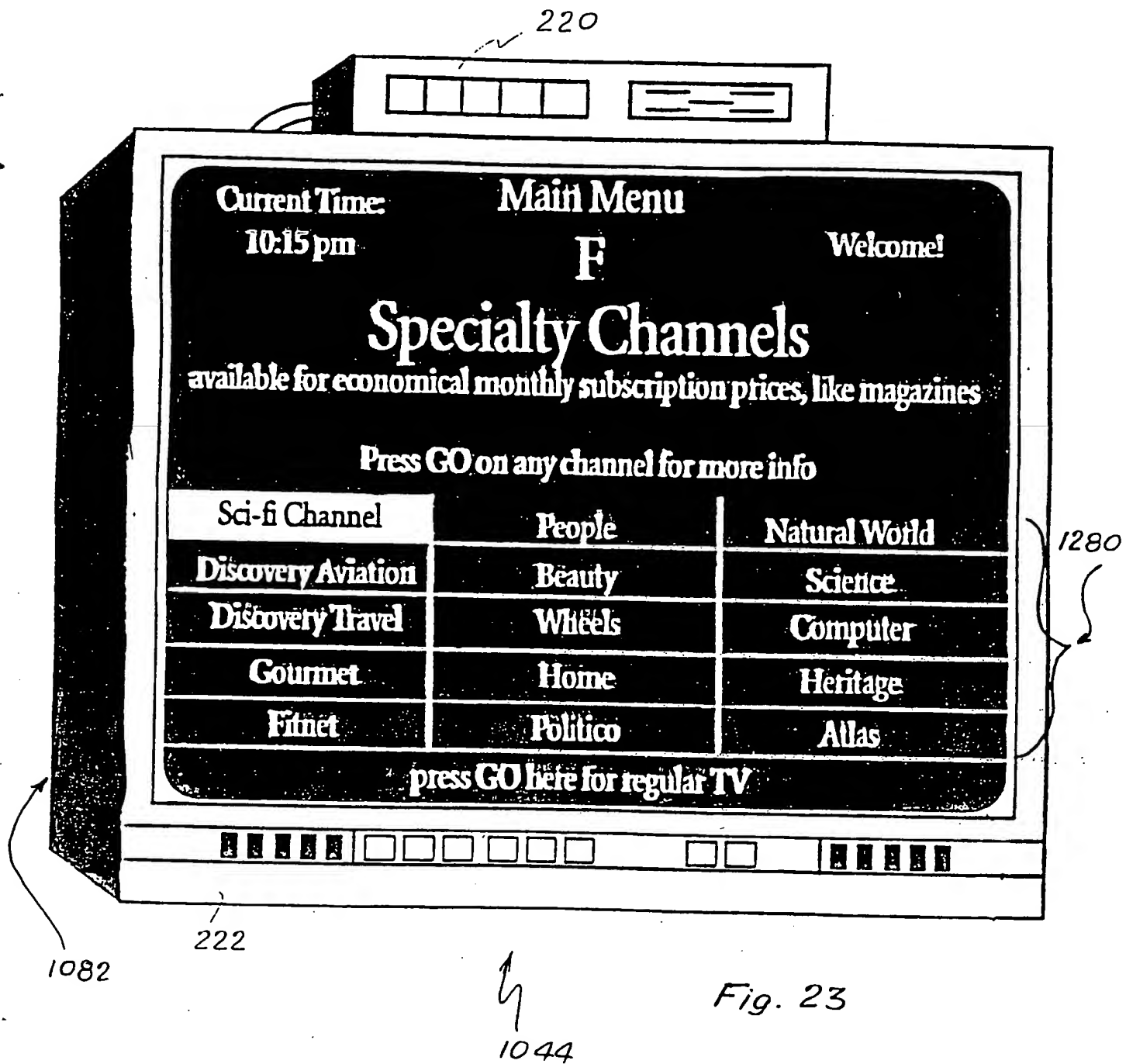
39/61



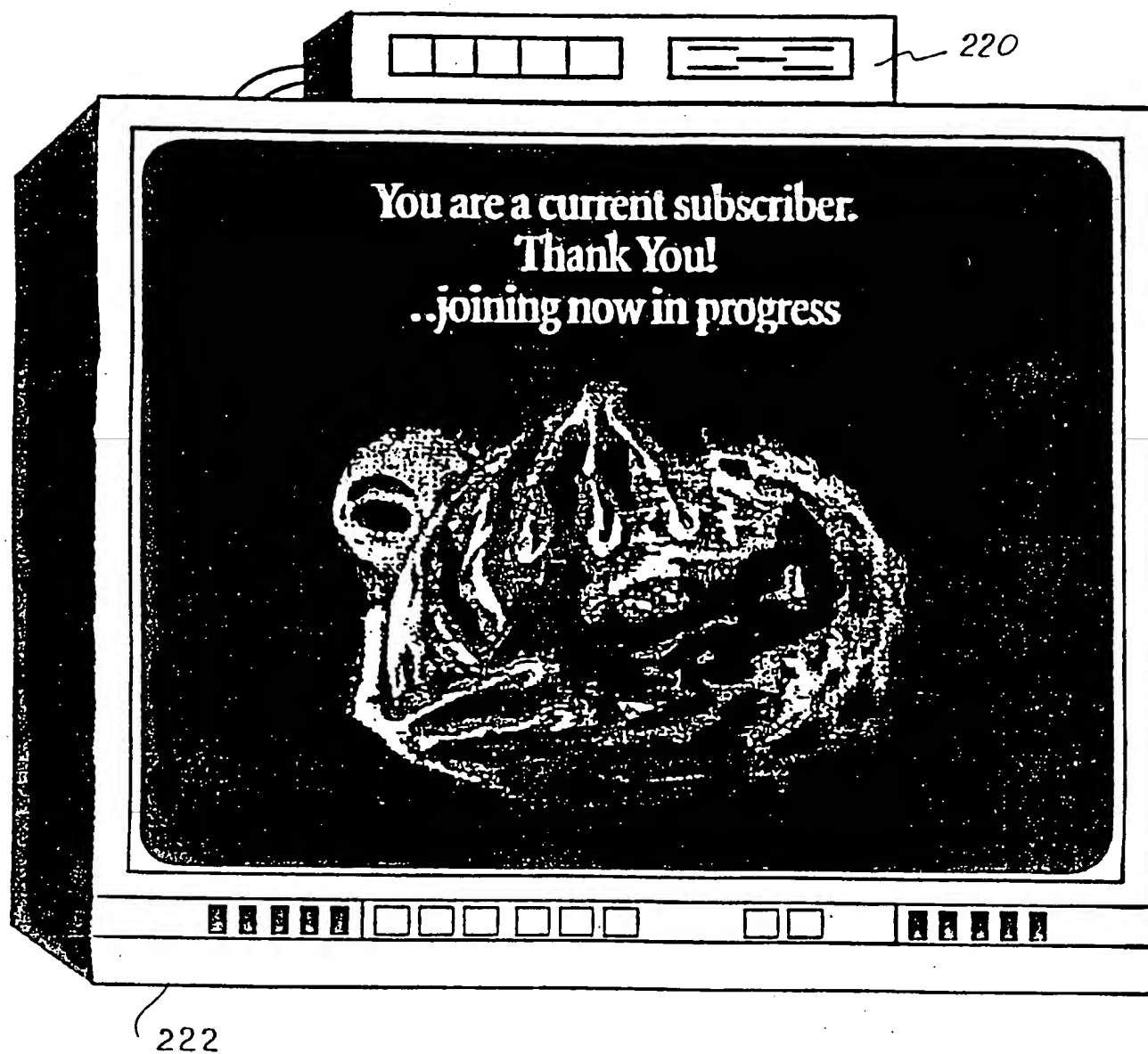
1392

Fig. 22e

40/61



41/61

*Fig. 24*

42/61

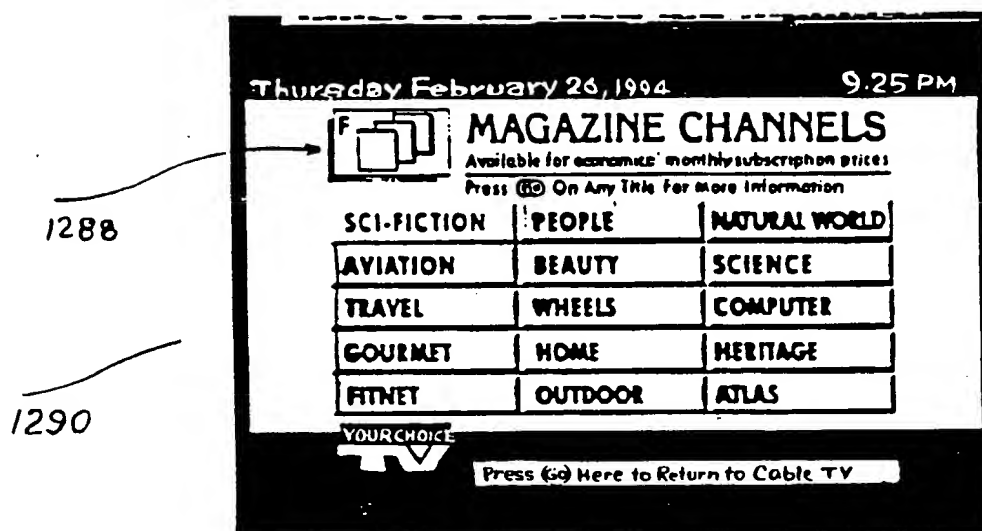


Fig. 25

1030

43/61

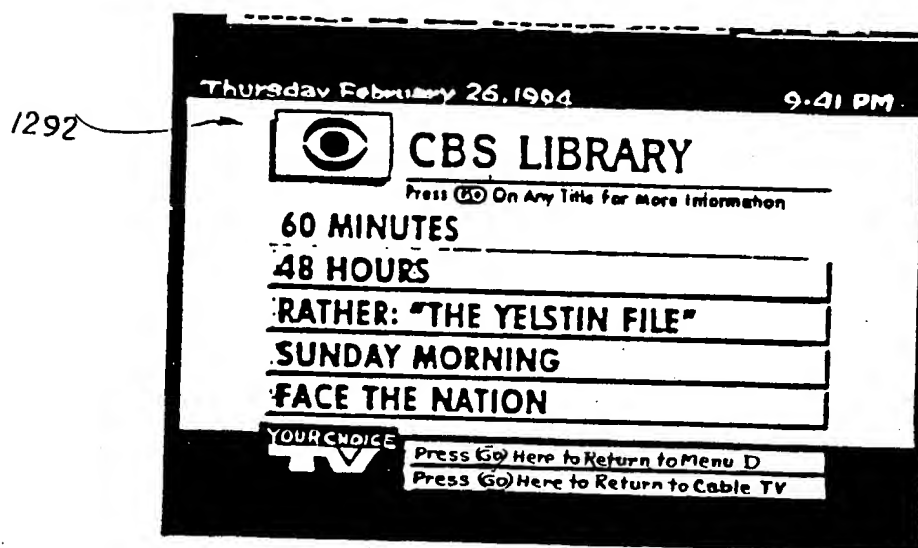
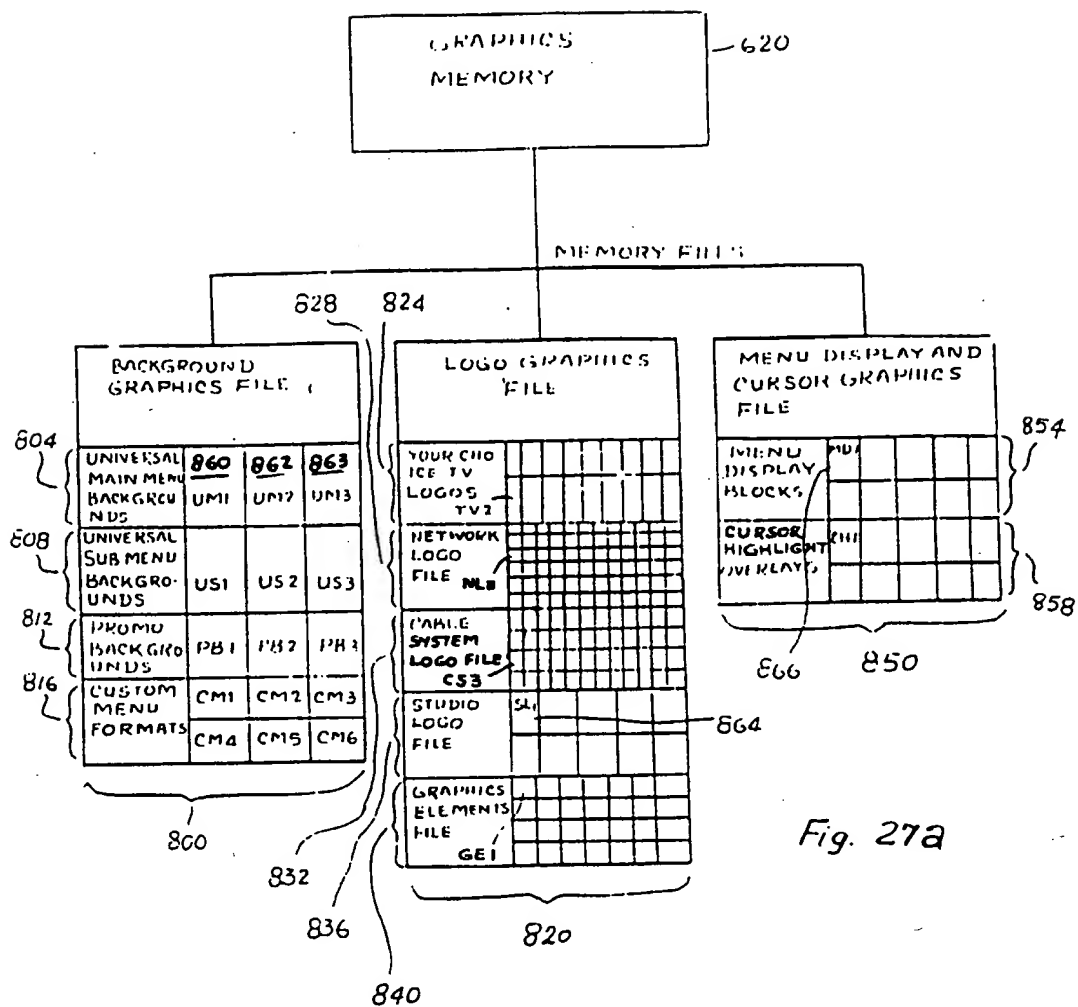


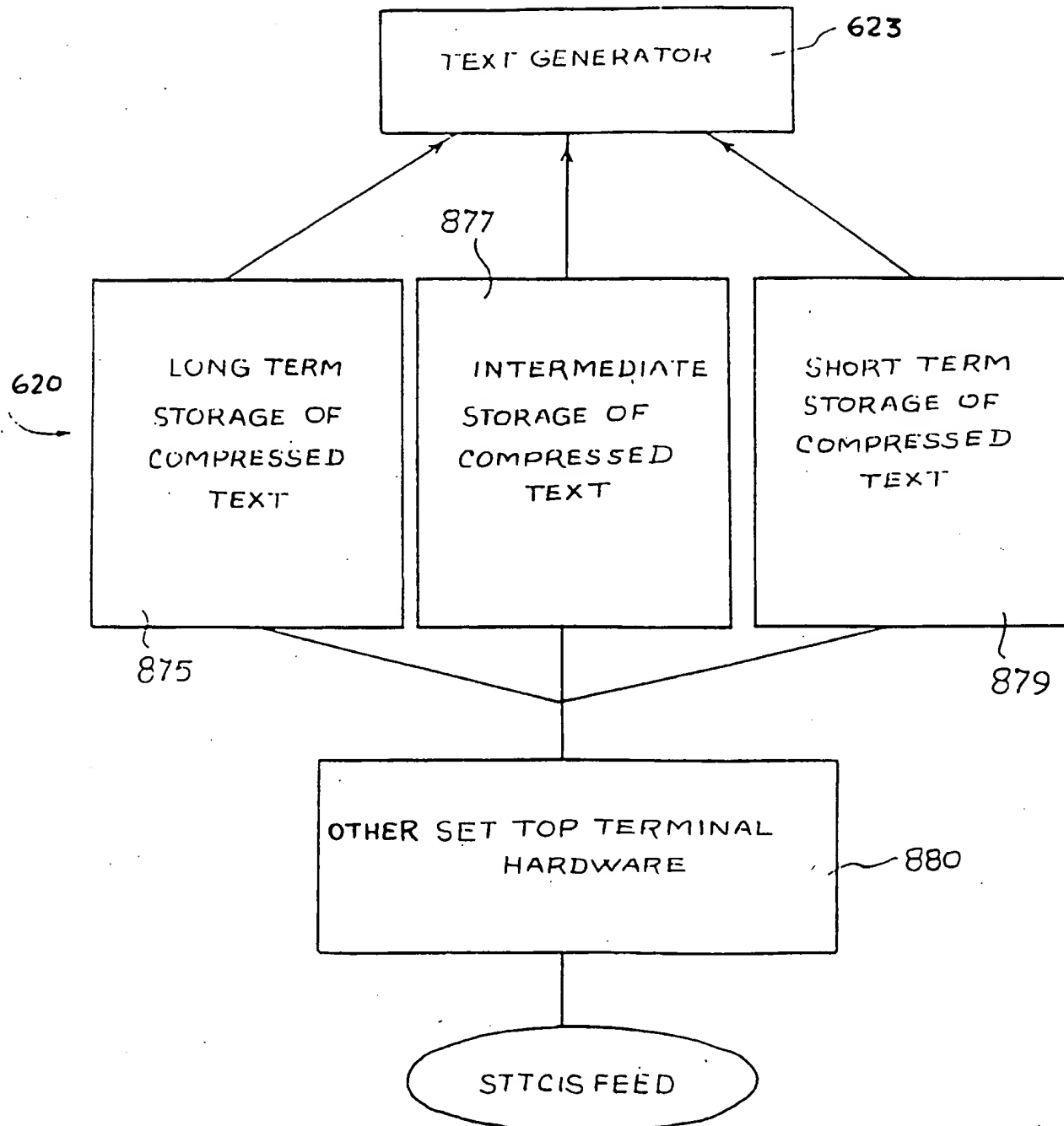
Fig. 26

1050

44/61



45/61



46/61

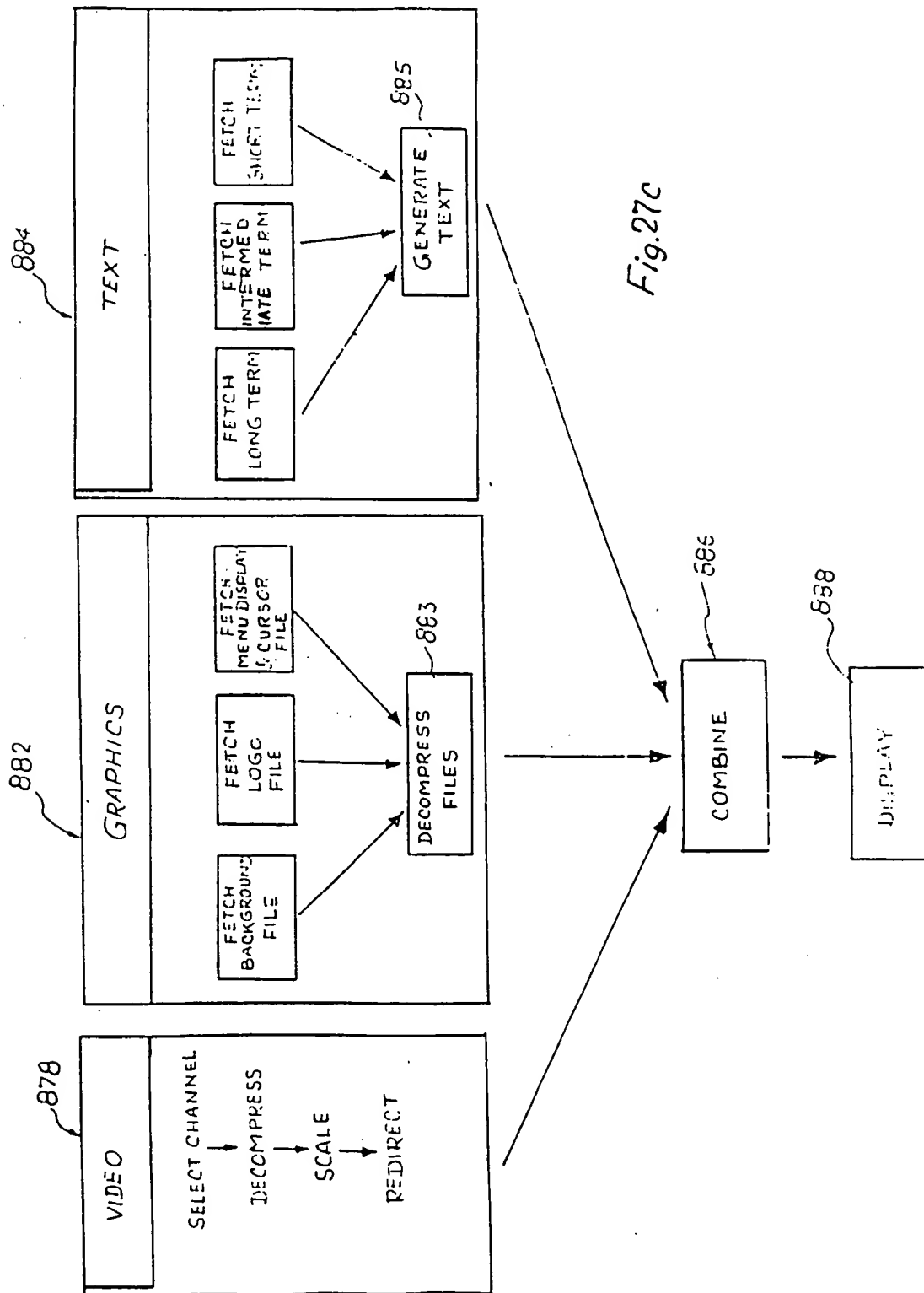


Fig.27c



47/61

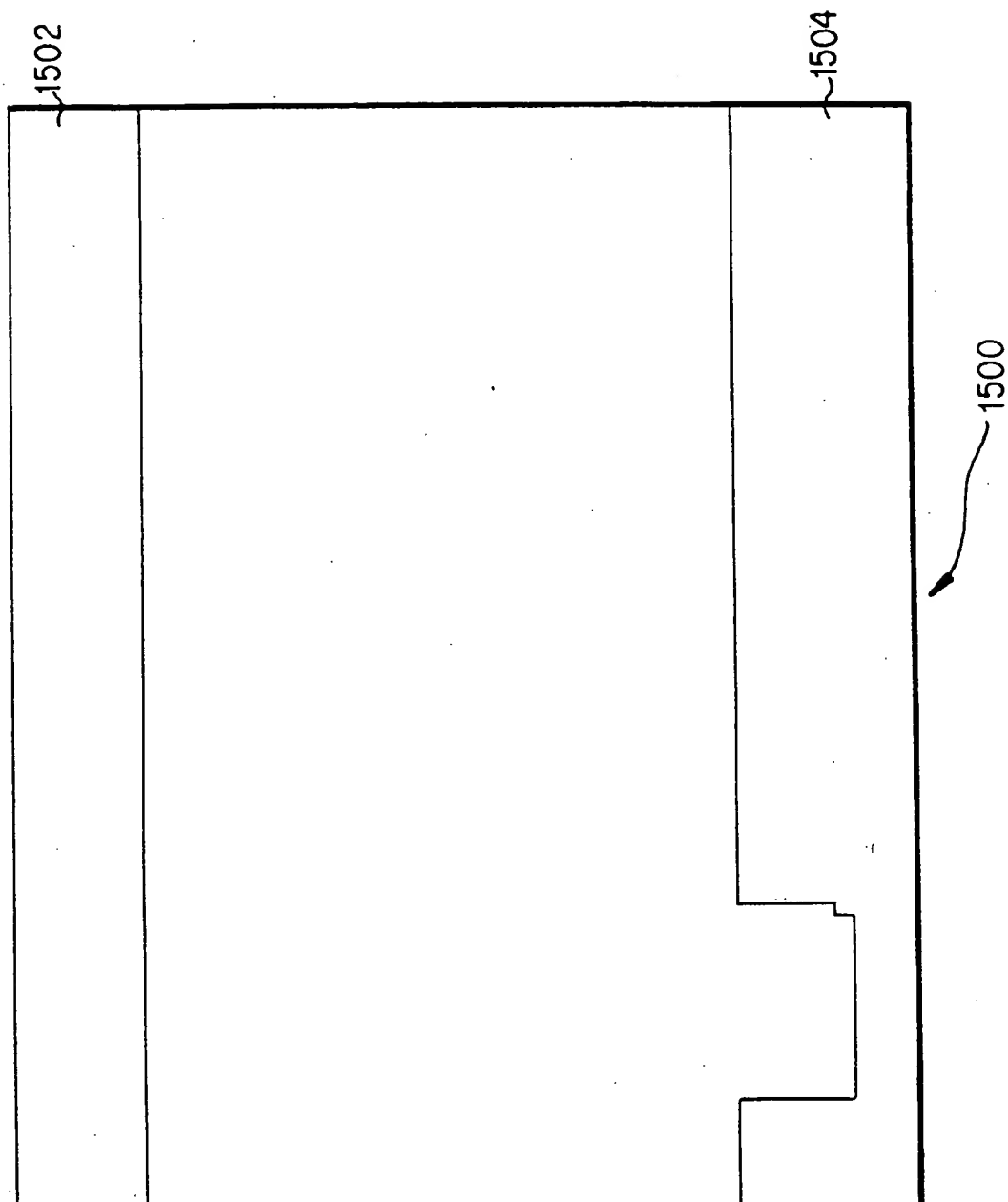


FIG. 28a

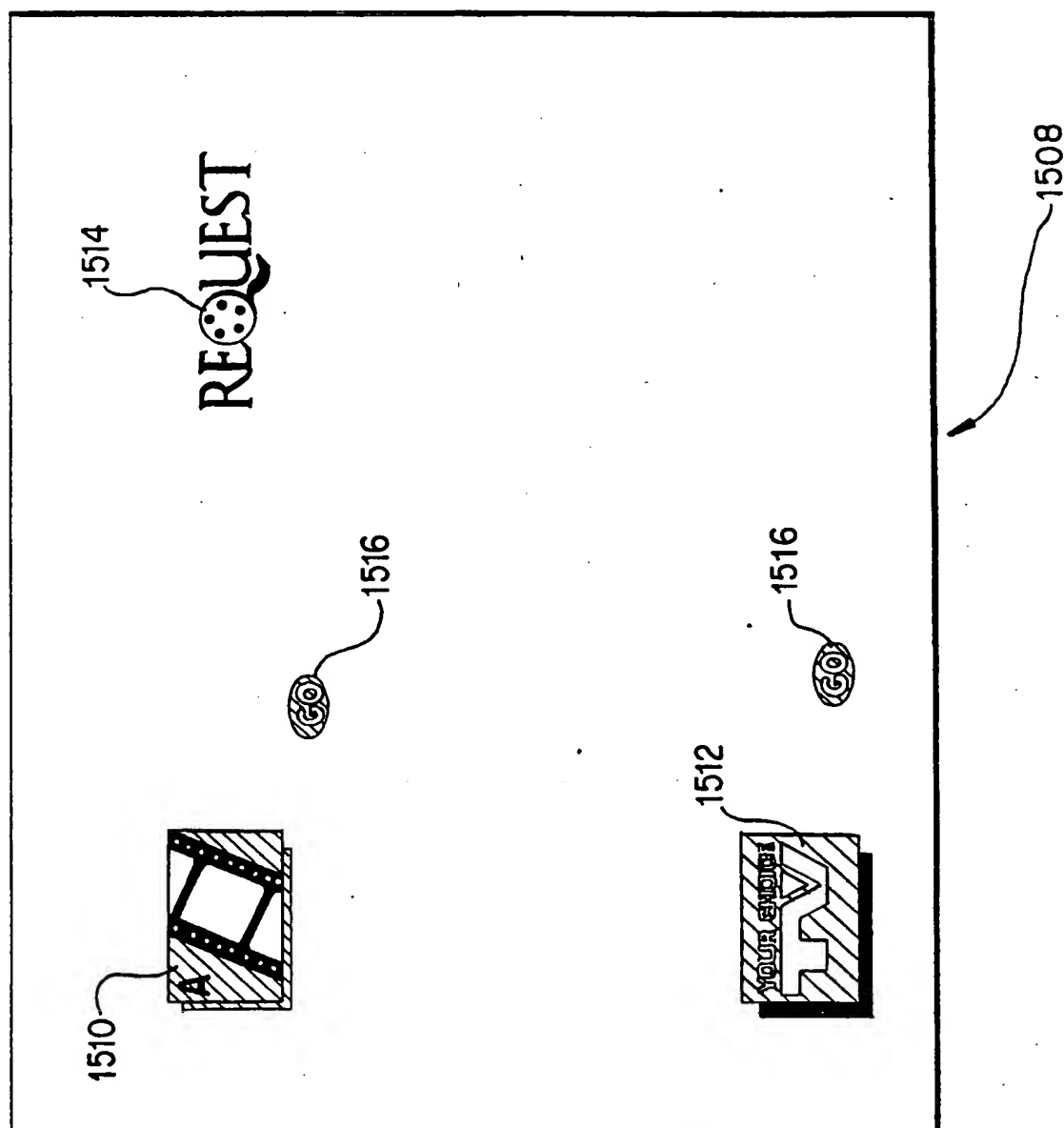
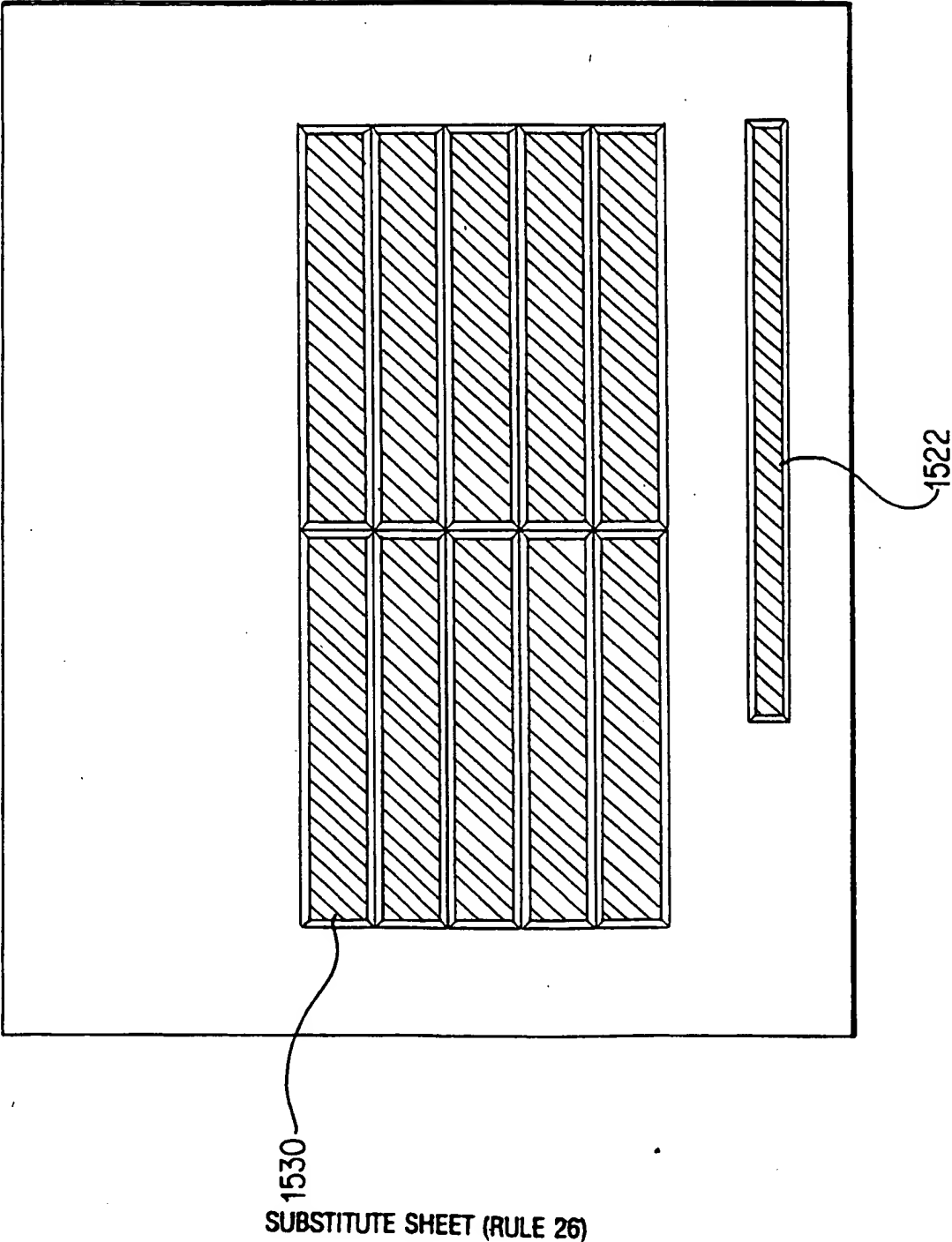


FIG. 28b



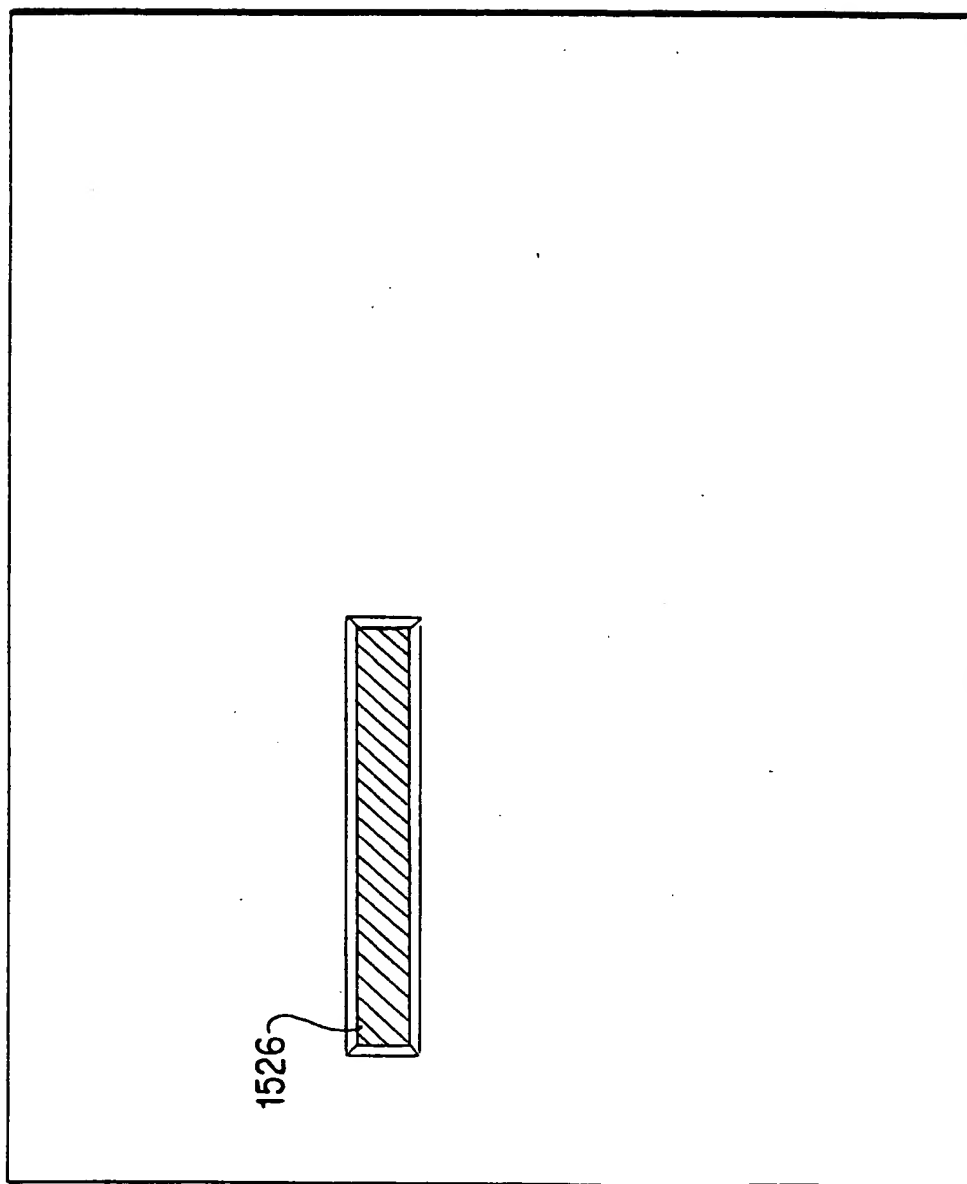


FIG. 28d

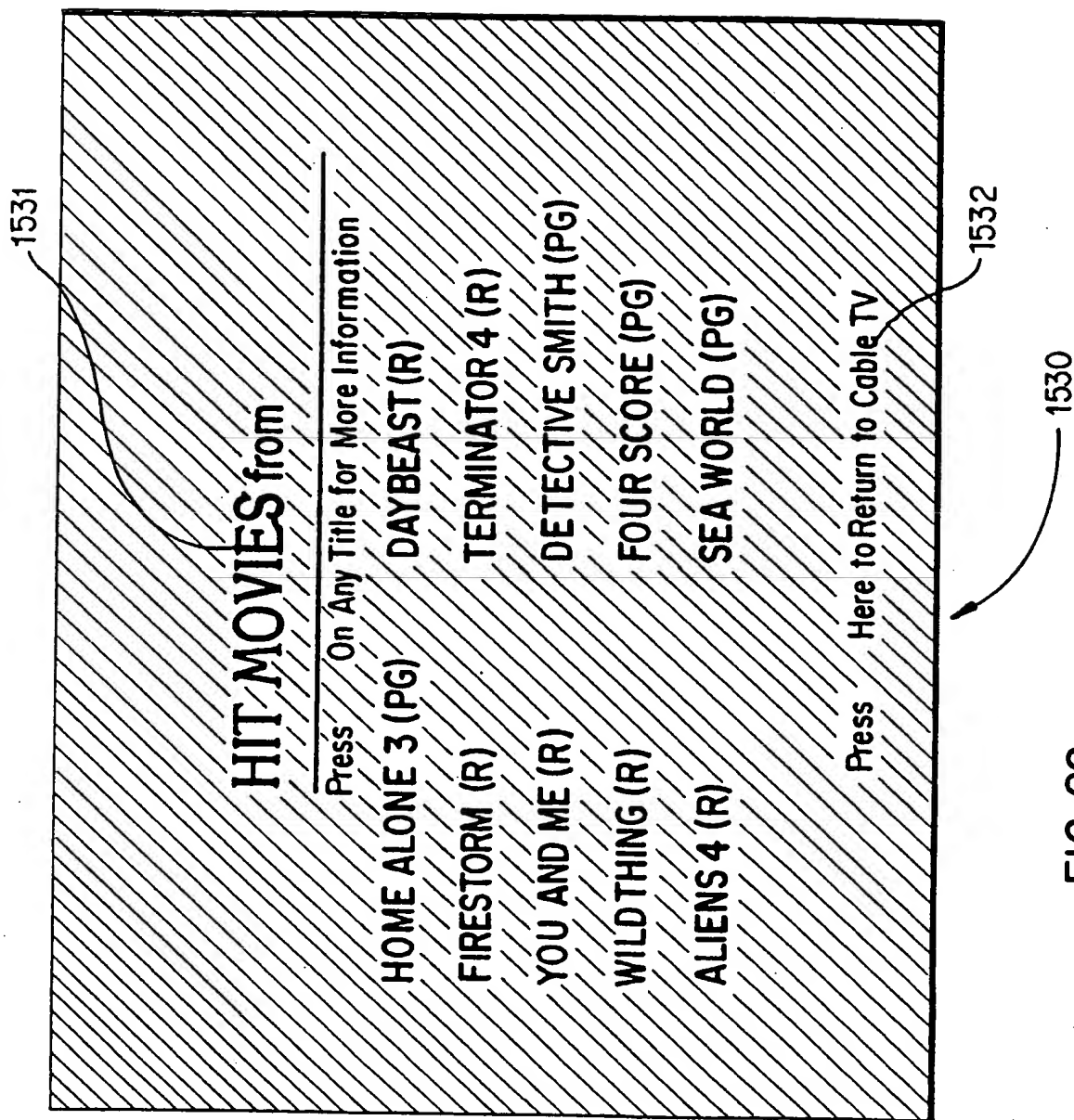


FIG. 28e

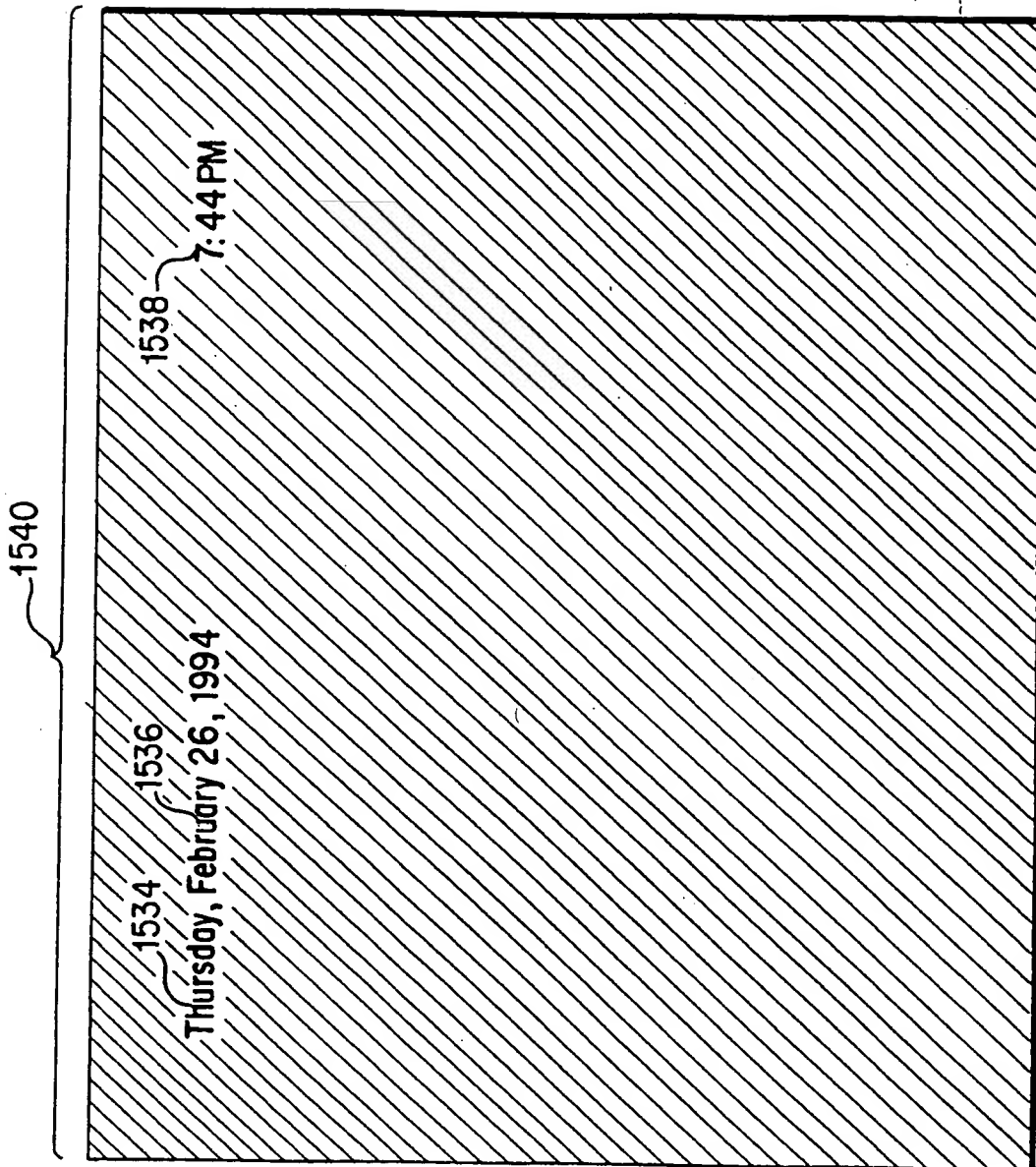
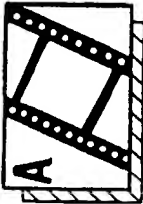


FIG. 28f

53/61

Thursday, February 26, 1994


7:44PM



# HIT MOVIES from REQUEST

Press ©© On Any Title For More Information

HOME ALONE 3 (PG)	DAYBEAST (R)
FIRESTORM (R)	TERMINATOR 4 (R)
YOU AND ME (R)	DETECTIVE SMITH (PG)
WILD THING (R)	FOUR SCORE (PG)
ALIENS 4 (R)	SEA WORLD (PG)



Press ©© Here to Return to Cable TV

1549

FIG. 28g

54/61

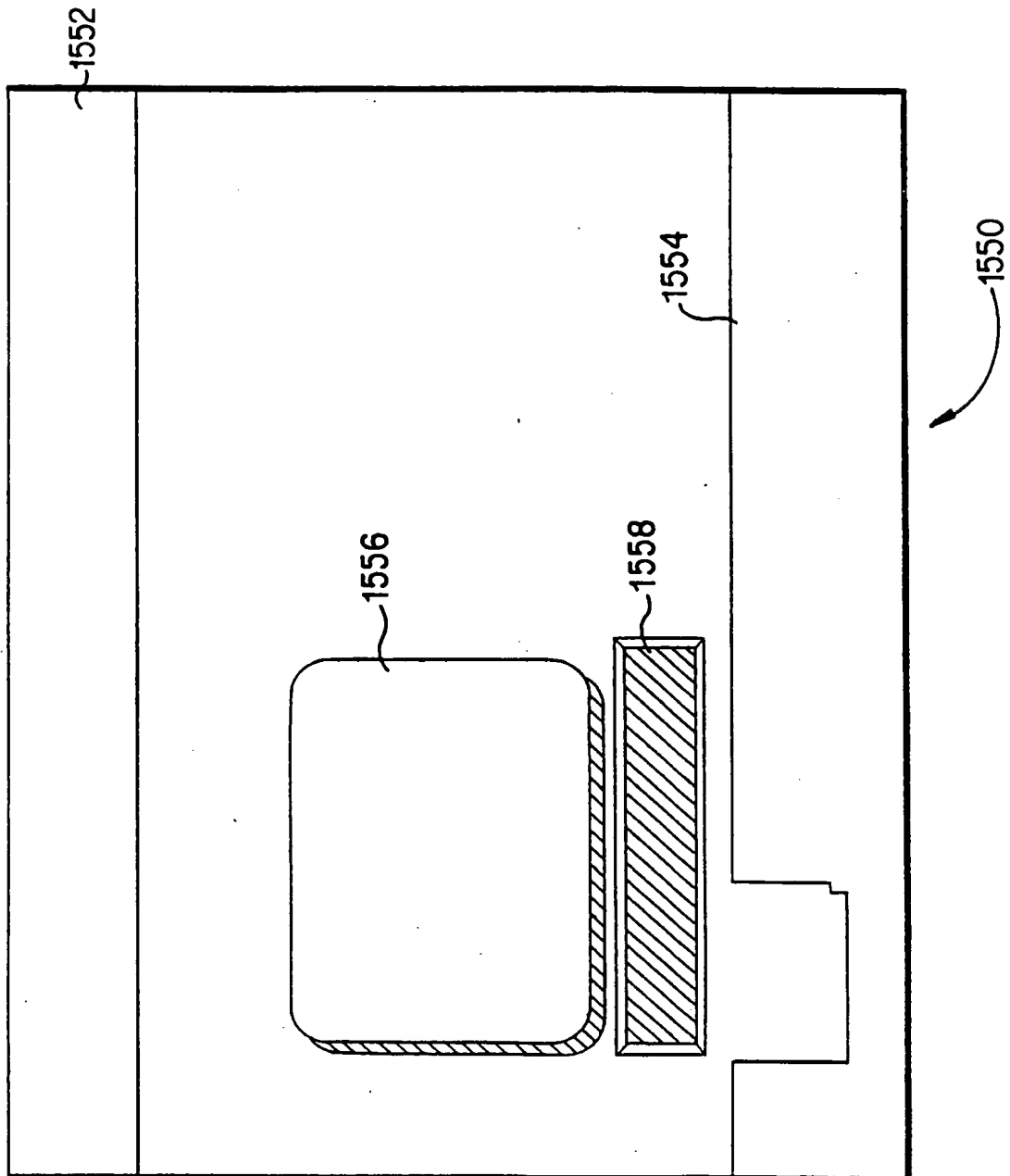


FIG. 29a



55/61

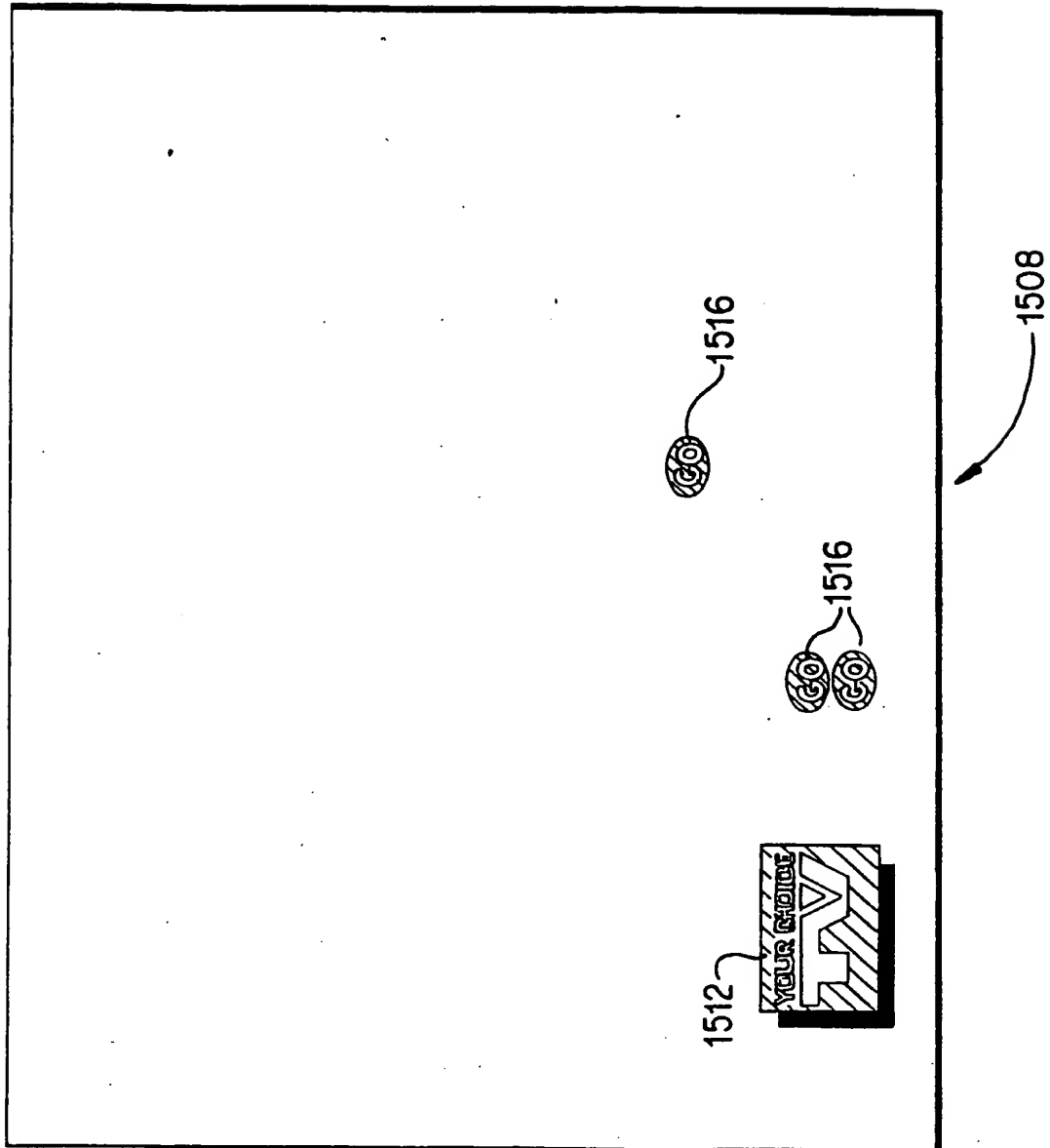


FIG. 29b

56/61

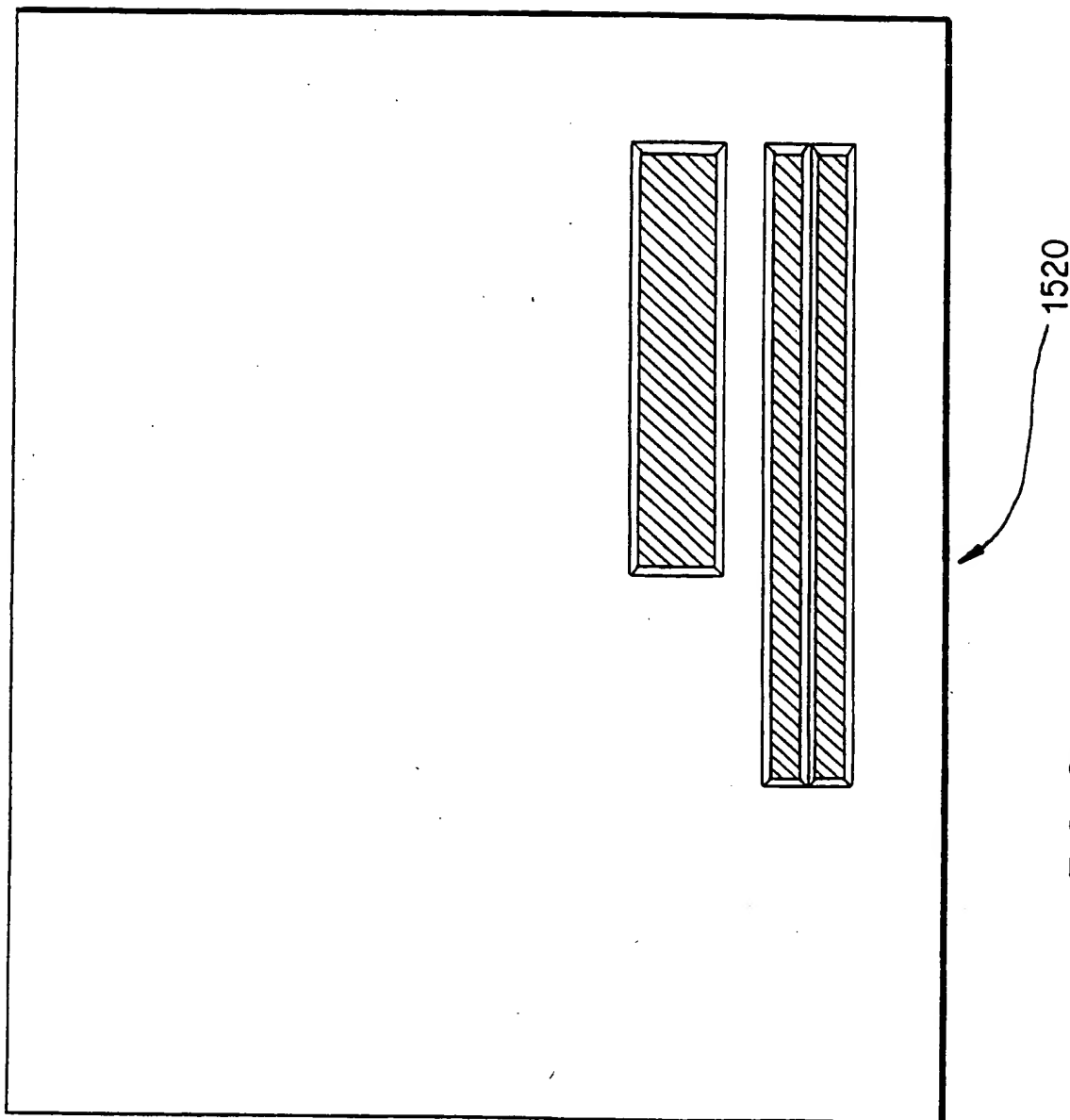


FIG. 29c

57/61

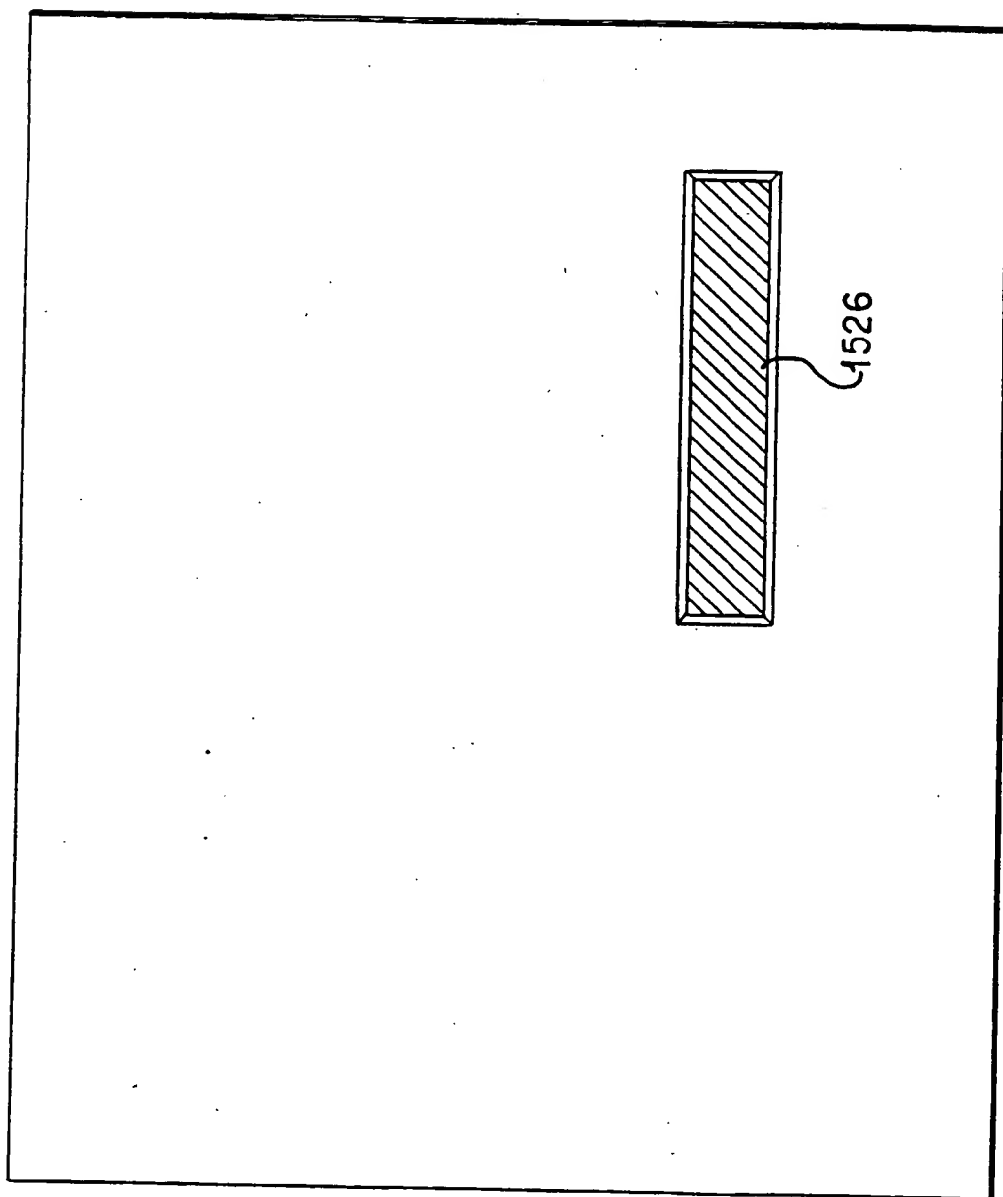
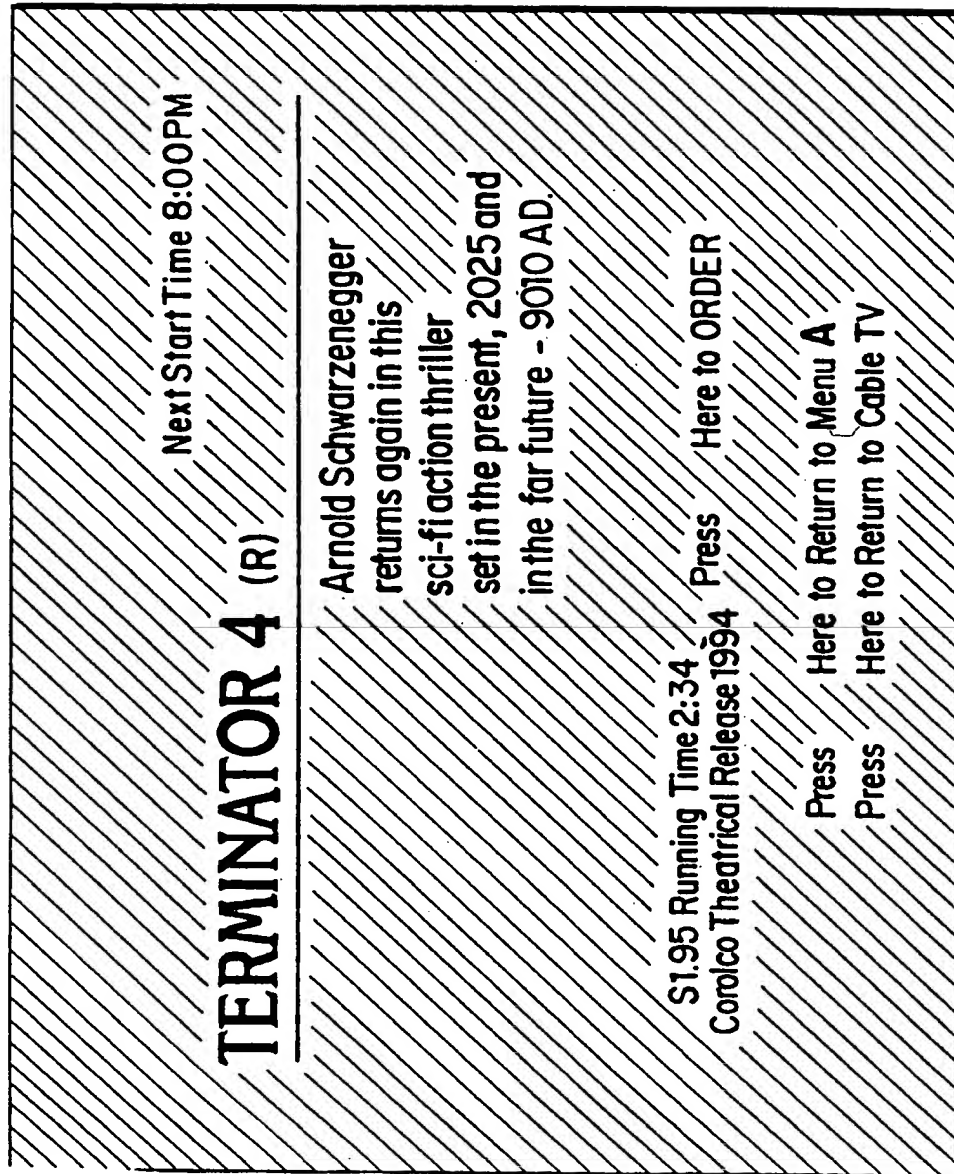


FIG. 29d

58/61



1530

FIG. 29e

59/61

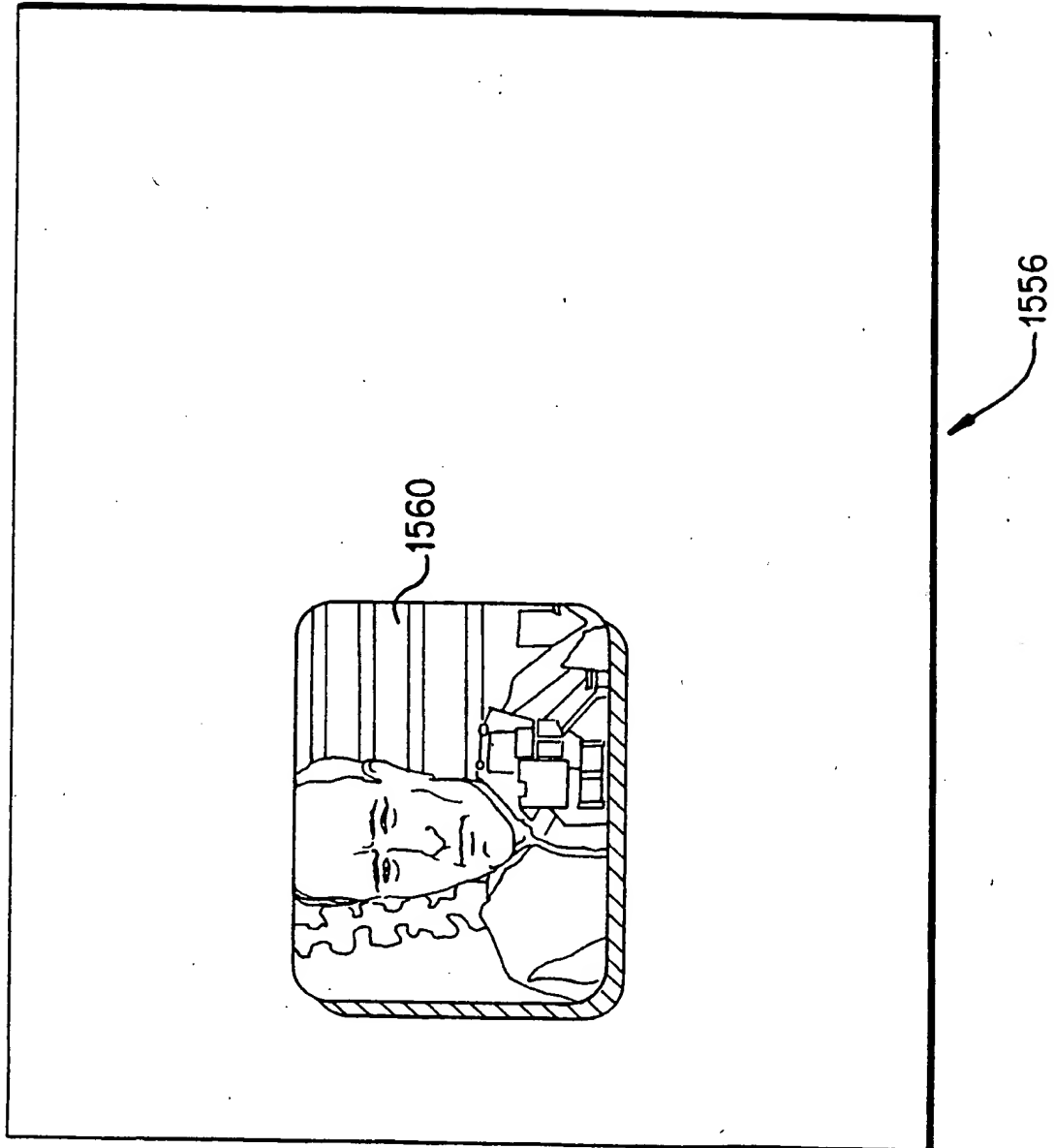







FIG. 29f

60/61

<p>Thursday, February 26, 1994</p> <p>7:45 PM</p>	
<p>Next Start Time 8:00 PM</p>	
<h1>TERMINATOR 4 (R)</h1>	
<p>Arnold Schwarzenegger returns again in this sci-fi action thriller set in the present, 2025 and in the far future - 9010 AD</p>	
	<p>\$ 1.95 Running Time 2:34 Corloco Theatrical Release 1994</p>
<p>Press  Here to ORDER</p>	
<p>Press  Here to Return to Menu A</p>	
<p>Press  Here to Return to Cable TV</p>	
<p>YOUR CHOICE</p> 	

1058

FIG. 29g

61/61

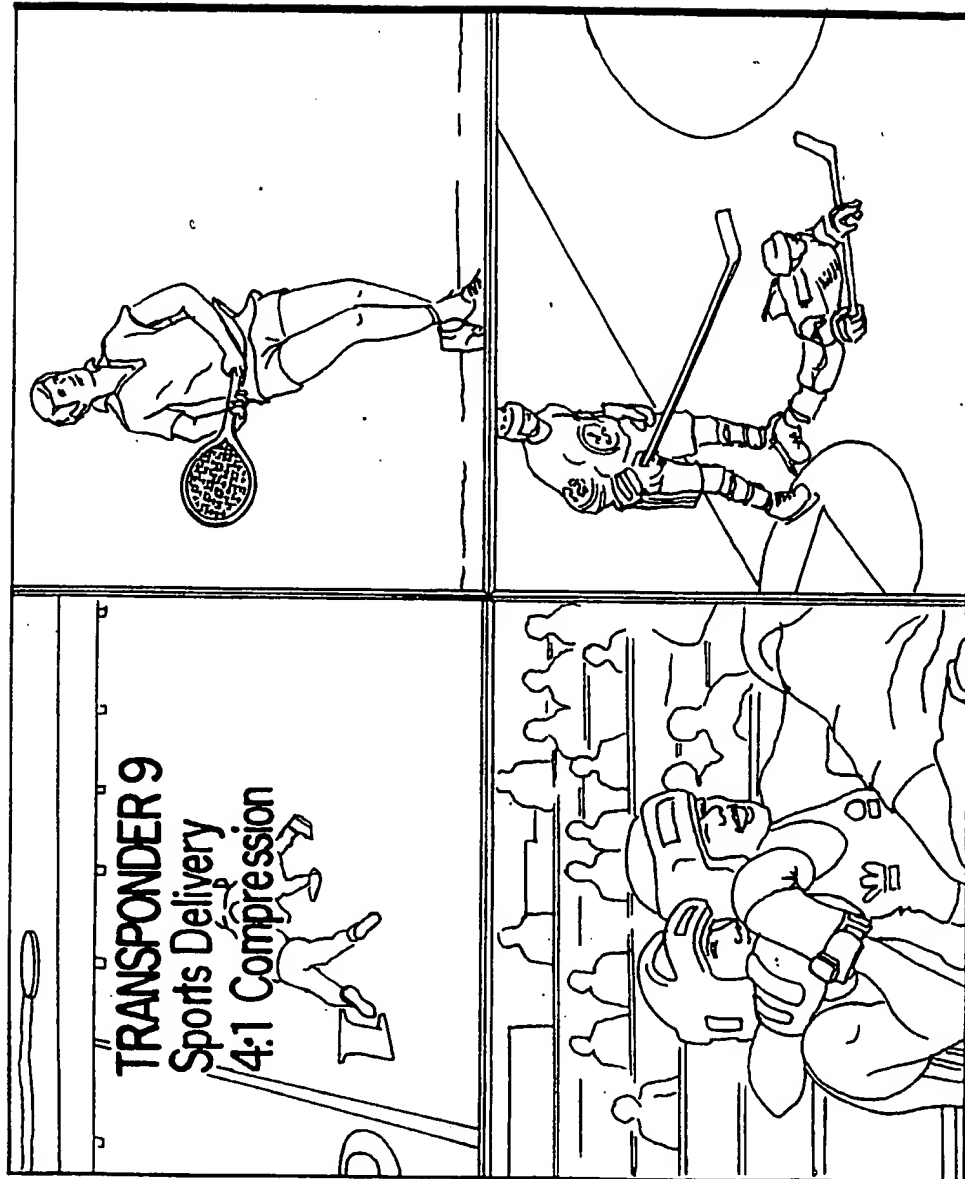


FIG. 30

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Int: mal Application No

PCT/US 93/11618

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER  
 IPC 5 H04N7/16 H04N7/173

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

## B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

IPC 5 H04N H04M

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used)

## C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	US,A,5 144 663 (KUDELSKI ET AL.) 1 September 1992	1,5,16, 19,24, 26,28, 31,33, 38,39, 42,43
A	see the whole document	2-4, 6-15,17, 18, 20-23, 25,27, 29,30, 32, 34-37, 40,41

☒ Further documents are listed in the continuation of box C.

☒ Patent family members are listed in annex.

## \* Special categories of cited documents :

- \*A\* document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
- \*E\* earlier document but published on or after the international filing date
- \*L\* document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
- \*O\* document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
- \*P\* document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

\*T\* later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

\*X\* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

\*Y\* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art.

\*&\* document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

8 March 1994

Date of mailing of the international search report

30. 03. 94

Name and mailing address of the ISA

European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2  
 NL - 2280 HV Rijswijk  
 Tel. (+ 31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl,  
 Fax (+ 31-70) 340-3016

Authorized officer

Greve, M



# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Inte mal Application No  
PCT/US 93/11618

C.(Continuation) DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	EP,A,0 506 435 (SCIENTIFIC ATLANTA) 30 September 1992	1,5,16, 19,24, 26,28, 31,33, 38,39, 42,43
A	see the whole document	2-4, 6-15,17, 18, 20-23, 25,27, 29,30, 32, 34-37, 40,41
A	WO,A,86 01962 (SCIENTIFIC ATLANTA) 27 March 1986 see the whole document	1-44
A	EP,A,0 402 809 (MAGUS) 19 December 1990 see page 2, line 5 - page 5, line 5	1-44
A	PATENT ABSTRACTS OF JAPAN vol. 13, no. 397 (P-928)5 September 1989 & JP,A,01 142 918 (MATSUSHITA ELECTRIC) 5 June 1989 see abstract	

**INTERNATIONAL SEARCH REPORT**  
information on patent family members

International Application No  
**PCT/US 93/11618**

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
US-A-5144663	01-09-92	AU-B- 599646	26-07-90
		AU-A- 7157887	22-10-87
		EP-A- 0243312	28-10-87
		JP-A- 63023488	30-01-88
-----			
EP-A-0506435	30-09-92	US-A- 5237610	17-08-93
		AU-A- 1384092	01-10-92
		CN-A- 1066950	09-12-92
		JP-A- 5145923	11-06-93
-----			
WO-A-8601962	27-03-86	US-A- 4885775	05-12-89
		AU-B- 586832	27-07-89
		AU-A- 4800785	08-04-86
		CA-A- 1266525	06-03-90
		EP-A, B 0194289	17-09-86
		JP-T- 62500486	26-02-87
		US-A- 4890319	26-12-89
		US-A- 4829569	09-05-89
-----			
EP-A-0402809	19-12-90	US-A- 5101267	31-03-92
		AU-B- 634242	18-02-93
		AU-A- 5693790	20-12-90
		CA-A- 2018539	13-12-90
		CN-A- 1048136	26-12-90
		JP-A- 3064286	19-03-91
		US-A- 5257099	26-10-93
		US-A- 5223923	29-06-93
-----			